

責任監修 本公浦 弓尔太良身 第2部





LifeWear Story 100とは。

ユニクロには、 流行に左右されず、 けれども、決して古びることのない、 長い間、作り続けている普通の服がある。 品揃えの中では、 とても地味で目立たない存在である。 コマーシャルにもあまり出てこない。

それらは、ユニクロが、 もっと快適に、もっと丈夫に、 もっと上質であることを、 長年、愛情を込めて追求したものだ。

それらは、ユニクロの人格と姿勢が、 目に見えるかたちになったものであり、 丹精に育てているものだ。

昨日よりも今日を、今日よりも明日と。

手にとり、着てみると、 あたかも友だちのように、 その服は、私たちに、 こう問いかけてくる。 豊かで、上質な暮らしとは、 どんな暮らしなのか? どんなふうに今日を過ごすのか? あなたにとってのしあわせとは何か? と。

そんな服が、今までこの世界に、 あっただろうかと驚く自分がいる。

ユニクロのプリンシプル(きほん)とは何か? ユニクロは、なぜ服を、 LifeWearと呼んでいるのだろう? LifeWearとは、どんな服なのだろう?

ここでは、LifeWear の、 根っこを見る、知る、伝える。 そして、LifeWear と、自分にまつわる、 ストーリーを書いていきたい。

LifeWear Story 100 は、 LifeWear と僕の、旅の物語になるだろう。

松浦弥太郎



本公浦 3尔太良B

エッセイスト、編集者。1965年東京生まれ。

2005年から15年3月まで、約9年間、創業者大橋鎭子のもとで『暮しの手帖』の編集長を務め、その後、ウェブメディア「くらしのきほん」を立ち上げる。現在は(株)おいしい健康の取締役に就任。数々のメディアで、高い審美眼による豊かで上質な暮らし提案に努めている。新聞、雑誌の連載の他、著書多数。ベストセラーに「今日もていねいに」「しごとのきほん くらしのきほん | 00」他多数。NHKラジオ第一「かれんスタイル」のパーソナリティとしても活躍。

100 目次

040	僕は今日アシャと会う。	005
041	彼女にはじめて手紙を書いた場所。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	011
042	セントラルパークでサイクリング。	017
043	僕はようやく気持ちが吹っ切れた。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	023
044	もう一日だけデートしませんか?・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	029
045	困っている人を、自分の得意なことで助けたい。	035
046	彼女は自分の腕をからませてきた。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	041
047	インジェラはかんたんに焼ける。	047
048	ねえ、二人で写真を撮ろうよ。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	053
049	鼻のまわりのそばかすがキラキラして見えた。	059
050	明日の仕事は何時から?と僕は聞いた。	065
051	細身のカラーパンツを、自分の腰にあてて鏡に映した。	071
052	飾ったときに人に喜ばれるような人生を歩む。	077
053	心地よいというのも小さなラッキーだよね。	083
054	まずは自分の頭で考えるってこと。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	089
055	嬉しそうにコーディネートを僕に見せた。	095
056	あの人、マリポールじゃない?	101
05 7	ごめんなさい。私、今日帰る。	107
058	ねえ、デザインって何だろう? 何だと思う?	113
059	もう少しベッドでお話したい、とアシャは言った。	9

060	あなたというあなたの家族も愛している。	125
061	コーデュロイだから、裏からアイロンをかけないとね。	131
062	「嫌う」よりも「苦手」のほうが希望がある。	137
063	母は静かに物語を読み始めた。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	143
064	自分の彼氏の服を着るのって好き。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	149
065	あったかいセーターを着て、冬のニューヨークを楽しみましょう。	155
066	冬のパリは、ニューヨークよりも寒いらしい。	161
067	アシャをぎゅっと抱きしめた。	167
068	五年後の待ち合わせを。	173
069	カシミヤのマフラーなんかどうかしら?	179
070	パーカーを胸の中で抱きしめたアシャ。	185
071	タートルニットに合わせたらきっとすてきだと思うの。	191
072	「今」を大切にするということ。	197





五年後、同じ場所で

目をつむったり、開けたりをゆっくりと繰り返した。読んでいる。あまりの心地よさに自然と眠気がやってきて、包まれて、僕はベンチに座って一冊の本をし、シトラルパーク。初夏のやわらかい陽射しに

すずめが枝から枝へと遊んでいるように跳ねている。組んで空を見上げた。木々の若葉がきらきらときらめき、腰を少し前にずらして足を伸ばし、手を頭の後ろに

大きく息を吐いた。 傍らに本を置き、座りながら背伸びをして、「フー」と

転がってきた。 少年が 蹴ったサッカーボールがコロコロと僕の足元に少年が蹴ったサッカーボールがコロコロと僕の足元にニューヨーク・ヤンキースのTシャツを着ている六歳くらいの

立ち上がり、少年に向かってボールを蹴り返した。少年が僕に声をかけた。僕は「オーケー」と答えてから「こっちに蹴って!」と、少し離れたところに立っていた

受け止めると、すぐにまた僕のほうに蹴り返してきた。少年は「ありがとう!」と言って、ボールを上手に足で

「カモーン」と少年はにこにこしながら言った。

言う。また少年は僕に向かって蹴り返す。にこにこ顔で「カモーン」とまた少年は僕に向かって蹴り返す。にこにこ顔で「カモーン」と苦笑いしながら、僕はまたボールを蹴り返した。すると、



思い出し、少年に向かって少し強めに蹴り返した。「よし!」僕は足の内側で蹴るインサイドキックというのを

あわてて拾い、「すごい。それどうやるの?」と聞いてきた。少年はそのボールを受け止められず、逃したボールを

インサイドキックを教えた。と、僕は少年にシュッと蹴る感じ。ほら、やってごらん」と、僕は少年に足の内側で蹴るんだ。蹴るんだけど、あまり蹴り上げずに軸足を一歩前に踏んでから、蹴る足を大きく開いて、軸の足先を相手に向かってまっすぐに向けておく。その「軸の足先を相手に向かってまっすぐに向けておく。その

うなずいた。ように蹴るんだよ」と言うと、少年はうんうんとまうに蹴るんだよ」と言うと、少年はうんうんと転がっていくんだ。相手が捕りやすいところに捕りやすい「この蹴り方だと蹴りたいところに、正確にボールが

かけあいながら、ボールを蹴るのに夢中になった。「グッド!」「サンキュー!」僕らは、そんな言葉をお互いにインサイドキックでボールを蹴り合った。「ナイス!」僕は少年との距離を縮めて、「練習しよう!」と言い、

インサイドキックを覚えた少年は、実にうれしそうだった。

少年に言った。
かりてきた。そして、「さあ、そろそろ帰りましょう」と声をかけてきた。そして、「さあ、そろそろ帰りましょう」と誰かと会話をしていた母親らしき女性が申し訳なさそうにしまって……」と、近くのベンチで、ずっと携帯電話で「すみません、遊んでもらって……ちょっと仕事がトラブって

と少年は言って、大きな声で「バーイ」と言った。「バイバイ」と言って手を振った。「教えてくれてありがとう!」「いいんです。僕も楽しかったし」と僕は答え、少年に

アシャと会う。いや、会えるかもしれない。腕時計を見ると、約束の三時が近づいていた。僕は今日

「コーヒーショップ」の前で待ち合わせしよう。きっかり五年後の今日、同じ時間に、僕らが出会った

別れたのだ。別れのキスもハグもなく、五年前そうやって僕らは



裸足が似合うドレス

人生を語り合った。 アイスティーを二人で分け合いながら、これまでの互いのガー デンの 階段に 座り、一人 分の ローストナッツと初夏のある日、僕らはセントラルパークのコンサバトリー

良さが仇になり、男性からのセクハラに悩まされた。生まれたハーフであるがゆえ、健康的な肌色とスタイルの進むが、イタリア人の母とエチオピア人の父の間に進むが、イタリア人の母とエチオピア大の文の間にきたアシャ。英語が話せなかった苦労、家族も友だちも高校生の時、エチオピアから一人でニューヨークにやって

「今度こそ本当の恋愛ができる、と思って、人を好きに「今度こそ本当の恋愛ができる、と思って、人を好きにいつも嘘をつかれて騙されちゃうの。友だちは、何もいつも嘘をつかれて騙されちゃうの。友だちは、何もいががなるんだけど、長く続いたためしがなかったわ。わたしが悪い通りにならないとわかるとみんな去っていったわ。だげインを学びたい。ただそれだけ。毎日いちゃついて、デザインを学びたい。ただそれだけ。毎日いちゃついて、デザインを学びたい。ただそれだけ。毎日いちゃついて、河北は夜通し遊びまわることが楽しいと思えないの。週末は夜通し遊びまわることが楽しいと思えないの。週末は夜通し遊びまわることが楽しいと思えないの。



わたし」うまくいかなくて人間不信に陥ったわ。遊べないのよ、

上手に口でキャッチした。アシャはナッツをひと粒、空に向かって放り投げ、それを

無邪気に笑った。そして、四つまで出来ると自慢した。続けざまにナッツを投げて、口で受け止めるのを僕に見せて、ほら、ふたつ投げても落とさずに食べれるわよ」アシャは「一人ぼっちでいると、こんな遊びが上手になるのよね。

負けるな!とね」
ここに集まる『寂しきニューヨークの旅人』を励ましたい。一日に百杯以上、今、流行りのカプチーノを淹れて、いる。あなたもそうね。仲間ができるから。わたしは外国からやってきている人が多いからよ。みんな苦労して『コーヒーショップ』でバイトしたのは、わたしのように『コーヒーショップ』でバイトしたのは、わたしのように

スニーカーをはいていた。アシャは薄手のワンピースドレスを素肌に着て、裸足で

でも見て」と言って、アシャはスニーカーを脱いで、わたしがデザインしたドレスなの。動きやすくて、楽で、わたしがデザインしたドレスなの。動きやすくて、楽で、したの。バイトではいつもパンツルックだけど、今日みたいにしたの。バイトではいつもパンツルックだけど、今日みたいにでも見て」と言っと、「ありがとう!これは「今日の服、すてきだね」と言うと、「ありがとう!これは

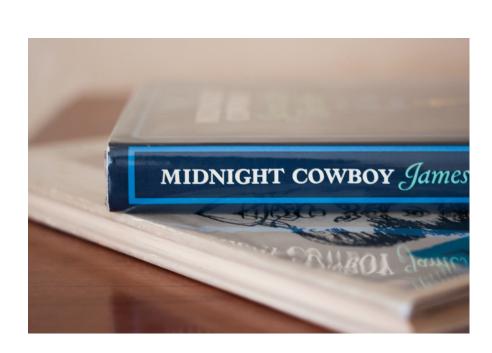
立った。 裸足になって立ち上がり、腰に手を当てて僕の目の前に

くるくると回って見せた。似合わない?」そう言って、ワンピースをひるがえしながら、「ね、どう?(わたしのワンピースって裸足がいちばん

もう片方の手で僕の手を引いて歩き出した。そう言ってアシャは、片手に脱いだスニーカーを持ち、

五年前、僕らはそうやって休日を楽しんだ。

美しかった。 きらめく陽射しに眩しそうに目を細めるアシャの顔は







快適で美しく

ルームウェアとして使われることが多かったブラトップドレス。 今季はブラトップの快適さと、ドレスとしてのエレガントを両立させた自信作です。 裾の部分はトレンドのギャザー仕様、 シルエットは少しオフボディで、着たときにふわりと揺れる美 しさをデザインしました。

素材は、しなやかなモダールコットンを使用。さらりとした感触とストレッチ性、しっとりとしたドレープ感が特徴です。重くなりがちなロングドレスですが、適度な落ち感と光沢がとてもきれいです。

夏オシャレの主役

ブラトップのホールド感、安心感をキープしながら、女性らし いドレスのシルエットを兼ね備えたことで、ノースリーブにあり がちな横から下着が見えてしまうことや下着のアタリ、ボディラインの心配はいりません。また、今季はマスタードイエロー やカーキなどファッション目線でのトレンドカラーを展開。

ルームウェアとしてはもちろん、普段使いからリゾート地で ちょっとしたレストランでの食事まで、いろんなシーンで夏の オシャレを楽しむことができるアイテムです。





裸足が似合うのは、 きっと素肌に着るから。 休日が待ち遠しい服。

松浦尔太良



WOMEN ブラロングフレアワンピース (ノースリーブ) **¥2,990** +消費税

2018.5.8



着こなしを

私すごく好き」 上質なスラックスという、シンプルなコーディネートって、 上質なスラックスをはくといいわ。Tシャツにきれいめの パンツはきれいなラインがプレスされた、

たくさん教わった。
たくさん教わった。
たくさん教わった。
に、カジュアルとフォーマルか、そのどちらかしか自分のスタイルには
フォーマルか、そのどちらかしか自分のスタイルには
フォーマルか、そのどちらかしか自分のスタイルには
アシャは僕によくこう言った。それまでは、カジュアルか、アシャは僕によくこう言った。

一言で言うと、普通だけどおしゃれ。

見えない、というパターンが多い。正直、僕自身がそうだった。いいものを身に着けているかもしれないが、すてきにしかし、コーディネートやバランスまでを考えていないので、強く、身に着けたら、それで満足してしまう傾向がある。一般的に男というのは、好きな服についてのこだわりは

あのね、私はそんな提案ができる服を作りたいの」輝かせてくれるのではなく、着こなしが人を輝かせるの。人が何を着ていたかという印象のほうが記憶に残るのよ。服が人を人が何を着るかよりも、どう着るかのほうが大切で、その「何を着るかよりも、どう着るかのほうが大切で、その



アシャはこんなふうに話した。カフェで働きながらファッションビジネスを学んでいる

ように着こなすことだったりする。見て、真似したくなるのは着ている服ではなく、彼女のアシャの着こなしはまさにそうで、周りの女性が彼女を

姿勢良く歩くアシャに、道行く人は皆、目を奪われた。さらりと巻いた黄色のスカーフがアクセントになっていた。真っ白なテニスシューズをはいていた。そして、首元にワイドパンツに、白いサマーニットのアンサンブルを着て、その日のアシャは、きれいにプレスされたカーキ色の

ソックスはショートか、素足がいい」
革靴にするだけで、ぐっと印象が変わるのよ。その場合けれど、ちょっと子どもっぽいというか、カジュアル過ぎるけれど、ちょっと子どもっぽいというか、カジュアル過ぎる戦をスニーカーにしてしまうと、うーん、悪くはない「男の人のTシャツにデニムのスタイルもすてきだけど、「男の人のTシャツにデニムのスタイルもすてきだけど、

素直に耳を傾けられた。もっとよくなるよ、という言葉のおかげで、いつだって僕はダメ出しをしてくれた。それもいいけれど、こうするとこんなふうに、アシャは会うたびに、僕の着こなしに

「すてきよ」と言ってくれた。プレスされたスラックスをはいていると、ニコっと笑って、すてき」と、ほめてくれるのだった。特に、きれいにそして、バランスよく着こなせた時は、心から「とっても

再びニューヨークにやってきた。こんなふうに、僕は在りし日のアシャを思い出して、



キッチンで

置いてみた。ちょこんと。そう、人が一人動けるくらいの空間に、木の白いスツールをあり、その下は収納になっていた。その壁と壁の間、サンクとガス台があり、左の壁側は作業台がより、らしていたアパートのキッチンは、右の壁側に

捨てられていたのを拾って、白いペンキを塗ったものだ。スツールは三本足の北欧メイドで、実を言うと、道端に

なんだか、ここにずっと座っていたいような感じ。感じた。子どもの頃に押入れに入った時のような、乗り物のコクピットに座ったような、懐かしい居心地良さを小さなキッチンに置いたスツールに腰掛けると、まるで

いた。手を伸ばせば何でもある感じもうれしかった。匂いも、不思議なことに、却って心地良い理由になってくせに買ってしまった、いろいろなスパイスの混ざったブーンという換気扇のファンの音や、大して料理をしない

キッチンっていいな。

小窓を覗くと見える、庶民的な教会の景色にもいやされた。したり、ぼうっとしたりして過ごした。座った位置から飲み、読書をしたり、新聞を読んだり、時には昼寝をしまった僕は、部屋に帰ると、そこに座り、コーヒーをそんなふうに、アパートの中で新しい居場所を見つけて



キッチンだった。そうそう、アシャにはじめて手紙を書いた場所も、この

知り合った。という名のカフェに通うようになり、そこで働くアシャとユニオンスクエアパークの目の前にある、「コーヒーショップ」

楽しみになっていた。ほど 経ったある 日、いつしか僕はアシャに会うのが顔を合わせれば、二言三言話すようになってから一週間

気持ちになれた。あっても、彼女の笑顔で何もかもが吹き飛んで、明るいどんなにつらいことがあっても、どんなに不安なことが

待っていた。という感謝だけでも言葉で伝えたくて、そのチャンスをという感謝だけでも言葉で伝えたくて、そのチャンスをこの気持ちを言葉で伝えたくて、せめて「いつもありがとう」

そう思って僕はペンを取った。書こうと思った。手紙を渡すことくらいはできるだろう。きりになるのは難しかった。それならば、彼女に手紙をしかし、働くスタッフの中でも大人気のアシャと二人

してきた。 ポストカードを使おうか。そんなことを考えたらドキドキ伝えるだけさ。何をどう書こうか?どんな便箋、もしくはこれってラブレター? いやいや、「ありがとう」を

ますます何を書いたらよいかわからなくなった。アシャの顔、瞳、立っている姿を思い浮かべると、僕は

書いてなかった。 過ごすばかりだった。そういえば、手紙なんてしばらく何も書かずに、ただただ、キッチンのスツールに座って

胸が痛くなった。







おどろきのはきやすさ

超軽量・超伸縮・超速乾がコンセプトの感動パンツです。 英国に起源を持つトラウザーパンツが持つ、品格はあるけど 動きづらい、伸びないという常識を変えたアイテムです。

生地は東レと開発したポリエステル 100%の、糸からこだわったオリジナル素材。足通りのスムーズさと、空気のようなはき心地に驚いていただけるはずです。生地だけでなく、ウエスト部分もストレッチ仕様。どんな動きにも締め付けを感じることはありません。

夏場のあらゆるシーンに

ポケット裏の当て布、ウエスト周りには特殊加工で格子状に 穴をあけた「Air dots」を使用。さらに抗菌防臭機能をプラ スして夏場にうれしいアップデート。素材は超軽量でストレス フリーなはき心地の「ウルトラライト」で、ウールライクとコッ トンライクを展開することで幅広い着こなしを楽しんでいただ けます。

ビジネスやゴルフはもちろん、アンクル丈に裾上げすればスマートな街着としても活躍すること間違いなしです。





今日は、 何回感動するかな? それが楽しみで、 選んでいる。

松浦子尔太忠



MEN 感動パンツ (ウルトラライト・ウールライク) **¥3,990** +消費税

2018.5.15



アシャへのラブレター

働いて、言葉も文字も嘘っぽくなった。感情があったからだ。自分をよく見せようという気持ちが感情があったからだ。自分をよく見せようという気持ちがは、戸惑う自分がいた。アシャに対して、特別な

思う自分を知ってもらいたい。すてきに思われたい。仲良くなりたい。そして、アシャをうまく書こう。きれいな字で書こう。知的で、やさしくて、

自分を抑えられなかった。そういう気持ちで胸がいっぱいで、どうしようもない

という言葉が口からポロッと出た。そんな書き損じた便箋が十枚を超えた時、「もう書けない……」便箋に言葉を書き、破いて捨てる。それを繰り返した。

気持ち。それを僕は言葉にしたかったのだ。僕ははっとした。「もう書けない」これが嘘のない本当の

と書いた。
と書いた。
と書いた。
と書いた。
と書いた。
と書いた。
と書いた。
と書いた。
と言書いた。そして、
くいが動かない、

たった数行の手紙。

言葉を綴るよりも、自分らしいと思った。へんてこりんな手紙になったが、下手な英語で長々と



レーズンパンとコーヒーを注文し、アシャにあいさつをした。コーヒーショップを訪れた。いつものように、朝食代わりの次の日の朝、僕は封筒に入れた手紙を片手に持って、

真っ赤なサンダルをはいていた。ワンピースの上に、メンズサイズの白いTシャツを着て、その日のアシャは、髪をポニーテールにまとめて、ピンク色の

渡した。書いたんだ。はい、これ」と言って僕は封筒をアシャに書いたんだ。はい、これ」と言って僕は封筒をアシャにおはよう。元気です。いつもありがとう。君に手紙を「おはよう、元気?」とアシャは笑顔で言った。「うん、

ようにして喜んで受け取ってくれた。あとで読むわ」と、アシャはカウンターの中で飛び跳ねるありがとう。もしかしたら、ラブレター? えー!「ワオ! わたしに? ほんとうに? もらっていいの?

もらっているので……」と僕は照れをごまかすように言った。「大したものではないんです。ただ、いつも君から元気を

嬉しかった。 気持ちが彼女に伝えられたような気持ちになって気持ちが彼女と目と目が合った。それだけで僕は自分の「ラブレター?」と聞かれ、僕が「うん」と頷いたとき、アシャが無邪気に喜んでくれたのが意外で嬉しかった。

そうだ。僕はラブレターを書いたのだ。

持ち、じっと見つめて読んでいた。中にいるアシャを見た。彼女は僕の書いた手紙を両手にコーヒーを飲み終わった僕は、おもむろに、カウンターの

ユニオンスクエアの雑踏にまぎれた。テーブルにそっと置いて、そそくさとカフェから出て、僕は恥ずかしくなって、パンとコーヒーの代金を

顔が赤くなった。



はじめてのデート

大 後ろから聞こえた。 よっと待って!」というアシャの大きな声が

向かって走ってきた。足を止め、後ろを振り返ると、手紙を持ったアシャが僕に

しない?」
しない?」
しない?」
にんなラブレターもらったのはじめてよ。変なラブレターね。

こんな展開になるとは思ってもいなかった僕は驚いた。

教えて」「明日の朝、起きたら電話するから、あなたの電話番号

アシャは息を弾ませながら言った。

微笑んだ。
「私もよ。レンタルできるから大丈夫。ね、行こ」とアシャは「うん、うれしいけど、自転車持ってないんだ」と答えると、

僕に向けて大きく手を振った。アシャはカフェに走って戻っていった。途中で後ろを振り返り、電話番号をメモに書いて渡すと、「じゃあ、明日ね」と言って、

次の日、朝七時過ぎにアシャから電話があった。僕らは



自転車を借りにいくことにした。十時にコロンバスサークルで待ち合わせして、レンタル

「おはよう。いい天気でよかったね」

はいて、デイパックを背負って待ち合わせ場所にやってきた。アシャはグリーンのTシャツにカットオフしたデニムのパンツを

わね。はじめて見たわ」と笑った。テニスシューズをはいた僕を見て、「ショートパンツ似合う白のオックスフォードシャツ、カーキのショートパンツに

一人で」「時々、こんなふうにセントラルパークを自転車で走るの。

走りながらおしゃべりをした。僕とアシャは、セントラルパークの自転車レーンをのんびり

アシャは言った。「ここ。セントラルパーク」と答えると、「私も!」と「ニューヨークでいちばん好きな場所どこ?」と聞くので、

言って笑った。歩き回っていたわ。探検家のように。私たち似てるね」と歩き回っていたわ。探検家のように。私たち似てるね」と本を読んでいたんだ」と言うと、「私はいつも公園内を「ニューヨークに来たばかりの頃、毎日セントラルパークで

苦手。ここに来ると気持ちが落ち着くの」「街中はとにかく人が多いし、うるさいし、せわしくて

アシャはペダルをこぎながら、遠くの景色を見ていた。

「ねえ、子どもの頃、どんな子どもだった?」

いつもショートパンツの子がいて、彼と競争していたんだ」強いんだ、と主張していたんだね。クラスにもうひとり、ショートパンツをはいていたよ。今思うと、どんなにショートパンツをはいていたよ。今思うと、どんなに大人に質問ばかりして困らせるような。あとは一年中「知りたいことを何でも知りたがる子どもだったよ。

「何を競争していたの?」

僕が勝ったんだけど」降ってもショートパンツをはいて学校に行った競争だよ。 いわゆる我慢比べ。 結局、冬になって雪が「いつまでショートパンツをはき続けられえるのかの

「雪の日にショートパンツ?」

ご満悦だった」素肌丸出しのショートパンツ。みんなにすごーいと言われて素肌丸出しのショートパンツ。みんなにすごーいと言われている)、上はダウンジャケットを着ているんだけど、下は

ないわよ。そっか、だから、ショートパンツが似合うのね」「アハハハ、おかしい!」でも、そういう子、私、嫌いじゃ

「じゃあ、今日は私と競争しよ!」

アシャは自転車のスピードを上げて走った。

毎日自転車に乗っていたわ。だから自転車が得意!」自転車に乗った時、これでどこへでも行けると思ったの。「私は子どもの頃、自転車が大好きだった。はじめて

なかった。

「今日わかったのは、私もあなたも負けず嫌いってこと」

手を僕に差し出した。「ミスターショートパンツさん、よろしく」と言い、自分のアシャはこう言って、 クスクスと 笑った。 そして、自転車を止め、大きな池のほとりのベンチで休んでいた時、

僕は彼女の手をはじめて握った。







えらぶ 楽しさ

子どもの夏に欠かせないショートパンツは、男女で全30色柄 という豊富なバリエーションが自慢です。海を思い出させる ヨット柄、アウトドアなヒッコリー柄、バケーション気分のリーフ柄、ビタミンカラーの無地、さらにはデニムやツイルなどの素材違いまで。その子のカラーに合った | 枚を一緒に楽しんで選んでいただけるはずです。

また、夏休みの素敵なお出かけの思い出に、さりげなく色や 柄を合わせた親子コーディネートにチャレンジするのもおすす めです。

パパとママにうれしい

ウエストの左脇裏に開けたゴム穴は、成長の早いお子様に合わせてサイズを調整したり、ゴムを引き出して取り替えたり、 少しでも永く愛用していただける工夫です。 ウエストにストレッチが効いているので、お子様が自分でも着替えやすいのも魅力。

今季は、スリムですっきり見えながらも、動きやすいフィット感と丈感に改良。さらにウォッシュの加工方法を変更し、より柔らかな風合いに仕上げました。大人用のアイテムにも負けない本格仕様も自慢です。







僕にとって、 ショートパンツは、 強くて元気な証だった。

松浦 张太良



KIDS イージーショートパンツ **¥990** +消費税

2018.5.22



次の日の朝

「コーヒーショップ」へと向かった。

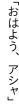
ように見えた。ポロシャツを着た自分の影は、まるでダンスをしている映った、うきうきと小走りする、アシャのお気に入りの朝のきらきらした陽射しは、もう夏そのもので、地面に朝のきらきらした陽射しは、もう夏そのもので、地面に

眼鏡をかけていた。なんだかいつも以上にすてきに見えた。肩越しにアシャの顔が見えた。透明のウェリントン型の買うために五人ほど並んでいた。背伸びをすると、人の買っために五人ほど並んでいた。背伸びをすると、人の「コーヒーショップ」のコーヒーカウンターには、これから「コーヒーショップ」のコーヒーカウンターには、これから

ひとりに笑顔で声をかけて送り出していた。「行ってらっしゃい、今日もがんばって!」と、お客一人聞き、 次 から 次へと コーヒーを 淹 れては 手 渡 し、アシャはお客を待たせないように、てきぱきと注文を

来るのを待った。「びっくりするかな?」僕もその列に並び、自分の番が

何にいたしましょうか?」アシャが僕に言った。無かった。あれ、気がついていないのだろうか?「お次の方、はっとしてから、顔を伏せた。いつもの満面の笑顔が前に並ぶ人が二人になった時、アシャと目が合った。アシャは



「あ、はい、Mサイズのカプチーノを……」と告げると、 コーヒーマシーンのボタンを押した。 「わかりました」と答えて、うつむいてコーヒー豆をセットし、 「何にいたしましょうか?」と、アシャは僕にもう一度聞いた。

見ようとせず、次の客からの注文を受けていた。僕は 「二ドルです」僕は代金を払い、カプチーノを受け取った。 立ち止まることが出来ず、そのまま店の外へと出た。 「ありがとう、アシャ……」と言うと、アシャはこちらを

持ったまま、そこに立ちすくんだ。 冷たい態度を取るのだろうか。僕はカプチーノを片手に なぜアシャは僕に素知らぬ顔をするのだろうか。 なぜ

アシャ。 昨日、別れる時、「また明日ね」とアシャは笑顔で言った。 つないだ手を離そうとしても、ふざけて離そうとしなかった 道路の反対側に渡っても手を振ってくれた

僕は何がどうなったのかわからず、自分がひどく嫌われて しまったような気持ちになって悲しさに包まれた。

自分がひどくむなしくなった。 足元は革靴という、彼女の好きそうな着こなしで出かけた 真新しいポロシャツに、プレスをしたスラックスをはき、

僕は道端に座っていた老人に「もしよかったらどうぞ」と

言ってカプチーノを渡し、その場を離れた。

僕が一体何をしたって言うんだ。 とられないといけないんだ。なんだか自分がばかみたい……。 なぜあんな態度を

僕はポケットに手を入れ、背中を丸めて、ワシントンスクエア 公園を横切って歩いた。

姿はどこにも見えなかった。 もしかしたら前のように、アシャが追いかけてきてくれる かもしれない。二、三度、後ろを振り返ったが、アシャの



アシャからの手紙

ような気持ちで一杯のまま、三日が過ぎた。 シャのことを思うと胸がキュッと締めつけられる

あの日以来、同じように冷たい態度をとられるのが怖くて 「コーヒーショップ」に行く気にもなれなかった。けれども、

いつか電話がかかってくるかもしれないと思い、

部屋の

電話の前から離れられない自分が情けなかった。

思っても、日を追うごとに悲しみは増すばかりだった。 アシャのことはもう忘れよう。 何かしら理由があって、きっと僕はアシャに嫌われたんだ。 考えるのはやめよう、

だった。 思わなかった自分にとって、アシャはかけがえのない存在 孤独を当たり前と思い、 僕はアシャのことが本当に好きだった。ニューヨークに 一人でやってきて、はじめて好きになった女性がアシャだった。 まさか恋愛ができるとは

手をつないだだけで、 間違っていたのだろう。 少しおしゃべりして、 公園を散歩したりして、ちょっと 仲良しのつもりになった自分が

いた。 ばかり考えた。そのあげく、もういいや、と開き直る自分が 期待しすぎた自分が嫌になった。ぐるぐるとそんなこと



ように忙しそうにコーヒーを淹れていた。しようと思ったのだ。何気なくアシャを探すと、いつものそして「コーヒーショップ」へと行った。今日を最後の日にあの朝から七日後、僕はようやく気持ちが吹っ切れた。

カプチーノを淹れてくれた。見せ、僕の目をじっと見てから、「わかりました」と答え、言った。僕に気づいたアシャは、はっとしたような表情をコーヒーカウンターに立ち、「Mサイズのカプチーノを」と

て……」とアシャが小さな声で言った。じゃまた」と言って店を出ようとした。すると、「待っ僕は代金を置き、カプチーノを受け取り、「ありがとう。

手紙を僕に手渡し、再び僕の目をじっと見つめた。「そうじゃないの……。これ読んで」と、アシャは一通の「もう大丈夫。気にしないでいいから」と僕はアシャに言った。

またね……」と言ってアシャは僕に背中を向けた。アシャの目には涙が浮かんでいた。そして、「じゃ、

記号のようにxxxが添えられていた。「Love、Asha」と小さく書かれ、その横に手渡された封筒を見ると、隅にピンクのクレヨンで

今でもピンクのクレヨンを使う時は時別な時よ」宝ものだったの。だから減らないように大切に使っていたのよ。「ピンクが好き……。子どもの頃、ピンクのクレヨンが

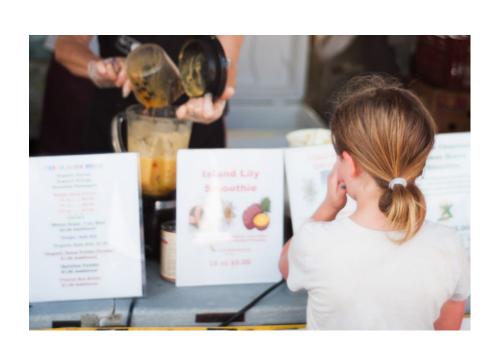
話を僕にしてくれた。セントラルパークで自転車を漕ぎながら、アシャはそんな

だろう? この手紙には何が書かれているの浮かべていたのだろう? この手紙には何が書かれているの呆然と立っている自分がいた。なぜ、アシャは目に涙を手紙を持ち、ニューヨークのワシントンスクエアパークで、片手にカプチーノを持ち、もう片手にアシャから渡された片手にカプチーノを持ち、

だった。(くれなくていい。放っておいてくれていい。そういう気持ち(れなくていい。放っておいてくれていい。そういう気持ち僕はアシャの手紙を読むのが怖かった。もう何も言って

何かが起きそうな予感がしてならなかった。手に持った手紙を見つめれば見つめるほど、読んだら

した暑さが僕を包み込んでいた。 僕はポロシャツのボタンをひとつ外した。 夏のじりじりと







大定番だからこそ

表地は、上品な光沢となめらかな風合いが魅力の、希少な スーピマコットンを用い、さらに汗をかいても乾きやすいドラ イ機能をプラスして鹿の子編みに。 縫製糸の裏糸には、やわ らかくて伸縮性に富んだウーリー糸を使用し、肌あたりを軽 減しました。

ポロシャツの顔である襟は、首のラインに美しく沿うように「伸ばし付け」という縫製を採用。前立ては縫い代の厚みを軽減させる「切り前立て」仕様にすることですっきりとした着用感に仕上げました。もっともベーシックでクラシックだからこそ、LifeWearの精神が宿ります。

夏の毎日に

耐久性の高い特殊な紡績糸を使用した襟は、色あせにくく 毛羽立ちにくいのが特徴。これは、夏の日々にくり返し洗う ことを想定したこだわりの改良ポイントです。今季はネイビー やホワイトなどの定番カラーに、フェードしたピンクやグリー ンといった西海岸の夏を思わせるトレンドカラーをご用意。

お仕事やプレッピーな着こなしには定番色を、トレンド色は ショーツに合わせて軽快な大人のカジュアルスタイルをお楽し みください。







着るとわかる、 秘められた襟の美しさ、 究極のこだわり。

松浦子尔太忠



MEN ドライカノコポロシャツ (半袖) **¥1,990** +消費税

2018.5.29



三枚の便箋

便箋が入っていた。 筒の中には、夏の青空を思わせるスカイブルーの

並んでいた。 青いインクで、丸っこい文字がころころと転がるように

気持ちになった。少なからず、「さようなら」の一言では アシャとの関係をあきらめていた僕は、自分が救われた

くれているのがわかったからだ。 アシャが僕に何かを伝えようとして、時間と心を使って 便箋の枚数にしても、そこに書かれている文字にしても、

この手紙をどこで読もうか。できるだけ早く読みたい 気持ちをおさえ、僕はゆっくりと落ち着いて読める ふさわしい場所を探した。

ストロベリーフィールズに行こう。

向かった。 手紙を読もう。そう思って僕はセントラルパークへと 僕にとって一番落ち着く場所。一人でいても不思議と 寂しい気持ちにならないストロベリーフィールズで、アシャの

芝生が眩しかった。 しんとして静かだった。夏の木漏れ日できらきらした 昼前のストロベリーフィールズは、人の姿も少なく、



ちょんちょんと跳ねるように近づいてきた。大きなナラの木の下に腰を下ろすと、赤い羽根の野鳥が

木の上のほうに飛んでいった。そう言うと、野鳥はしばらく僕のまわりを歩き回ってから、行腹が空いてるんだね。ごめん。今日は何も持ってないんだ」

一字一句できるだけ見落としのないように読んだ。できない。読み違いがあるかもしれない。だから僕は、理解できても、感情のニュアンスまでを読み取ることが読めない自分を悔やんだことはない。書いてあることはアシャの手紙を開いた。この時くらい英語をしっかり

手紙にはこう書いてあった。

辛い気持ちで一杯になります。そして帰っていったのかを考えると、胸が苦しくなるくらいごめんなさい。あなたがどんな気持ちで会いに来てくれて、せっかく 会いに来てくれたのに、この前はほんとうに

自分がいるのです。 はれども、あなたを好きになっていいのかわからないだいの人。私はあなたを好きになろうとしている。親切で、とても魅力的で、とても尊敬できて、私にはもったいないだうしたらよいかわからなかったのです。あなたはとてもあんな態度を取ってしまったのは、あなたとの仲をこれから

閉じて、バッグの中に入っていたサングラスをかけた。僕は、先を読むのにためらいを感じ、開いた手紙を一度

見えた。 遠くに目をやると、木陰に座った仲睦まじいカップルが

一日だけのデート

✔ ことが嬉しかった。 シャが誠実に自分の気持ちを書いてくれている

手紙の続きを読んだ。

戸惑っているのです……。人間ですが、今あなたを好きになろうとしている自分にありません。私は二人の男性を愛することはできない週に一、二度会っています。 私たちは 悪い関係 では実は今、私は付き合っている男性がいるのです。その人とは実は今、私は付き合っている男性がいるのです。

入れた態度をしたこと、ほんとうにごめんなさい……。恋人がいるのを黙っていたこと、あなたの気持ちを受け

綴られていた。 そこにはアシャの声が聞こえてきそうな正直な言葉が

でも……。 いることはひとつもおかしくない。当然のことかもしれない。 言い寄られているのも知っていたから、彼女に恋人がお客がたくさんいることも知っていたし、いろいろな男性から 働いている「コーヒーショップ」では、彼女目当ての

生活をしていこうと思っているのですか。私はもっとあなたのそれとも日本に帰るのですか。これから、どこで、どんなふうにあなたはこれからもニューヨークに居続けるのですか。私が知りたいこと。それはこれからのあなたのことです。





楽しくなるかもしれない。そんなふうに予感したのです。かもしれない。もっと成長できるかもしれない。日々がよりよく変わるのかもしれない。もっとしあわせになれるなぜなら、私はあなたと一緒にいることで、自分の日々が

たくさん教えてください。 あなたも自分のことを私に努力をします。だから、あなたも自分のことを私に確かめたいのです。私も自分のことを知ってもらうための確かめたいのです。私も自分のことを知ってもらうためのしませんか? あなたとたくさんおしゃべりして、私からあなたへ提案させてください。もう一日だけデート

しません。 でのデートの後、お互いの気持ちを確かめましょう。もっと とのデートの後、お互いの気持ちを確かめましょう。もっと

人が人を好きになるのはすてきなこと。

くれてありがとう。これは私からあなたへのラブレターです。最期まで読んで

手紙の最後にこう書いてあった。

隠してくれていた。サングラスは陽射しを遮ってくれるだけでなく、僕の涙も





レンズに機能を

ユニクロのサングラスはレンズにとことんこだわっています。紫 外線を99%カットし、デジタルデバイスから出るブルーライト を低減して眼を保護する「UVカット400」レンズを全てのサングラスに採用。

さらにレンズ上の反射を抑え、クリアな視界にする「反射防止コーティング」をプラスしました。ハーフリムタイプには光の乱反射をカットする「ポリカーボネート偏光レンズ」を使用。水面や窓面、路面における光のギラつきを抑え、すっきりした視界を確保します。

あらゆるシーンに

「フレキシブルノーズパッド」を採用することで、鼻のフィット は自在に調整可能。テンプル (つる) の終わりにある滑り止 めは、スポーツやアウトドアアクティビティにもぴったりです。

細身のライトウェイトタイプは、フレームに弾力性と強度に優れた「TR-90」素材を使用し、壊れにくい工夫をしました。デザインはユニセックスでカラーバリエーションも豊富にご用意。普段使いから旅行まで、胸ポケットやバッグに気軽にいつでも入れておきたいサングラスです。







おしゃれというより、 すぐれた道具として、 持ち歩くサングラス。

松浦子尔太忠



ハーフリムサングラス **¥1,500** +消費税

2018.6.5



MEN エアリズム ポロシャツ (半袖)



自分を知ってもらうために

自分の得意なことで助けたい。

困っている人を、

一人ートについて、アシャからひとつの提案があった。

あなたも、あなたのことを私に知らせるために何か考えて」

「うん、そうしよう。いいアイデアだね.

セントラルパークのストロベリーフィールズで待ち合わせを 僕とアシャは、一週間後にデートの約束をした。朝十時に

仕方がなかった。 アシャはどんなふうにして、自分のことを僕に知らせて くれるのだろう。そう思うと、デートの日が待ち遠しくて

しかし、僕は困った。

これまで一度も考えたことはなかったからだ。 自分のことを相手に知ってもらうためのデートなんて、 「自分の好き」を、誰かと一緒に楽しむことはできても、 好きな映画、好きな場所、好きな時間の過ごし方といった

私は、私のことをあなたにもっと知ってもらいたいの。 私がどういう人間かということをね。それであなたは 「もちろん、いろいろと話をすることも大事だけど、



好きになってもらいたいの」ことですもの。私は私をよく知ってもらったうえで、私をでも、それはひとつも悪いことではないと思う。仕方ない私にがっかりして、私を好きではなくなるかもしれない。

「私の目をしっかり見て」というように。するときは、どきっとするくらいに僕の目を見つめてきた。アシャだったが、こんなふうに自分の考えを相手に伝えようと照れくさそうにして、ちらちらとしか目を合わせないアシャは僕の目をまっすぐに見て、そう言った。普段はアシャは僕の目をまっすぐに見て、そう言った。普段は

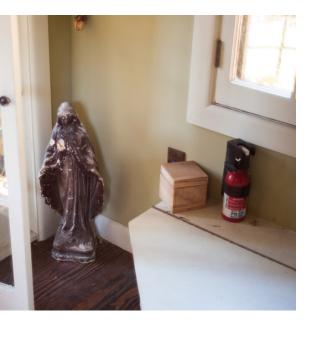
思うの」
思うの」
思うの」
思うの」
思うの」
思うの」
思うの」
とか、どんなふうに過ごしたらいいのか、とか。でも、とか、どんなふうに過ごしたらいいのか、とか。でも、それは自分が大切にしていることは何か。自分にとって、それは自分が大切にしていることは何か。自分にとって、とか。でも、とか、どんなふうに過ごしたらいいのか、とか、どんなふうに過ごした。というしょうかな、と

してる」と答えた。出してきた。僕はアシャの手を握って、「うん、楽しみにアシャはそう言って、「来週ね」と言って、自分の手を差し

していて、すてきね。じゃあね」と言って、立ち去っていった。から、ぱっと手を離して、「そのポロシャツ、襟がきりっとアシャは僕の手を握ったまま、手をぐるぐると回して

ボタンダウンのポロシャツだった。暑い日のシャツ代わりに着ていたポロシャツは、少しばかりドレスアップした、

きちんとした身だしなみに便利だった。着ると、快適だし、なにより大切な人に会う時の、



なにものかの答え

||| 分は||体なにものなんだろう?

ばかりを考えた。部屋の椅子に座って、窓の外の景色を見ながらそれ

歩きまわっているような気持ちになった。頭の中がぐるぐると回って、出口のない迷路をひたすら

ように言葉にしては、目を閉じて考え続けた。なにものなのか?……、なにものなのか?……、と呪文の

しているのか、ということの、ひとつの現れではないかと。であるかということは、なにをしたいのか、なにをしようとそうしていたら、ふとこんなふうに気づいた。なにもの

だと。ものなんだろうと思った。それがなにものかの答えなのでは、僕はなにをしたいのか。そうだ、それが自分その

いう僕の夢はなにか。 いや、夢でもいい。人生をかけて必ず実現させるんだといや、夢でもいい。人生をかけて必ず実現させるんだとじうしたいのか。それを自分の言葉で語り、決意で切り拓き、ヴィジョン。すなわち、自分の人生をかけて、なにを

僕は素直に自問した。今自分が一番したいことは何か?と。



耳をすませた。ではなく、かっこつけたものでもなく、自分の心の声に目を閉じて、それを静かに考えた。もっともらしいこと

浮かんだ。

「親孝行」

言うのも恥ずかしいことだ。小さな夢なんだと思った。しかも当たり前すぎて、他人に出来ていないこと。それは親孝行だった。我ながら、なんて今、僕が一番したいこと。 今の僕の夢。したいけれど

見えたのが、親孝行というヴィジョンであり夢だった。あまりに抽象的で、それよりも大きく、そしてくっきりと助けたい。嘘ではなくそんな考えも浮かんだが、それは世界中の人の困っていることを、自分の得意なことで

良い息子とは言えないからだ。としれず、どんな時でも僕を支えてくれて、決してあろうと僕を信じてくれて、誰よりも僕の味方でいてくれた両親を喜ばせたい。安心させたい。しあわせにしたい。なぜなら、今だけでなくずっと、僕は心配ばかりをかけ続け、なにひとつしてあげることもなく、決してかけ続け、なにひとつしてあげることもなく、決してあろうと僕を信じてくれて、誰よりも僕の味方でいてとれたで、両親から受けた愛情は親孝行。生まれてからこれまで、両親から受けた愛情は

僕のヴィジョンは親孝行だ。

愛情表現したい。そんなふうに心から思う自分がいた。もらいたい。困っていることがあれば助けたい。たっぷりと両親を思い切り喜ばせたい。もっとしあわせになって

自分をアシャにありのままに見せればいい。そう思った。自分の夢、ヴィジョンは親孝行。なぜならば……。そういう







シャツ仕立てのポロシャツ

ビジネスシーンで着用できるように、襟と前立てに布帛(シャツ)素材を用いたポロシャツです。こだわったのは、何度洗濯してもきちんとした印象と洗練さを失わないこと。そのため襟の芯地選びには時間をかけました。襟のバランス、色、柄、ボディとの組み合わせ、そしてジャケットの中でも | 枚で着てもさまになるように、何度も試作を重ねてたどり着いたデザインです。

襟型はボタンダウンとセミワイドをご用意。ビジネス需要の高い定番カラーに加え、差し色も清潔感のあるクリーンなカラーを揃えました。

クールビズへの提案として

湿気と熱気を放出するエアリズム機能を搭載したポロシャツ、ポイントは裏糸にあります。着た瞬間に感じる滑らかな肌ざわり、さらに汗をかいても乾きやすいドライ機能と、ひんやりと心地よい接触冷感機能をプラス。ジメジメした季節や暑い夏に、その効果を実感していただけるはずです。

月曜から金曜は仕事着として、週末はカジュアルなジャケット に合わせてタウンユースとして、またゴルフなどのライトスポー ツにも。シャツのようなきちんと感と抜群の着心地をお楽しみ ください。







夏の暑い日の、 身だしなみに重宝する、 ぴしっと襟のポロシャツ。

松浦子尔太良



MEN エアリズムポロシャツ (半袖) **¥1,990** +消費税

2018.6.12



母のお弁当

・ した。 シャとのデートの日。僕はいつもより早起きを

わかってくれるだろう。それ以外に考えられなかった。 僕にとって夢とはいちばん大切な宝もの。 夢を知ってもらえれば、きっと僕という人間のことも 悩んだあげく、僕は、自分の夢をアシャに伝えたいと思った。

親孝行だ。 あるかもしれないが、なによりも先に思いついた夢が 僕の夢は、親孝行だった。ほんとはもっとかっこいい夢も

いつだって自分の味方でいてくれる両親が、僕の宝もの 心配ばかりかけて、なにかあるたびに助けてくれて、

やさしく、いろいろなことに好奇心をもった勉強家で、 父も母も、いたって普通の勤め人であるが、人一倍 いる人生の先輩。 苦労の多い人生に対して、しっかりと前を向いて生きて

しあわせになってもらいたい。それを自分のちからで そんな両親を喜ばせたい。いつか安心させたい。とびきり



人なんだ、ということをアシャに知ってもらえたら嬉しい。僕の夢は親孝行。なぜなら僕の両親はこんなに素晴らしい

それは無理だ。さて、どうしようか。一番いいのは会ってもらうことだけど、遠い外国の地では

いったことだ。僕ら家族は、家から少し離れた大きな公園によく遊びに、と思い出したことがある。幼い頃、休日になると、

忘れることができないくらいのおいしさだった。芝生に座って家族全員で食べるお弁当の味は、今でもおにぎりと少しのおかずという素朴なものであったけれど、その時に 母が 作ってくれる お弁当 があった。それは

あの味は母の愛情であり、あの楽しさは父のやさしさだった。

僕の大好きな父と母がどんな人なのかを話そう。持って公園に行き、二人でお弁当を食べよう。食べながら、伝わるかもしれない。そうだ、あの頃のように、お弁当を食べてもらえれば、きっと僕の両親がどんな人だったか僕はひらめいた。母のおいしいお弁当を作って、アシャに

芝生の上で一緒に食べる。プランは決定した。二人分のお弁当を作って、セントラルパークの

いつもりんごだった。おかがはウインナーと卵焼き、鳥の唐揚げと、デザートは母の作るお弁当は、味の違ったおにぎりがいくつかと、

いるトーコさんから分けてもらおう。おにぎりに使う海苔は、ニューヨークでお世話になって炊いてお にぎ りを 握り、 おか ずを 作る ことにした。僕は前の晩から鳥のからあげを仕込み、当日の朝にご飯を

そう思うと、どきどきして眠れなかった。楽しみだ。母のお弁当を、アシャはおいしく食べてくれるだろうか。



いちばん好きな服

「おはよう、アシャ。早いね」

あら、すてきなシャツを着てるね」「おはよう、なんだか落ち着かなくって早く来ちゃった。

言った。アシャは僕の着ていた麻のシャツの袖を指でつまんで

「アシャのブラウスもとても似合ってるね」

つまんで、そのなめらかなレーヨン生地を触った。僕もアシャを真似て、ピンク色のブラウスの裾を指で

いつしか自然にできるようになった。影響だ。それまでは照れくさくてできなかったことが、人の着ている服をほめるようになったのは、アシャの

「いい天気ね。気持ちいいわ」

「うん、雨が降らなくてよかった。さあ、どうしようか?」

「お先にどうぞ」



アシャはおどけて言った。

作ってきたから、あとでどこかに座って食べよう」 「うん、少し歩こう。今日のランチは、 我が家のお弁当を

エチオピア料理のお弁当よ」 「え!?私も今日お弁当を作って持ってきたのよ!

言った。 アシャは肩から下げたトートバッグをポンポンと叩きながら

エチオピア料理のパーティーだね」 そう言うと、アシャは自分の手を僕の肩にのせて、 今日は日本料理と

「わあ!じゃあ、一緒に食べよう。

「そうしましょう!

楽しみ!」と言った。

僕はアシャを意識してしまって、いつものようなおしゃべりが 進まなかった。ときおり互いに無言になってしまうことに まわりを歩き、ベルヴェデーレ・キャッスルへと向かった。 僕とアシャはストロベリー・フィールズからザ・レイクの ドキドキした。

いい?」 「離れて歩くって、 なんだかぎこちないから、 腕組んで

からませてきた。 アシャはそう言うと、すっと自分の腕を僕の腕に

> だもんね」 「ほら、こうして歩くほうが自然よね。今日はデート

アシャはにこにこと笑いながら言った。

「たしかにそうかも」と僕は照れながら答えた。その 瞬間からスッと緊張が解けて、 とりとめのない会話で和むことができた。 気持ちが楽になって、

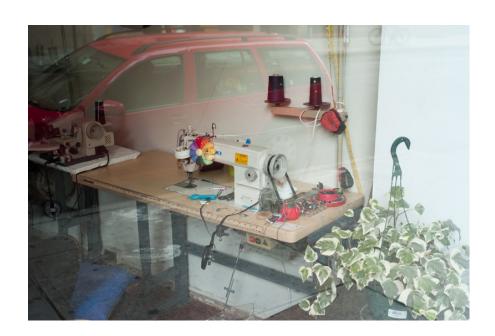
スニーカーの着こなしは、いつもより女性らしさを 感じさせていた。 心地よかった。ネイビーのキュロットと真っ白な アシャの着ていたピンクのブラウスのやさしい肌ざわりが

「いつも思うんだけど、アシャっておしゃれだね

「今日は何を着ていこうかと迷ったんだけど、結局 自分がいちばん好きな服を着ていくのがいいと思ったの.

声でつぶやいた。 アシャは着ているブラウスのボタンを触りながら、小さな

きた。 僕がアシャの手を握ると、アシャもぎゅっと握り返して





極上のとろみ素材

レーヨンのやわらかな風合いとしなやかな肌ざわりを残しながら、お洗濯後のシワも気にならない、ユニクロ自慢の上品ブラウスです。その秘密は東レと共同開発した生地。ソフトで艶のあるレーヨンと、洗濯に強いポリエステルを混用した特殊なハイブリッド紡績糸を採用。

生地づくりの段階で、肌にふれる面により多くのレーヨン成分がくるように設計しているので、レーヨン特有の肌ざわりはそのままに、洗濯後のイージーケアを実現しました。

着まわし力抜群

着る人もシーンも選ばないベーシックなデザイン、シルエットを目指して開発したブラウス。今季は素材感を活かしたペールトーンを中心にご用意。もちろんコーディネートしやすいベーシックカラーもあります。

通勤や通学などのクリーンな着こなしにも、カジュアルなボトムとの合わせにも相性抜群。肌寒いときはレイヤリング用のブラウスとしても便利です。お手入れしやすいので、忙しい女性たちの時短にも活躍してくれること間違いなし。







どんな服とも、 相性が良いから、 自由に着こなしを楽しんで。

松浦子尔太良



WOMEN レーヨンエアリーブラウス (半袖) **¥1,990** +消費税

2018.6.19



ありがとうを

美屋 キュージャークのベルヴェデーレ・キャッスルの 展望台に上がった。

アシャは、僕の腕を組み直して言った。

いうか、信じられないよ。誰に感謝すればいいのだろう」 「うん、僕もそうだ。ニューヨークでデートなんて、夢と

僕はどきどきしていた。 長年付き合っているかのように触れ合ってくるアシャに

うれしいこと、悲しいこと、すべてそう」 誰のせいでもなく、すべて自分のせいであり、自分のちから。 父がよく言ったの、人生とはすべて自分の心のあらわれ。 「自分自身に感謝するべき。自分をもっとほめてあげて。

「うん、僕もそう思う。すてきなお父さんだね」

留学させることをずっと前から決めていて、それを私に 「だけど聞いて、父は私が中学を卒業したらニューヨークに



だから、父をどれだけ恨んだかわからない」一人でニューヨークにやってきたの。英語も話せなかったのよ。私は急に家族と友だちと故郷と離れることになって、寸前まで何一つ話さなかったのよ。ひどいと思わない?

「今でも恨んでる?」

あなたとこうしておしゃべりができるのも父のおかげ」できない素 晴らしい世 界に触 れること もできたし、たくさんの友だちもできたし、故郷では知ることが「ううん、今は感謝してる。さみしいけれど、ニューヨークで

アシャを愛しているんだね。君の未来を想って」大切な娘を、こんな大都会に行かせるんだから。それだけ「お父さんはきっとアシャ以上にさみしかったと思うよ。

大変だったはず。私の家はそんなに裕福ではなかったから」広げようとしてくれたんだと思う。だって学費だって広げようとしてくれたんだと思う。だって学費だって、

「お父さんに会いたい?」

抱きしめてもらいたい、それだけでいい」子供の頃のように、 くっついて甘えたいわ。 ぎゅって「お父さんにもお母さんにもすごく会いたいわ。会って

ばかりを考えてる自分がいる」もらいたい。寂しいとき、ベッドの中で丸くなってそれもらいたい。寂しいとき、ベッドの中で丸くなってそれ「僕も同じ気持ちなんだ。大人になっても、両親に抱きしめて

アシャは僕の手を自分の腰に回して、両手で僕を抱きしめた。

「最初はお父さんのハグ。次にお母さんのハグね」

アシャはぎゅーっと僕を二回抱きしめた。

「はい、今度はあなたの番。私を抱きしめて」

中に立った。アシャはくすくすと笑いながら、目をつむって僕の腕の



ふたりのお弁当

つえ、今日はどんなランチを作ってきてくれたの?」

ウインナー炒めを詰めた容器のふたを開けた。おにぎりを出し、おかずの鳥からあげと卵焼き、僕は持ってきたトートバッグから、ラップで包んだ

広げてピクニックをするのが僕は大好きだったんだ」みたいに家族全員で公園に出かけて、このお弁当を「これは我が家の味というのかな。休日になると、今日

はじめてだわ。黒いのは何?」「わー。おいしそう。このご飯を丸めたものを食べるの

海苔で包んで食べるんだ」だけど、そのままでは指にご飯粒がくっつくから、日本料理を代表する食べ物。丸めたご飯は手で食べるん「黒いのは海苔。海藻を紙のように平らにしたもので、

アシャは早速おにぎりを頬張った。

「おいしい! 中に何か入ってる!」

梅干しを入れてきた」「そう。中に好みの具を入れるのがおにぎり。今日は

「梅干し知ってる! 前に日本人の友だちから教えて



もらったわ。すっぱいけど大好きよ_

食べた。アシャはおにぎりを子供のようにむしゃむしゃと

「おかずも母の味だよ。どうかな?」

おいしいし楽しい!」ウインナーはトマトケチャップで炒めるのね。どれも「うん、鳥のフライは最高。卵焼きも甘くておいしい。

「しあわせ!」と言葉にした。アシャは足を伸ばしてくつろぎながら、何度も「楽しい!」

「私のお弁当も食べてみて」

言った。アシャは茶色い紙袋から、いくつもの容器を出して僕に

おにぎりと同じように手で食べるのよ」みたいな具を、このインジェラに載せて食べるの。これも「これはインジェラという薄いパン。ワットというカレー

野菜と肉を煮込んだワットをのせて食べた。僕はインジェラを食べやすい大きさにちぎって、その上に

パンなんだ。この味も好き。アシャが焼いたの?」「おいしいね!」これカレーみたい。インジェラは酸っぱい

ワットを作ってきたからもっと食べて」「そうよ。インジェラはかんたんに焼ける。いろんな種類の

ワットが楽しかった。豆や肉を煮たのや、野菜サラダがあったりと、多彩なのせて、「次はこれ」というように目の前に置いていった。アシャは僕のためのインジェラをちぎって、その上にワットを

いくの?」

おいしいの。我が家の秘伝なのよ」コーヒーを淹れてあげる。父が淹れるコーヒーはほんとにスパイスを入れて楽しむの。今度あなたのために同じね。あと、食後にコーヒーを飲むの。一杯目は同じね。あと、食後にコーヒーを飲むの。一杯目は「うんそうね。考えてみたら、ワットはおにぎりの具と

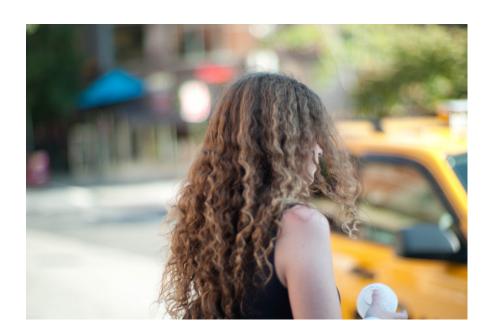
一年中はいていたわ」「あなたってショートパンツ似合うわね。私の父もショートパンツを

突然アシャは僕の膝を枕にして寝転んだ。

「これもエチオピア流。 夫婦やカップルはこうするの」

目をつむってくつろいだ。

彼女のカールしたやわらかい髪を指で触ると、アシャは







オーセンティックな本格派

短すぎず長すぎない絶妙な丈感が自慢のハーフパンツです。 高密度ツイルを微起毛させ、製品を縫い上げてから染める 製品染めと洗い加工によって独特の風合いを表現。 ステッチ 近くに現れるパッカリングやコインポケット、 腰裏のシャンブ レーパイピングなど、 本格的なヴィンテージのディテールにも こだわりました。

今季はお客様の声をもとにパターンを見直し。リラックス感あるはき心地はそのままに、ウエストはフィットするようにサイズ 調整。はいたときに裾幅とのバランスがよくなり、きれいなシルエットが実現しました。

夏本番の主役として

定番のカラーに加えて、スモーキーなパステルトーンのカラーやタイダイ染めなど柄物もご用意。色の濃淡にこだわったタイダイ染めは | 点 | 点ていねいに染めることで表情豊かに仕上がりました。

繰り返し洗濯しても変わらない耐久性、サラサラして心地よい肌ざわりは、夏本番の強い味方。シャツやポロと合わせてクリーンに、裾をロールアップさせて少し大きめのTシャツでアクティブに、シーンに合わせて着こなしの変化が楽しめるLifeWearです。







シンプルで味ふかく、 心地よいはき心地。 進化し続ける短パン。

松浦子尔太良



MEN チノハーフパンツ **¥1,990** +消費税

2018.6.26





リラックスできる服

の わかったわ……」 なたって人がどんな人か、なんとなく

座っている僕の膝に頭をのせたアシャがつぶやいた。

「なんとなく……ね」

なたは私がどんな人かわかった?」と聞いた。なんて答えたらいいのか戸惑っていると、アシャは僕を見て、「あ

そんなふうに感じたよ。」お父さん。次にお母さん。アシャのお弁当を食べていたらお父さん。次にお母さん。アシャのお弁当を食べていたら

「あたり! どうして私が父を好きなのがわかったの?」

こうしていたとか、いつも話してくれるからさ」「だって、僕を見て、ここが父に似ているとか、父は

大きいわ。夢も見れるし」
大きいわ。夢も見れるし」
大きいわ。夢も見れるし」
大きいわ。夢はきっとかなわないもん。ニューヨークで自立私の夢はきっとかなわないもん。ニューヨークで自立いた証拠だとわかったの。エチオピアに居ても、時期もあったけれど、よく考えてみれば、私を一番愛して時期もあったけれど、よく考えてみれば、私を一番愛していた「そっか。私をニューヨークに移した父のことを怒っていた

「アシャの夢って何?」



して自分で作ったものよ」はいているパンツは、エチオピアの民族衣装をヒントにはいているパンツは、エチオピアの民族衣装をヒントにために、気持ちも体もリラックスできる、それでいて私の夢は、ここニューヨークで暮らすたくさんの女性の

ようなパンツをはいていた。コットン素材で、ゆったりとしたくるぶし丈のパジャマのアシャはピンク色のブラウスの下に、ストライプ柄の

よく似合っている」「すてきだね。ほんとに着心地が良さそう。そして、

行けないけどね」
今日みたいなピクニックにはほんとに楽なの。レストランには、「あり がとう。このパンツは 部屋 着ふう なんだけど、

アシャはそう言って笑った。

セクシーな服のほうが好きでしょう?」どうも苦手。それはそれで問題だけど。だって男の人は思うけれど、わたしはセクシーな服を着て、男性に会うのは「決してセクシーな服ではないから、デートにはどうかと

今日のアシャの着こなしは、女性らしくもあり、上品で、けれど、今日みたいな日に着てこられると困っちゃうよ。「たしかにセクシーな服を着ている女性は魅力的に見える。

とっても好きだよ」しかも一緒にいる僕もリラックスできる感じというのかな。

アシャは目を閉じて、僕の膝にキスをした。

いたいな」

アシャはそう言って、僕の手を握った。



家族が大事

| / シャが好きな人のタイプってどんな人?」

いる人ってだめね。あなたはどんな女性がタイプなの?」なれない。すてきに見えても、家族をないがしろにしている人が好き。どんなに社会的地位が高くても、でれはとてもかんたんでシンプル。なによりも家族を大事に「私はとてもかんたんでシンプル。なによりも家族を大事に

思うんだ。家族は小さな社会だからね」思いやりや気遣い、助け合いや支え合いのきほんだと言うのかな。家族を大事にするって、他人に対する一緒だよ。僕も家族を大事にしている人が好き。家族愛って「なんだか、嘘っぽく聞こえるかもしれないけれど、アシャと

あなたの夢は何?」もっとあなたのことが知りたいと思ったの。そうそう、家族を大事にしていることがすぐにわかったわ。だから、「ほんとそう。私たち好きなことが一緒ね。私はあなたが

しても、何かしてあげられるかというと、未熟な自分には、離れていると『親孝行』はできないし、近くにいたとこれって、簡単そうでとっても難しい。今みたいに日本を要するに、両親を助け、両親をいたわり、両親を安心させ、要するに、両親を助け、両親をいたわり、両親を安心させ、(僕の夢は……。日本語に『親孝行』という言葉がある。



『親孝行』したいから」
『親孝行』したいから」
『親孝行』のためなんだ。お金が欲しい。なぜなら、やりたいことはいくらでもあるけれど、それはすべてやりたいことはいくらでもあるけれど、それはすべてやりたいことはいくらでもあるけれど、それはすべてよがら、にくさんお金をでいた。だから、仕事を頑張って、たくさんお金をは消し、というには、

すでに『親孝行』だと私は思うし」大事にして、『親孝行』したいと思っていること自体ができないかというと、そうではないと思うわ。お金が似たもの同士ね。でもね、お金が無ければ『親孝行』でうん。よくわかる。私も似てる。ほんとに私たちって

そして、にっこり笑って、僕の目を見つめた。寝転がっていたアシャは体を起こして、そう言った。

持ってきてる?」
持ってきてる?」
持ってきてる?」
になえ、二人で写真を撮ろうよ。その写真を私たち家族に「ねえ、二人で写真を撮ろうよ。その写真を私たち家族に「ねえ、二人で写真を撮ろうよ。その写真を私たち家族に

「うん、バッグの中にあるよ。でも、どうやって撮ろうか?」

ところに座っていた女性に声をかけて、私たちのためにバッグからカメラを取り出すと、アシャは少し離れた

シャッターを押してもらうように頼んだ。

アシャは僕の首に手をまわして、頬と頬をくっつけた。

もらった。「はい、チーズ」と言って、女性にシャッターを押してもっともっと」と頼んだ女性に言った。そして、自分でもっと近くに寄ってください。アップで撮りたいんです。

背景にして、 五枚ほど写真を撮ってもらった。夏の午後、僕らはセントラルパークのベルヴェデーレ・キャッスルを







涼しい夏の服

しなやかでなめらか、肌を滑るような感触が気持ちいい夏の LifeWearです。素材はドレープ感が魅力のレーヨン100パー セント。清涼感たっぷりのはき心地を追求しました。

ゴム仕様のウエストにはリボンをつけることで、腰の位置が自由に調整可能に。締め付け感のない心地よいフィットが自慢です。デザインはトレンドのワイドシルエット。お部屋だけでなく外出着としても使えるようにデザインしました。

楽しい夏の服

ルームウェアとして親しまれてきたリラコですが、**Tシャツなどと合わせて外にも出かけられるイージーボトムとしてお使いいただけます。**

今季は特に色柄にこだわりました。トレンド性のあるドットや 定番のストライプ柄、花柄に加えコラボ柄も登場。 家族や 友人とお揃いの柄を着て、海やバーベキューなどのイベント を盛り上げるアイテムとして、女の子同士のパジャマパーティ やリゾート地などの旅先で。 リラコは夏をもっと快適に、楽しくしてくれるはずです。





着こなし次第で、 エレガントな おしゃれ着に変身。

松浦 引 太良



WOMEN リラコ **¥990** +消費税

2018.7.3



人を好きになるとは

++6 ぶしい陽射しに目を細めて、アシャは麦わら帽子を

「わたし、今付き合っている人と別れることにする……」

ベェルヴェデール・キャッスルの池に投げ入れた。アシャはそう言って、地面に落ちていた木の枝を拾って

なんだか嘘をついているような気分は拭えないわ」思う。 今日あなたと会うことを彼に伝えてあっても、わたしには付き合っている彼がいるってことが理由だといたんだもん。実は、こうしてあなたと会っていることに、いなんだか嘘をついているようなるがいるの。 それはきっといたんだもん。実は、こうしてあなたと会っていることに、「今夜、彼に会って話してくる。これはわたしの問題だから、「今夜、彼に会って話してくる。これはわたしの問題だから、

僕はアシャの話を黙って聞いていた。

あなたと一緒にいるのは申し訳ないから」ことをよく考えてみる。気持ちがもやもやしながら、自分の問題を解決する。それからもう一度あなたとの「だから、今日のデートはここまでにしましょう。わたしは

鼻のまわりのそばかすがキラキラして見えた。アシャは麦わら帽子を脱いで、満面の笑顔を僕に向けた。

別れましょう。じゃあね」すてきな夢を話してくれて嬉しかったわ。ここです日はありがとう。お弁当おいしかったし、あなたの



見つめることしかできなかった。 逃してしまった。 小さくなっていく 彼女の後ろ姿をアシャが去っていったので、 声をかけるタイミングをきちんと言葉にして伝えたかった。けれども、小走りして僕は「アシャのことが好きだ」という自分の気持ちを、

いつの間にかセントラルパークウエスト通りに出ていた。聞こうか? そんなことをあれこれと考えていたら、明日の朝「コーヒーショップ」に行って、彼とはどうなったのかの道を歩いた。夜、アシャに電話してみようか? いや、小道を歩いた。夜、アシャに電話してみようか? いや、嬉しいような悲しいような気持ちで、僕はセントラルパークの嬉しいような悲しいような気持ちで、僕はセントラルパークの

いくのを、自分の心の中に感じていた。胸が苦しくなるほどアシャに対する気持ちが高まって

苦しいことだっけ? こんなにドキドキすることだったっけ?はじめてかもしれない。人を好きになるって、こんなにこんなふうに苦しくなるほど、人を好きになったのは

残っていることに気づいた。さらに胸がキュンと苦しくなった。腕をからませたシャツの袖に、アシャのほのかな香りがあたり、そして、アシャの髪をさわった自分の指、アシャがアパートに戻った僕は、アシャが頭をのせていた膝の

「苦しいな」とつぶやいた。



ひとときを思い出していた。選んで持ち歩いた。そして、一緒にお弁当を食べた現像し、その中で一番アシャがすてきに映っている写真を現像し、その中で一番アシャがすてきに映っている写真を一一日経っても、アシャから 連絡は無かった。

キャミソール一枚になった。ア シャ は 着 てい た レー ヨンの ブラウスを 脱 いで、お弁当を食べ終わった時、「暑いから脱いじゃお」と言って、

やり場に困った。小麦色の肌をしたアシャの素肌を間近で見た僕は目の

ぶら下がっていた。ネックレスには星のペンダントトップがキャミソールの胸元に、糸のように細いシルバーチェーンの

変えて、僕の体に背中をあててよりかかった。アシャは猫のようにしなやかな動きで、座っていた体制を

言った。

くっついていれば落ち着くというか、安心するの。変でしょ」家族や好きな人の体に、自分の体のどこかがちょっとでも寄りかかるのが好きだったのよね。まるで犬とか猫みたいに。「わ たしって 小 さい 頃 から こんな ふう に 体 をつ けて





すごく健康的に見えた。アシャのナチュラルなスタイルは、セクシーさよりも、肩から外れたキャミソールの肩紐を気にせずにいる

あれば、恋人とだったり、必ず誰かと一緒にくつろぐの」こんなふうに木陰で昼寝するのよ。 友だち同士のことも「エチオピアはニューヨークよりも暑いから、昼間はいつも

いいわよ!」「あなたもシャツを脱げば?」涼しくなって気持ち

外そうとした。アシャはそう言って、僕が着ているリネンシャツのボタンを

「大丈夫、大丈夫。僕はこのままでいいよ」

僕はあわてて外されたボタンをはめ直した。

楽に生きればいいのに!」
着ているものはどんどん脱いじゃうのよ。気にせず、もっとエチオピア人はとにかくリラックスするのが好きだから、エの人は、どうしていつもそんなふうにきちんとしてるの?

大笑いしながら言った。アシャのスキンシップにドギマギする僕を見て、アシャは

そんなやり取りをぼんやりと思い出していた。アパートの部屋で、僕はコーヒーを飲みながら、アシャとの

そうしていたら電話のベルが鳴った。アシャかもしれない。

「もしもし……わたし」

受話器の奥からアシャの声が聞こえた。







365日の快適機能

ユニクロが誇るエアリズムインナーは、"夏を気持ちよく"から "**I 年を通して快適"に進化しました。**吸放湿性をもつ植物由 来のキュプラ繊維を使用した生地は、汗を吸収し、拡散する ことで衣服内環境を快適にコントロールし、なめらかでやわ らかな肌ざわり。また、特殊な加工が衣服についた汗などの においを吸着、中和して消臭。洗濯を繰り返しても消臭効果 が持続します。

さらに体の動きにフィットするストレッチ、涼しくサラサラな肌 ざわりが続く接触冷感とドライ機能、雑菌の繁殖を防ぐ抗菌 防菌などの機能が満載です。

着やすさへのこだわり

キャミソール、UネックTシャツとともに、ネックラインを深めに設定。胸元の開いたアウターやシャツのボタンを開いても見えにくいように改良しました。また、身幅を広くして身体のラインが出過ぎないフィットにすることで、動いたときのずり上がりも軽減。軽量化したことで、もたつきのない快適な着心地を実現しました。

汗ばむ季節だけでなく、意外と気になる秋冬のムレ、寒暖差にも対応する次世代のスマートインナーです。





毎日着たいと思うのは、 不思議なくらいに、 安心感があるから。

松浦尔太良



WOMEN エアリズムキャミソール **¥990** +消費税

WOMEN エアリズムUネックT (半袖) **¥990** +消費税

2018.7.10



深夜のカフェで

「こんな時間だけど、これから会える?」

深夜一時を過ぎていた。 アシャは息を詰まらせるようにして言った。 時計の針は

会おう」

安心だった。
「カフェテリア」は二十四時間営業のカフェレストランで、「カフェテリア」は二十四時間営業のカフェレストランで、「カフェテリア」は二十四時間営業のカフェレストランで、

「三十分で行ける。早く会いたい……」

「うん、わかった。じゃあ、三十分後に」

「ありがとう。あとでね」

非常階段を走って降りた。
にんな時にかぎってエレベーターが故障していた。僕は彼女に早く会いたくなった。アパートの部屋を出ると、彼女に早く会いたくなった。アパートの部屋を出ると、でいたい」と言われたら、僕も電話を切った僕は急いで身支度をした。アシャの気持ちは



ウェイを見渡すと一台のタクシーが停まっていた。 運転手に 会いに行く」と答えた。運転手はにっこりと笑って、 と言うと、「何があった?」と聞かれた。「恋人に急いで タクシーに乗ろうか、ポケットには五十ドル。ブロード 外に出ると街はがらんとしていた。地下鉄で行こうか、 「七丁目の『カフェテリア』まで五ドルで乗せてくれませんか?」 「乗れよ」と言って僕を乗せてくれた。

> 言わんばかりに頷かれ、薄暗い客席を見渡すと、一番端の 「人と待ち合わせしています」と言うと、勝手に探せと きらびやかな服を着た客でにぎわっていた。ウエイターに

僕は照れた。 とっさに出た言葉だが、アシャのことを恋人と言ったことに

想像して、なんだかせつない気持ちになった。ニューヨークは こんな時間なのに、まだ眠っていない人がいるんだと 眺めながら、まだ電気が点いている部屋を見つけると、 ために必死に働く街というイメージが強かった。 夜の街という顔もあるけれど、僕にとっては誰もが明日の タクシーはものすごいスピードでブロードウェイを疾 走 した。流れゆく深夜のニューヨークの景色をぼんやりと

買ってやんな。泣かせるなよ」 「兄ちゃん三ドルに負けてやるよ。 彼女にアップルパイでも

にっこりと笑いながらそう言って僕にニドルを返した。 「カフェテリア」の目の前に車を停めたタクシーの運転手は、

手をひらひらとさせて、車を出した。 「ありがとうございます」と言って頭を下げると、運転手は

深夜の「カフェテリア」は、バーやクラブ帰りの

席にアシャが座っているのが見えた。一人ではなかった。

やっと会えた人

立ち上がった。 前に着くと、アシャは僕に気がついて椅子から シャと一緒にいるのは男性だった。テーブルの

「夜中に呼び出しちゃってごめんなさい……」

「ううん。大丈夫だよ。座ってもいいかな?」

「すみません。あなたに会いたかっただけです。すぐに アシャと付き合っているハリーです」と自己紹介した。 テーブルにつくと、男性が僕に手を差し出して「はじめまして。 帰りますから安心してください」と彼は言った。 僕は彼の手を握って「こちらこそはじめまして」と言った。

とても好印象だった。 彼は僕に対して、きちんとした礼儀を持って接してくれて、

なぜなら好きな人ができたからと。そうしたら、私が できないと彼が言って・・・・・」 好きになった人がどんな人なのか教えてくれないと納得 「ごめんなさい。今日わたしは彼に別れたいと言ったの。

悪かった」 帰ろうと思ったんだけど。握手をしたら彼が決して悪い 「さあ、僕は帰るよ。お役御免だ。ほんとは何か言ってやって 人間ではないことがわかったよ。いやな気持ちにさせて

OUSTOCK



「ありがとう、ハリー」

振り向かずに立ち去っていった。彼は、近くのウエイターにお札を数枚渡して、後ろをアシャと彼は立ち上がってしっかりとハグをした。そして

「ほんとごめんね…。あなたのことを話さずにはいられなくて。「ほんとごめんね…。あなたのことを話さずにはいられなくて。 けいど女性問題がいろいろあって、わたしは彼にとってだけど女性問題がいろいろあって、わたしは彼にとってだけど女性問題がいろいろあって、わたしは彼にとってだけど女性問題がいろいろあって、わたしは彼にとってだけど女性問題がいろいろあって、わたしは彼にとってだけど女性問題がいろいろあって、わたしは彼にとってたけど女性問題がいろあって、わたしは彼にとってだけど女性問題がいろあって、わたしはあなたが絶対に必要な気がするの。これから先、あなたにはわたしが絶対に必要な気がするの。あなたの夢をかなえるにはわたしが。わたしの夢をかなえるにはわたしが。わたしの夢をかなえるにはわたしが。わたしの夢をあなたに感じたのよ。こんな寂しい大都会でそう思える人にやっと出会えたと思ったの」

アシャは目に涙を浮かべながら言った。

きた。「オーダーは何にしますか?」とウエイターが声をかけて

着こなしだったけれど、なぜだか一段とすてきだった。姿のアシャは、普段に比べ、シンプル過ぎるくらいシンプルな引いて店を出た。細いジーンズにヒールをはき、Tシャツ「ごめんなさい。すぐに出ます」と僕は答え、アシャの手を

帰った。僕はタクシーを拾い、自分のアパートにアシャを連れて

アシャは答えて微笑んだ。「明日の仕事は何時から?」と聞くと「お休み!」と





新感覚のシルエット

ロサンゼルスにユニクロが設立した「ジーンズイノベーションセンター」で誕生したシガレットジーンズ。最大の魅力はシルエット。

全体のフィットはスキニー、シルエットはストレートで仕上げ。 そして膝下からのストレートなデザインが、一般的なスキニー よりも脚の形をきれいにカバー。 ふくらはぎの締め付けがない ので、どんな女性の脚も細く、美しく見せてくれます。 さらに ウエストはハイライズで脚長効果も抜群です。

快適な本格派

生地は、世界でも名高い日本のデニムメーカー「カイハラ」 と共同開発した**上質で柔らかなコンフォートストレッチデニム** を使用。伸縮率は30%でよく伸び、ラクにはいていただけます。

また、ステッチやボタンなど本格的なディテールにもこだわりました。リジッドはもちろん、ヴィンテージデニムを参考にしたウォッシュ加工のバリエーションも幅広くご用意。休日はスニーカー、夜はヒールを合わせて。デイリーでのワードローブにおすすめしたい自信作です。









着心地のよい Tシャツのような ジーンズです。

松浦子尔太忠



WOMEN ハイライズシガレットジーンズ (丈標準70cm) **¥3,990** +消費税

2018.7.17



今どこに立っているのか

きれいに澄みきっていた。

「おはよう……。今日はいい天気だね」

「うん、暑くなりそうね。よく眠れた?」

「うん、眠れた。アシャは?」

アシャはつないだ手にぎゅっとちからをいれて「もちろん」と 言って微笑んだ。アシャの甘い香りが鼻をくすぐった。

「リンカーンって好き?」

アシャは突然僕に聞いた。

これからどの方向に向かおうとしているかを知ることが 来て、はじめてリンカーンの伝記を読んだの。そしてとても 下せるはず』という彼の言葉に、はっとしたの。それから できたら、何をどうやってするべきかのよい判断をきっと 好きになった。『自分が今、どこに立っているかを知って、 「そう、エイブラハム・リンカーン。わたしニューヨークに



どこの方向に向かおうとしているのかとね」いつも考えたわ。自分は今どこに立っているのか、そして、

森の中で気づいたのかな。深い言葉だね」「リンカーンって、たしか木こりだったんだよね。その考えは

も猫とりんごとイソップが大好き。あなたは?」彼は、猫とりんごとイソップが大好きだったのよ。わたし彼は、猫とりんごとイソップが大好きだったのよ。わたしてそうよ、彼は木こりなのよ。そこがすごいところ。あと

アシャは身体を起こし、僕の手を引いて顔を向き合わせた。

太陽』って知っている?」「猫とりんごとイソップかあ。僕も好きだな。『北風と

ちからでは無理っていう教えね」うまくいかないって話よね! 旅人の服を脱がすのに、「知ってる! どんなことも、ちからまかせにやっても

あれこれと話して楽しんだ。僕とアシャは、自分たちが知っているイソップの寓話を

得意だったから、それはきっとイソップから学んだのよね」「リンカーンって、大切なことを人々に面白く話すのが

「すごいなあ。 リンカーンって」

方向を向いているの?」「ねえ、あなたは今どこに立っているの?そして、どの

アシャは僕の腕の中でこう聞いた。

僕は窓から見える青い空を見つめてぼんやりと考えた。自分は、今どこに立って、どの方向を向いているのだろうか?

嬉しいなと思って……」だけど、向いている方向が同じでありたい。そうだったら「わたしとあなたは、きっと違った場所に立っているはず。

アシャはそう言って、僕の腕に頬を乗せた。



アシャのおしゃれ

知らなかったわ! なんておしゃれさんなの!」 なたが、こんなに服を持っていたなんて

叫んだ。 僕の部屋のクローゼットを開けて中を見て驚いたアシャは

ことになっている。家具付き、服付きの部屋ってこと」僕の服ではないんだ。だけど、自由に着てもいいって、違うよ。これはこの部屋の持ち主のボーイフレンドの服で、

ジャックとの奇遇をアシャに話した。僕は、この部屋を借りたときの経緯や、服の持ち主である

借りようかしら…」服はあなたに似合うからラッキーね。どれかわたしも「へー、そんな出会いがあったのね。アメリカントラッドな

クローゼットにしまわれている服を物色した。おしゃれで、服好きなアシャは、宝ものを発掘するように

かわいいわ」
「みいつけた!これ、わたしはいてみよう。きっと

普段からおしゃれなアシャが、メンズの服をどんなふうに映した。

アシャは細身のカラーパンツを、自分の腰にあてて鏡に



コーディネートして着こなすのか僕は興味津々になった。

いいし」とアシャは鏡の前ではしゃいだ。 大 丈 夫 ね。 ロールアップさせて 足を 見せれ ばバランス大 丈 夫 ね。 ロールアップさせて 足を 見せれ ばバランス

「上は何を着るの?」

少し大きめを着て、タックインするとか」「そうね。上はシンプルにシャツがいいわ。これもメンズの

チェック柄のシャツの袖に腕を通した。脱いで裸になり、クローゼットの中から探しあてたアシャは、パジャマ代わりに着ていたTシャツをぱっと

いいんじゃない?」
「ほら、どう?」この上にデニムジャケットでも羽織れば

アシャは鏡の前でおどけてくるりと回った。

出かけるわ。いいでしょ?」「ねえ、朝食を食べに行こうよ。わたしこの格好で

言った。無邪気な子どもみたいに飛び跳ねながら、アシャは

バランスをとればいいし。さあ、出かけましょう。おなか着こなすのが好き。あとは靴とアクセサリーで女性らしさの「わたしは、こんなふうにメンズのシンプルな服をシックに

空いたわ!」

二人にとってはじめての朝だった。







新感覚の新素材

本格的な5ポケットジーンズのディテールと、新感覚のはき心地を両立させたEZYカラージーンズ。表地はベルベットのような深い光沢が魅力。ストレッチ性のあるサテン素材を使用し、微起毛加工することで上質な表情が生まれました。

生地段階で横糸(肌面にあたる糸)にコットン/レーヨンの 混紡糸が配置されるように設計し、肌面にあたる風合いにも 拘りました。さらにウエスト内側にはゴムを、フロント内側に はウエストコードを配置。快適で絶妙なフィット感がポイント です。

豊富なカラバリ

定番のブラックやネイビー、スモーキーなグレーなど、上品な素材感を活かしたカラーをご用意。今季のトレンドカラーであるレッドやブラウンカラーは、挿し色としてスタイリングのスパイスに、トータルでのワントーンコーデもおすすめです。

すっきりとしたテーパードシルエットの足元は、カジュアルなスニーカーはもちろん、革靴を合わせて落ち着かせながら、シャッやジャケットなどの組み合わせでキレイ目に仕上げるなど、幅広い着こなしをお楽しみいただけます。





ずっと一緒に。 そんな気分にさせる、 恋人のようなパンツ。

松浦子尔太忠



MEN EZYスキニーフィットカラージーンズ **¥2,990** +消費税

2018.7.24





トーコさんの家で

飾ったときに人に喜ばれるような人生を歩む。

─由を愛するアシャ。

「わたしの思う自由とは、良識と良心をしっかりと持った「わたしの思う自由とは、良識と良心を大切にするの。あり続けること。ルールに縛られずに、常に自分に素直でもしルールが必要であれば、ルールは自分で作るってこと。他人が作ったルールに従うのはどうかってことよ。あと、自由って孤独よ。これはいつもそう思うわ。でも、人間って一人で生まれてくるし、死ぬのも一人じゃない? だから孤独って生きていくための条件なのよ。みんないっしょ。だから孤独を悲しむって変だとわたしは思う。孤独はだから孤独を悲しむって変だとわたしは思う。孤独はだから孤独を悲しむって変だとわたしは思う。孤独はないの思う自由とは、良識と良心をしてはいけない。

アシャは言った。ワシントン・スクエア公園のベンチに座った僕の腕の中で

僕自身そういう服があればいいなと思う」ような服、みんなが自由になれる服って言ってたよね。着ると誰もがリラックスできて、着る人の生活を助ける「僕はアシャがこれから作ろうとしている服がとても楽しみ。

トーコさんの自宅に、僕とアシャは招待されていた。その日の午後 ニューヨークに暮らす日本人女性の



思っていた。僕もトーコさんにアシャを会わせたいと言っていた。僕もトーコさんにアシャを会わせたいと深めていたトーコさんの話をアシャにしたら、ぜひ一度会いたいと偶然セントラルパークで出会い、それからずっと親交を

沿いのモダンなアパートに暮らしていた。トーコさんは、アッパーウエストサイドのブロードウェイ

くれた。(僕とアシャが訪れると、トーコさんは大喜びして出迎えて

上げた。飾られていた。それを見たアシャは「すてき!」と声を飾られていた。それを見たアシャは「すてき!」と声をトーコさんの家の、広いリビングにはたくさんのアートが

トーコさんは僕らに抹茶を淹れてもてなしてくれた。

今日はわたしの焼いたクッキーでがまんしてね」、ごめんなさいね。ほんとうは和菓子を食べさせたいんだけど、

すてきなお家ですね。飾ってあるアートもすばらしいです」「とんでもありません、おいしそうなクッキーです。しかし、

両手で持って話した。アシャがそう言うと、トーコさんは、抹茶を淹れた茶碗を

生み出すものが飾れるものかと、いつも考えてるの」ものが好きなの。それと同時に、自分自身の人生もしくは「ありがとう。わたしは、飾って見ることでしあわせを感じる

「飾って見ること?」とアシャが聞いた。

「そうよ。飾って見れるかどうかはとっても大切」

眺めた。 トーコさんは壁に掛かっている絵や写真を目を細めながら



踊りたくなるスカート

わたしっておかしいでしょ?」とい作品なのか?ってね。誰もが飾って見ていたいと思う、よい作品なのか?ってね。でも、一枚の絵として飾って見られるかどうか。わたしはでも、一枚の絵として飾って見られるかどうか。わたしは

トーコさんはそう言って笑った。

感じるものであるかどうかってことではないでしょうか?」人の暮らしを支えるものかどうか。そのための物語を見ていたいと思えるかどうか。人の役に立つかどうか。すばらしいとか、そういうことではなくて、人がいつまでも「おかしくないです。わたしわかります。きれいとか、「おかしくないです。わたしわかります。きれいとか、

アシャを引き寄せて、両手で抱きしめた。アシャがそう言うと、トーコさんはソファに座っている

喜ばれるような人生を歩まないとね」自由だけど、飾れないものでは駄目。飾ったときに人に「あなたはすてきな人ね。そうなのよ。人生は自由。

トーコさんはアシャの手を握りながら言った。



買うお金を減らしてあげるような服を作りなさい」ずっと長く着られる服を作るといいわ。流行を追って服を流行のことなんか忘れなさい。それよりも着心地のよい、「あなたは服を作りたいのよね。彼からそう聞いてるわ。

自由に生きることを支える服を」ような服を作りたいんです。その人がその人らしく、「はい。わたしもそう思っています。人々の暮らしを支える

娘のように見えた。そのくらい二人は仲良しになった。今日はじめて会ったのに、アシャはまるでトーコさんのアシャをトーコさんに会わせてよかったと心から思った。

もらえる?」「アシャ。あなたにあげたいものがあるの。受け取って

持ってきた。

「わあ、なんでしょう。広げてみていいですか?」とアシャは

言った。

きれいなシルエットなの。きっとあなたに似合うと思うの」スカートってわかる?(くるっと回ると、ほら、軽やかで「これはわたしが昔、自分で作ったスカートなのよ。サーキュラー

トーコさんからプレゼントされたスカートをはいた。アシャははいていたデニムをその場でぱっと脱いで、

ありがとう!」わたしが作りたい服ってこういうのなの!(トーコさんかわいい!(見て見て!)なんだか、踊りたくなるわ。「見て!ほら、動くとスカートがふわってなって、きれいで

見ては、子どものようにはしゃいで喜んだ。アシャは、鏡の前でくるくる回って、スカートのシルエットを







レディなシルエットの秘密

動くたび、風になびくたびにふわりと揺れる上品なシルエットが自慢のサーキュラースカート。**女性らしく、美しく見えるフレアなAラインにこだわりました。**その秘密は生地にあります。

ストレッチ性があって、しっかりとした素材感のコットンツイルを使用。そしてウォッシュ加工を工夫することで、生地にハリと柔らかさが生まれ、たっぷりとしたボリュームときれいな広がりをキープ。洗濯してもシワになりにくく、お手入れが簡単なのもポイントです。

簡単に着られて美しく

ウエストのうしろ側にはゴムを使っているので圧迫もなく、すっ きり見せながらラクにはけます。 さらにファスナーは自動ロッ ク付き。 着用した時にジッパーがくずれる心配もありません。

シャツや短めのジャケットに足元はヒールできれい目な着こなしはもちろん、ウエストとポケットロのステッチが適度なカジュアルさをプラスしているから、Tシャツやスニーカーとも相性抜群。通勤から週末までいつでも活躍してくれるLifeWearです。







自分の姿を、 鏡でずっと見ていたい。 上品でかろやかで美しい 自慢のスカート

松浦子尔太忠



WOMEN コットンサーキュラースカート (ハイウエスト・丈標準74 ~ 77cm) **¥2,990** +消費税

2018.7.31



小さなラッキー

いうのは一体なんだろうか。いろいろな意味で僕はラッキーだった。そんなラッキーと

くるのだろう。 必ずそうなるための理由がある。ラッキーはどこからやって「棚からぼた餅」という言葉があるけれど、それだってラッキーは、決してまぐれや奇跡ではない。ことわざに

そんなふうにラッキーについて考えた。ミルクをたっぷり入れて、窓から見える街の景色を見ながら、のせ、ブルーベリージャムを塗って食べた。コーヒーには今朝、僕は半分に切ったベーグルに、クリームチーズを

心がけはなんだろう。
いがけはなんだろう。
とで、多くはもとめないけれど、ラッキーのために必要ないいけれど、これから先、ささやかなラッキーでなくてもいいけれど、これから先、ささやかなラッキーでなくてもいいけれど、これからだ。いつまでもラッキーが続くはずがない、かがけはなんだろう。



どう思う?」自分でいるためにはどうしたらいいのだろう。アシャは僕はすごくラッキーだと思う。これからもラッキーな「世の中の成功者に比べたら、足元にも及ばないけれど、

みた。 小さなテーブルの向かいに座ったアシャに僕は聞いて

ラッキーでいられるわ」というではいいのなら、それを当然と問題があなたから消えなければ、あなたはきっとずっと思っているか、もしくは感謝をしているのかどっちかだと思っているが、もしくは感謝をしているのかどっちかだと

水というのもアシャのスタイルだった。ベーグルを食べながらこう言った。朝食にはコーヒーではなく、アシャは、自分好みに軽くトーストして、バターを塗った

自分の態度から、ラッキーは生まれるものだと。出会うものすべてに向き合う、「感謝をしている」というアシャの言葉を聞いて僕はこう思った。人も含めて、日々

小さなラッキーだと私は思うの。『ああ、風が気持ちいい。人はラッキーとは思わないじゃない? けれども、それは気持ちいい風に吹かれたとき、そんなことをほとんどの見逃してしまうわ。たとえば、道を歩いていて、さわやかで思うわ。ほとんどの人は、小さいラッキーのことを「むつかしいのは、ほんの小さなラッキーに気づくかどうかだと「むつかしいのは、ほんの小さな

対してもそうよ」そんな自分でいたいと思うわ。今、私が着ているシャツに誰に言うともなく『ありがとう』と言葉にする。私はわたしはなんてラッキーなんでしょう』とね。そして、

微笑んだ。 アシャはそう言って、残りのベーグルを口にぽんと入れて



人を愛したくなる服

┤─素肌にふわっとはおるように着ていた。┤─朝のアシャは、真っ白なコットンのシャツを、

しているので、とっても着心地がよさそうだった。かわいらしくて、袖の長さはちょうどよく、身幅もたっぷり少し大きめで、肩は落ちているけれど、それがまた

そう言ったアシャは、グラスの水をごくりと飲み込んだ。

のって、ひとつのしあわせだよね」ラッキーだよね。だから感謝の気持ちが湧く。そういう「よくわかる。着ている服が心地よいというのも小さな

めちゃくちゃ思いやって、いわゆる愛情をたっぷり注いで気持ちってわかる? ようするに、このシャツを作ってくれた気持ちってわかる? ようするに、このシャツを作ってくれた感謝できる自分ってすてきなことだと思う。 わたしね、「うん、そう。 ほんとにしあわせよ。そういうしあわせに



日々、小さなラッキーを見逃さないのが大事よね」広がっていくってすばらしいと思わない?だからこそ、気持ちで、誰かを愛したくなる。そうやって、愛情がめちゃ愛された気持ちになるから、嬉しくなって、その感謝の作ったと思うの。だから、その愛情の連鎖が起きるのよ。

アシャが作りたい服ってそういう服だって前にも言ってたよね」そのシャツを作った人が聞いたらきっと喜ぶよ。でも、そのシャツを作った人が聞いたらきっと喜ぶよ。それさ、

またラッキーは与えてもらえるような気がするの」 という でもあるし、服作りもそうよ。小さなラッキーを淹れることであるし、服作りもそうよ。小さなラッキーに感謝して、でもあるし、服作りもそうよ。小さなラッキーに感謝して、でもあるし、服作りもそうよ。小さなラッキーに感謝して、でもあるし、服作りもそうよ。小さなラッキーに感謝して、そのラッキーを独り占めしないで分かち合う。そうすれば、深くでもあるし、服作りもそうよ。小さな気がするの」 またラッキーは与えてもらえるような気がするの」 またラッキーは与えてもらえるような気がするの」 またラッキーは与えてもらえるような気がするの」 またラッキーは与えてもらえるような気がするの」 またラッキーは与えてもらえるような気がするの」

語った。 アシャはそれが自分の生き方そのものであるというように

きっとラッキーな自分でいられるのかもね」自分のできることでするのが大事なんだね。そうすれば「結局、ラッキーへの感謝と、ラッキーのお返しを、

けれど、すぐに『これも学びだわ。ラッキー!』ってね」でしょう。嫌なことがあってもその時は悲しんだりする「私って、なんでも『ラッキー』って思っちゃうの。おかしい

アシャはベーグルをもう一個焼いて、自分の皿にのせた。

「ベーグルおいしいわ。ラッキー」とアシャは笑い転げた。







あたらしいベーシックシャツ

襟の形、袖のつくり、身幅のサイジングなど何度もフィッティングを重ねてたどり着いた理想のシャツです。

肩のラインを下げることで生まれたリラックス感あるシルエット、ほどよい着丈は後ろを長くしてヒップをカバー、サイドスリットはトレンドを取り入れてやや深めに、フロントインしても綺麗に見えるように設計しています。前立てはシンプルなステッチにして、カジュアルながらクリーンな表情に仕上げました。

ワードローブの主役に

生地に使用しているエクストラファインコットンは、軽くて肌 ざわり抜群な上質コットン 100 パーセント。シーズンを通して 快適に着られる素材感が自慢です。そして、幅広いスタイリングに対応できるのもポイント。

スキニーパンツやスカート、ワイドパンツ、アンクルパンツなど合わせるボトムスを選びません。さらにシャツをタックインすればクリーンな印象に、アウトすればリラックスシルエット。表情豊かな着こなしを楽しみながら、タイムレスに愛用いただきたいLifeWearです。





ジャストで着ても、 少し大きめで肩を落として着ても、 自分らしさが輝くシャツです。

松浦子尔太忠



WOMEN エクストラファインコットンシャツ (長袖) **¥1,990** +消費税

WOMEN
エクストラファインコットンストライプシャツ (長袖) **¥1,990** +消費税

2018.8.7





アシャの部屋

まずは自分の頭で考えるってこと。

訪れた時、部屋があまりに簡素で僕は驚いた。イーストヴィレッジにあったアシャのアパートをはじめて

あるときは服の勉強をしたりして、いつも過ごしていた。えのラグの上でアシャは、くつろいだり、本を読んだり、丸テーブルと椅子が二脚。壁に沿って作られた本棚があり、れテーブルと椅子が二脚。壁に沿って作られた本棚があり、本のラグの上でアシャは、くつろいだり、本を読んだり、本のラグの上でアシャは、くつろいだり、本を読んだり、本書くらいの十二畳くらいのキッチン付きのリビングと、六畳くらいの十二畳くらいのキッチン付きのリビングと、六畳くらいの

とっては当たり前だし」たしか日本人もそうよね。家の中では靴を脱ぐのも私にだけど、こうして広い床に座っているほうが落ち着くわ。「私、ソファーのある生活に慣れていないのよね。楽ちん

ポーズをとった。アシャはそう言って、床にごろりと横になって、ヨガの

なんだか懐かしくて楽しいよ」マットが敷かれた床で生活していたから、こうしているのは悪くないよ。僕も子どもの頃は、日本ならではの畳という「アハハ。アシャの部屋ってヨガスタジオみたいだね。でも



ことはなかった。 床はいつもピカピカに磨かれていて、ちりひとつ落ちている言う。たしかに、 アシャの部 屋 でくつろいでいる 時、きれい好きなアシャは毎朝部屋の掃除をしてから出かけると

テレビがつけっぱなしになっていてそれが嫌だったとも言った。テレビが大好きだったらしく、彼の家に行くとずっとしてならない」とアシャは言った。前に付き合っていた彼氏は彼女に本を買い与え、欲しい本はすべて買ってくれたアシャの実家にはテレビが無かったという。その分、両親はアシャの実家にはテレビが無かったという。その分、両親は

「アシャが暮らしの中で大切にしていることって何?」

いたアシャに僕は聞いてみた床で寝転んで、窓からそよぐ風を味わうように目を閉じて



自分の頭で考える

) あぐらをかいて座ってこう言った。 シャは静かに目を開けて、ゆっくりと起き上がって、

自分自身の問題に無関心になるって一番よくないわ」 自分自身の問題に無関心になるって一番よくないわ」 だっちにしようかと選ばなくてはならないことばかりどっちにしようかと選ばなくてはならないことばかりどっちにしようかと選ばなくてはならないことばかりじゃない? でもそういうことを、あたかも、どうでもいいじゃない? でもそういうことを、あたかも、どうでもいいじゃない? でもそういうことを、あたかも、どうでもいいじゃない? でもそういうことを、あたかも、どうでもいいだった。 さっきもにまずは自分の頭で考える、ってことだと思う。さっきも「まずは自分の頭で考える、ってことだと思う。さっきも「まずは自分の頭で考える、ってことだと思う。さっきも「まずは自分の頭で考える、って」とだと思う。さっきも

アシャはゆっくりと静かな言葉で話した。

暮らしに大切なことだね」
暮らしに大切なことだね。困ったことや、できないことが起きたとき、知識や情報に頼って、たとえばわからないことが起きたとき、知識や情報に頼って、たとえばわからないことが起きたとき、知識や情報に頼って、たとえばわからないことがはさい。

今の世の中って、思考する時間を作るのがむつかしいくらい「そう、あなたの言う通り、思考するのが大切。それなのに



してるのかしら」
忙しくなっているのが怖いわ。人に思考させないように

不安なことを自分の頭で考えるために……」されているんじゃないかって怖くなるときがある。ここにはされているんじゃないけれど、外で仕事をしていると、否が応でもいろんな情報が耳や目に入ってくる。だから否が応でもいろんな情報が耳や目に入ってくる。だからいだして、静かで、広くて、一人でいられるゆったりした、自分が何かにコントロール「私ときどき思うんだけど、自分が何かにコントロール「私ときどき思うんだけど、自分が何かにコントロール

足の爪がかわいく見えた。小麦色をしたアシャの肌に、白くて小さな貝殻のようなアシャは脱いだソックスをくるくるっと丸めて裸足になった。

そういうの」したアースカラーが好き。ブラウン系とか、グレー系とか、「ねえ、ソックスって何色が好き? 私は自然をイメージ

白かな」「僕はグレーが好き。どんな服にも合うからね。あとは

「あなたはいつも白を選ぶよね。すてきよ」

アシャは丸めたソックスを指で転がしながら言った。

ひとつ几帳面に丸めていたなって。日本でもソックスってお母さんはいつもこんなふうに洗濯したソックスをひとつ「私ソックスを丸めると、いつもお母さんを思い出すの。

丸める?」

「僕のお母さんは、こうするんだ」

した。リブの部分だけを丸めて、左右のソックスをひとまとめに関は丸まったアシャのソックスを一度広げて、ソックスの

ほんとうに私のお父さんと似てるのね」「あ!それはお父さんのやり方と一緒!アハハ。あなたって

と言った。と言ったアシャは僕の額にキスをして、「とっても楽しいわ」







ユニクロの大定番として

コーディネートを選ばない細かいリブ編み、カラバリ豊富な50色展開、さらに消臭機能も付いたユニクロを象徴する定番ソックスです。

芯となるポリウレタン弾性糸にナイロンを巻きつけた加工糸 "フィラメントツイストヤーン"を使用することで、締め付けのない絶妙なはき心地が実現。ほどよい厚みは、スニーカーはもちろん、滑りやすい革靴の中でズレて邪魔になることはありません。オンでもオフでも活躍間違いなしのLifeWearです。

足元から色遊びを

春夏と秋冬シーズンでは、トレンドを加味した新色を入れ替え。流行の色をまずはソックスから取り入れてみるのもおすすめです。ソリッドカラーの白、黒、ネイビーはスーツやフォーマルな装いに、杢や霜降りはヴィンテージチノやデニムと相性抜群。またワントーンコーディネートでの色合わせや、ワンポイント使いなど、いつものスタイルの幅を広げてくれる自慢のアイテムです。









嬉しいソックスって、 どんなソックスなのかを、 とことん考えたのです。

松浦子尔太忠



MEN 50色ソックス **¥290** +消費税

2018.8.14





Hip Hopを知った日

僕の部屋にはレコードプレイヤーがあったのだ。 レコードを、アシャが僕のアパートに持ってきた。 る日、働いているカフェの常連からもらったという

アシャは言った。 「今いちばんかっこいい音楽よ。ね、一緒に聴こうよ」と

があり、タイトルは「That・s The Joint」と レコードジャケットには「Funky 4+-」というアーティスト名

「これが本物のラップだって。デボラ・ハリーの『ラプチャー』の 歌い方は、この曲からってレコードをくれた人が言ってたわ」

プレイヤーにレコードをのせて針を落とした。 アシャはデボラ・ハリーが大好きだった。僕はレコード

聴こえてきた音楽を耳にした僕らは息を飲んで目を 合わせた。

「かっこいい……」

今まで聴いたことのない、まったく新しい音楽だった。 ビートになっている。 それは商業的な歌というよりも、リアルなストリートの スピーカーから聞こえてきた「That's The Joint」は、 人の言葉そのもの。人々の言葉による会話がメロディであり



「すてきすてき! なんてかっこいいのでしょう!」

いい。 Joint!」を、飛び跳ねながらレコードと|緒に歌ってはじめた。 そして サビの 部分の「She‐s Theアシャは我慢できずに立ち上がり、部屋の中で踊り

めっちゃ最高!って意味よ」「ねえ、『That,S The Joint』ってわかる?

Joint!」を繰り返し叫んだ。
Joint!」の部分で、僕を指さしながら「The意味を味わった。アシャは、後半の「He・S The意味を味わった。アシャは、後半の「He・S The長い曲で、僕らは何度もレコードをかけ続けて、踊りながら、「That・S TheJoint」は、九分を超える「That・S TheJoint」は、九分を超える

今まで無かったもの!」ストリート音楽よ。私ほんとうにすごいと思う。こんなのストリート音楽よ。私ほんとうにすごいと思う。こんなのミュージシャンではなく、レコードを楽器代わりに使った「これってハーレムやブロンクスで生まれた、楽器を使う

だった。「That・S The Joint」の話題でもちきり名前なのかわからなかった。カフェで会う友だちも皆、僕ら はこの 新しいストリート音 楽が なんという

夢中になっていたロウェナが、「もう Hip~Hopしかそれから少し経った頃、僕らと同じように新しい音楽に

渡した。聴きたくない」と言って、一本のカセットテープをアシャに

と太いマジックで書かれていた。 カセットテープのケースには「Rapper‐s Del‐‐ght」

「Rapper,s Delight」を聴いた。その日の夜、僕とアシャはロウェナおすすめの

『ー said a Hip Hop』って最初に言ったわ」アシャは僕の腕を掴んで言った。「ね、わかる?

から言った。 言葉のひとつひとつを、あたかも本を読むように聴き入って言葉のひとつひとつを、あたかも本を読むように聴き入ってアシャは「Rappers Delight」で歌われる

「これがHip Hopよ」と。

大ヒットしたChicの「Good Times」だった。「Rapper,s Delight」のメロディーは、



055 WOMEN

ハーレム探検を

楽しんでいた。 とアシャは、いつもニューヨークという街の探検を

みようよ。 私ヒップホップをこの目で見てみたいわ」「ねえ、 明日の休みの日にハーレムかブロンクスに行って

からだ。 少し前にジャックの手伝いで、車でブロンクスを訪れていたブロンクスという 言葉に僕は 反応 した。というのは、

ゴーストタウンのような街並みだった。なく、空き地が多く、建物のほとんどが廃墟と化したなく、空き地が多く、建物のほとんどが廃墟と化した口ックをして、窓は絶対に開けるな」とジャックは言った。車がブロンクスというエリアに入っていった時、「ドアの車がブロンクスというエリアに入っていった時、「ドアの

ドアを開けようとしたことだ。道の脇から数人のホームレスが現れて、何かを言いながら冷や汗をかいたのは、信号が赤になり、僕らの車が止まった時、

いた。
車に向かって何かを叫び、ゴミのようなものを投げつけて車に向かって何かを叫び、ゴミのようなものを投げつけて

なったんだ。街並みが取り壊されていく中で、ビルの住民が郊外に移ってしまって、残ったのは貧困層だけに「このあたりは一番治安が悪い。都市計画の末、たくさんの

街はこんなありさまになったんだ。ひどいもんだ」持ち主が保険金を得るために建物に放火したりして、

ジャックは首を振ってこう言った。

場所にアシャと行く気にはならなかった。ブロンクスがどんなところか知っていた僕は、そんな危険な



女の子がかわいく着こなしていて、真以して買ったのよ。「このレギンスパンツは、ハーレムのアフリカンアメリカンの昼間なら絶対安心よ」とアシャは言った。「バーレムなら大丈夫よ。私、前に行ったことがあるわ。「ブロンクスは危ないよ。行くところではない」と言うと、「ブロンクスは危ないよ。

しっかりしたスニーカーのバランスはかわいいわ」バスケットのスニーカーを合わせるのが好き。細い足にほら、足にぴったりで細くてすてきでしょ。このパンツに女の子がかわいく着こなしていて、真似して買ったのよ。

僕に見せた。おしゃれなアシャは、嬉しそうに自分のコーディネートを

詳しいから!」

言った。ロウェナに電話すると「私が案内するからまかせて!」と

スニーカーがいいわ。トップスは黒いタンクトップにしよっと」「私、このレギンスパンツはいていこうっと。 靴はまっさらな

迎えた。僕らはハーレム探検にわくわくしながら、その日の朝を





本格ジーンズのルックス

ラクにはけて動きやすく、すっきり美脚ラインが自慢のレギン スパンツです。

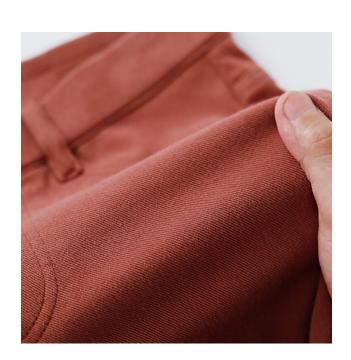
今季は、はいたときの美しさにこだわり、ディテール、ステッチ幅などすべて見直し。側面のラインを後ろに移動し、前ポケットの幅を広く、後ろポケットはお尻を隠しながらヒップが高く見える位置と大きさにパーツのバランスも変更。 さらにヨークのラインやステッチもよりシャープにすることで、スキニージーンズのような本格パンツのルックスが実現しました。

極上のはき心地

素材はタテにもヨコにも自由に伸びて動きやすいカットソー 生地ながら、ツイルのような凹凸のある表面感が特徴です。 通常よりも高い弾性を誇る繊維"スパンデックス"を使用する ことで抜群のストレッチ性が生まれました。

ウエストのゴムは薄いながらも、キックバックのしっかりとした ものを使用しているので快適なはき心地はそのままです。短 いトップスと合わせてスタイリッシュに。圧倒的な色展開は 日々のスタイリングの幅を大きく広げてくれるはずです。







はじめてはいた日が 忘れられない。 私の元気パンツ。

松浦子尔太良



WOMEN レギンスパンツ (丈標準71 ~ 73cm) **¥1,990** +消費税

2018.8.21



はじめてのハーレム

百二十五丁目駅のホームで待ち合わせをした。

出かけるということが僕には嬉しかった。ちょっとした 小旅行ははじめてだった。

ヤンキースのベースボールキャップのつばを後ろに被って サイズのビンテージデニムをはき、足元はワークブーツで、 この日のアシャは、真っ白の長袖Tシャツを着て、オーバー

そこにいるのはアフリカ系アメリカ人やスパニッシュ系の 百二十五丁目駅には当然ながら、白人の姿は少なく、 人たちばかりだった。

アシャは、自分の目の前を若者たちが通り過ぎるたびに、 彼らの服の着こなしや、斬新な色使いに目を見張って、 「かわいい! かっこいい!」を連呼していた。

待ち合わせ時間に十分遅れでやってきた。 いつものタンクトップにシャツを羽織ったロウェナは、

「絶対に十分遅れるという、相変わらずのロウェナタイムね」

着ている長袖のTシャツの裾をめくり上げた。 ロウェナは「あら失礼しました」と言って、負けじとアシャの アシャはチクリと皮肉を言ってロウェナをからかった。



お返しをした。笑い転げて、「今日はピンクのブラジャーか」とからかって「ちょっとやめてよ!」とムキになって怒った。ロウェナはその一瞬、おへそから胸までがむき出しになったアシャは

ここから北へ行くほど人通りが減って危なくなるの」「この辺のように人がたくさんいる場所は安全よ。でも、

活気には満ちていた。ゴミが散乱し、決してきれいな街ではないが、独特のロウェナは少しだけ緊張した面持ちで言った。路上には

そう言ってアシャは意気揚々に僕らの先頭を歩いた。「さあ、出発しましょう!」

幼い姉妹のようにじゃれあって歩いた。ロウェナはアシャの腕に自分の腕をからませ、まるで「ちょっと右も左もわからないのに、勝手に歩かないでよ」と

昔ここはオランダ人の別荘があったエリアなのよ」「知ってる?」ハーレムってオランダ語で『楽園』って意味。

割れたままになった建物が多い。一歩路地に入ると、シャッターの閉まった店や、窓ガラスがしてくれた。 目 抜き 通りには 商店 が連 なっているが、ロウェナは街のあちらこちらを指差しながらハーレム案内を

イエローキャブが走っていないことに驚いた。その代わりにハーレムには、 ニューヨーク 特有 のタクシーである、

値段交渉をするらしい。 走っていた。その多くは乗る前に行先を告げて、ジプシータクシーと呼ばれるグリーン色のタクシーが

前を通った時、アシャがぴたりと足を止めた。一八六〇年代に建てられた、有名な劇場アポロシアターの



アシャのアイドル

)知ってる…」と言って立ちすくんだ。シャは口に手を当てて、「待って、あの人、

一人の男性だった。アシャの視線の先は、雑踏の片隅に立っている三人の女性と

憧れの人。どうしてここにいるの? え、うそ!」「あの人、マリポールじゃない?」いや、きっとそう。私の

言葉を繰り返した。アシャは一人で興奮して、「どうしよう、どうしよう」と

「マリポールって誰?」と僕は聞いた。

黒いスリムデニムはいた人。ほら、真ん中に立っている」の一ルな女性よ。アシャの憧れよね。袖を切ったTシャツにほら、みんなが夢中になったラバーのブレスレット。あれもほら、みんなが夢中になったラバーのブレスレット。あれもいる 人 よ。 マ ドンナ の スタイリスト でも 有名 だし、いる 人 よ。 マ ドンナの スタイリストでも 有名 だし、「スタイリストでカメラマン、ファッションデザイナーもやって「スタイリストでカメラマン、ファッションデザイナーもやって

ロウェナがアシャの代わりにこう言った。

アンダーグラウンドにとって彼女は、ものすごい影響力をアシャやロウェナにとって彼女は、いや、今のニューヨーク・僕はマリポールという女性のことを知らなかった。しかし

だよ」と僕が言うと、アシャは「無理無理……」と言って 「アシャ、せっかくだから話しかけておいでよ。何かのチャンス

マリポールらしき女性は、細くて長い煙草を吸って、 仲間たちとおしゃべりをしていた。

僕は思い出した。 いざって時は、絶対に照れたらいけない。恥ずかしがっても いけない。あとで必ず後悔するから。といういつかの学びを

マリポールという名前を知らないという強みもあって、 僕はアシャにいいところを見せたいという思いと、また 一人で彼女に話しかけにいった。

「こんにちは。あなたはマリポールさんですか?」

どこかで会ったかしら?」と微笑みながら言った。 こんにちは。そうよ。私はマリポールだけど、あなたと すると、彼女は煙草の煙をふーっと吐いてから「あら、

なんだろうと思った。 ただものでないその瞳に、僕は一瞬ひるんだ。なんてきれい

『コーヒーショップ』で働いているんです」 もしよかったら挨拶だけでもしてくれませんか? 「いえ、お会いしてません。僕の彼女があなたのファンで、 彼女

「あそこにいるかわいい彼女? いいわよ」

「こっちにおいでよ」と言った。 マリオポールはアシャに向かって「ハーイ」と言って、

アシャは言った。 「マリポールさん、はじめまして。私はアシャです」と

ぎゅっと抱きしめた。 「あなたかわいいわね。よろしく」と、マリポールはアシャを







進化したベーシック

大定番の長袖Tシャツが素材、フィット、ネックのデザインを変更して生まれ変わりました。

通常よりも毛羽立ちを抑えたコンパクトコットン糸を使用し、 上品な光沢と滑らかな肌ざわりの生地が完成。 太めの番手 の糸を用いたことによるしっかりとした生地感は、インナーが 透けにくく、 I 枚でも綺麗に着ていただけます。また、横方向 への伸縮率が抜群のフライス編みで仕上げているので、ほど よいフィット感とストレッチ性もアップしました。

ながく付き合えるように

どんな世代にも満足いただけるベーシックを目指して。**重ね着のインナーとしてだけでなく一枚でも着ていただけるよう**に。さまざまな試行錯誤を重ねて完成した長袖Tシャツ。

ネックは深すぎず詰まりすぎず、デコルテラインを美しく見えるデザインを探しました。着丈にもこだわり、どんなボトムスにも合わせやすく、幅広いコーディネートにお使いいただけるはずです。夏の冷房対策に、秋口はジャケットのインナーなどに、旅先ではバッグの中に。ロングシーズン着回せる心強い定番です。





ずっと着たい、 上品きれいな、 デイリーウェア。

松浦 张太良



WOMEN コンパクトコットンクルーネックT (長袖) **¥1,000** +消費税

2018.8.28



MEN ソフトタッチ クルーネックT (長袖)

私、今日帰る。



ハーレムの路上で

言った。リポールは、ぎゅっとハグしてから、アシャに

またいつか会いましょ」

「うん、あなたほんとうにかわいいわ。スタイルもいいし。

「『コーヒーショップ』で働きながら、何をしているの?」

アシャに話しかけたマリポールと一緒にいた一人の女性が、やさしい言葉で

人だった。した黄色いシャツに、カーキ色の軍パンをはいたおしゃれなりた黄色いシャツに、カーキ色の軍パンをはいたおしゃれな女性は金髪をクルーカットのように短く刈って、たっぷり

リラックスできる服を私は作りたいんです……」これから作るんです。おしゃれというよりも、誰もがばい。服を作っています……。というか、まだ出来ていませんが、

僕はこんなに緊張しているアシャをはじめて見た。

ようにかわいい人が作った服を私も着たいわ。がんばってね」「そうなのね。私も服作りをしているのよ。いつかあなたの

キッスをした。と言った。マリポールも微笑みながらアシャに投げ女性はそう言って、アシャの頬にキスをして「じゃあね」



ひとつアドバイスをしてください……」「あの……服を作るにあたって、どんなことでもいいので、

女性に聞いた。すると、女性はクスクスと笑って答えた。アシャは急に積極的になって、服作りをしているという

あなたの愛情を表現すること。ね、わかる?」ステッチひとつ、肌ざわり、色カタチなどすべて、その隅々まで何が必要だと思う?(それは見た目ではなく愛よ。「着た人が元気になる服を作ってね。人を元気にするには

どこまで服に注げるのか。大切なのはそれだけだと思うわ」なっている。愛情が注がれてね。だから、あなたの愛を肌ざわりがなめらかになって、本当の意味での私の服にいるけれど、これもひとつの愛情なの。何年も着ていて、私が着ているこのシャツは、私が作ったのよ。穴も開いて「私が着ているこのシャツは、私が作ったのよ。穴も開いて

その場で自分が着ていたシャツを脱いだ。「ねえ、今、着ているそのTシャツを脱いで」と女性は言って、

「早く脱いで。交換しましょ」

脱いで、僕らを驚かせた。女性は、ハーレムの路上でいきなり着ている服をぱっと

そのシャツを羽織った。その場で脱いで、女性が手に持っていたシャツと交換し、アシャは一瞬戸惑ったが、思い切って着ているTシャツを

「いつかまた服を交換しましょ」と女性は言った。

と女性は言った。 肌ざわりのいい服

立ち尽くした。 女性からもらったシャツを着たアシャは呆然と リポールと一緒にいた、服作りをしているという

有名なデザイナーよ……」「あの女性どこかで見たことあるわ。思い出せないけれど

ロウェナはアシャの肩に手を回して言った。

着こなしに見えた。それだけそのシャツは輝いていた。マッチして、そのコーディネートは誰の目にもすてきな着たアシャは、はいていたビンテージデニムにも絶妙にハーレムのアポロシアターの前で、大きめの黄色いシャツを

クールだね」と声をかけていった。 道行く 若者 たちが、アシャの前を 通る たびに 「君

「さあ、行こうよ」とロウェナはアシャに言った。

私の服って思えるのはどうして?(ねえ、どうして?」心地よいの。フィットしていないのにフィットしてるの。開いているし、私のサイズに合ってないのに、どうしてか「ねえ、このシャツ。よれよれだし、ところどころに穴も

アシャは独り言のように言った。

「肌ざわりがいい……。コットンなのに、こんなに肌ざわりが





MEN ソフトタッチ クルーネックT (長袖)

肌ざわりがいいって服がこんなに嬉しいこととは 知らなかった私……」 いいシャツってはじめて着たわ。デザインや色ではなく、

僕にはわかった。 言った。アシャが何か新しい気づきを得ていることが アシャは着ているシャツの襟や袖、裾を指で触りながら

「ごめんなさい。私、今日帰る。家に帰って肌ざわりの いい服のことをしっかり考えたい……」

アシャは僕とロウェナに申し訳なさそうに謝った。

いいよ、帰りましょう」 「うん、わかった。今日はアシャのアイドルに会えたことで 十分よね。これからどこかに行ったって、きっと上の空だもん。

ロウェナはそう言って、アシャの手を取って駅のほうへと

今持っている服の中で、いちばん肌ざわりのいい服って 「ねえ、肌ざわりのいい服ってどんな服? あなたが

アシャは僕にこう聞いた。

「うーん、そうだな。ちょっとそのシャツさわらせて……」

僕はアシャの着ているシャツの裾を指でつまんで触った。

これと似た肌ざわりのいい服を、自分は知っていると 気がついた。

そのシャツはほんとうに肌ざわりがよかった。そして、







進化した大定番

ワードローブに欠かせないベーシックなクルーネックTが大幅 にアップデート。最大の変更点は、生地の裏表を逆にしたこ と。

起毛面が内側になることで、肌に直接触れる面が素材のやわらかさや暖かさ、気持ちよさを体感できるようになりました。 起毛させていない表地は、今までよりも鮮やかな色味の表現が可能に。深みある色やビビッドな色など、コーディネートの差し色アイテムとしても幅広くお楽しみいただけるのも自慢です。

着やすく、使いやすく

今季は3年ぶりに袖口のリブを復活。腕まくりをしたときに 袖口がぴったりフィットして留まる仕様に変更しました。また、 肩幅と身幅のサイズにゆとりを持たせ、窮屈感を軽減。 | 枚 でも着られるようにシルエットバランスを見直しました。

クルーネックはネックラインのステッチを無くし、すっきりとしたデザインに。ハイネックは、襟の色を重ね着して見せる着こなしができるように高さの絶妙なバランスを探しました。ストレッチが効きながら洗いざらしがうれしいコットン 100パーセントの質感。毎日着ていただきたい LifeWear です。







肌ざわりだけでなく、 動きやすさと着心地が、 驚きの感動。

松浦子尔太忠



MEN ソフトタッチクルーネックT (長袖) **¥1,000** +消費税

2018.9.4



アシャのデザイン

二日 そのために服を作りたいと言った。 もがやさしい気持ちになれるように。アシャは

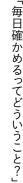
叶えようと頑張っていた。 生活費を切り詰めて、少しずつ貯金をし、その夢を

アシャは毎日服のデザインを描くことを欠かさなかった。 それでも毎日ペンを握るアシャだった。 ときには疲れ切ってしまい、一枚しか描けない日もあった。

できるものはないけれど、私にできることは毎日描くと わかるかもしれない。自分が作りたいものは何かが見えて 来ると信じてる。服とは何か。デザインとは何かが いうことだけ。そうしていれば、いつか何かわかるときが 向かわないとだめな気がする」 くるかもしれない。そのためには、何があろうと、毎日机に こそ毎日描かないと怖いの。毎日描いて、ひとつも満足 「私は自分のデザインに自信がないの。 自信がないから

ある時、アシャはこう言った。

毎日考え続けること。服とは何かを確かめるかのように」 服のことをとことん考えるということ。一日でも休まず、 考えざるを得ないわ。だから、私にとってのデザインとは、 線を一本引くだけでも、そのために、服とは何かと 「描いていて感じるのは、描くというのは考えるということ。



確かめるって」

なんか変ね。確かなものをでいると、あれるのではれども、それは本当にそうなのかどうかを考え続けて、その気づきが確かなものかどうかをそうかもしれない。そんなふうに気づいたことをあれこれとのかもしれない。それは本当にそうなのかしらって、あるの。けれども、それは本当にそうなのかしらって、あるの。けれども、それは本当にそうなのかしらって、あるの。けれども、それは本当にそうなのかしらって、あるのでは、

アシャは笑った。

しっかりと確かめたいのね」思うこともある。それはそれでいいの。だからそうね、思うこともある。それはそれでいいの。だからそうね、「でも、次の日になったら、その確かな気づきを違うと

背伸びをして、窓の外を眺めた。ものが振り出しに戻ってしまう気がする」と言ってアシャは「日でも休むと、これまで積み重ねてきた学びのような

いうよりもアシャの頭や心の中の表れそのものだからだ。デザイン画は、毎日の日記のようなもので、デザインと見せようとはしなかった。なぜかと言うと、彼女のアシャは 自分のデザインを、 積極的になって人に

描いたデザインを見ることができた。ある時、ノートが開かれたままになっていて、アシャが

ブルオーバー (長袖)



デザインとは

/ ートを見た僕はびっくりした。

描かれていなかったからだ。言っていたはずなのに、そこには服らしきものがひとつも「今日もデザインを描かなきゃ……」と、いつもアシャは

姿ばかりだった。それもたくさんの。 大人であったり、老人であったりというように、人々のノートに描かれていたのは、男女問わず、子供から若者、

事細かに描かれていた。しゃがんでいたり、食事をしていたり、ジャンプしていたり、寝転んでいたり、食事をしていたり、ジャンプしていたり、描かれている人々は、歩いていたり、椅子に座っていたり、

ものがメモのように書かれていた。「寒い」など、その人それぞれ状況による感情のような「うれしい」とか「あったかい」。「つらい」とか「大変」とか「暑い」人の姿や動作ばかりで、その横には小さな文字で、他のページも見てみた。すると、そのほとんどが同じように、

思った。あり、その時の感情だと僕はわかった。正直すごいなとあり、その時の感情だと僕はわかった。正直すごいなと描くのではなく、ありのままの人の姿、様々な動作でアシャにとっての服のデザイン画とは、服そのものを



WOMEN スウェット クルーネック ブルオーバー (長袖)

「ちょっと何してんの! 私のノートを見ないでよ」

部屋に戻ってきたアシャはノートを見ていた僕に言った。

ごめん」いや、開いたままになっていたから、つい見ちゃったんだ。

と言った。だから人には見られたくないの……。はずかしい……」だから人には見られたくないの……。はずかしい……」アシャは黙ってノートを閉じて、「これは私の今のすべて

悪いわけではないわ」「でも、まあ、ノートを開いていた私が悪いから、あなたが

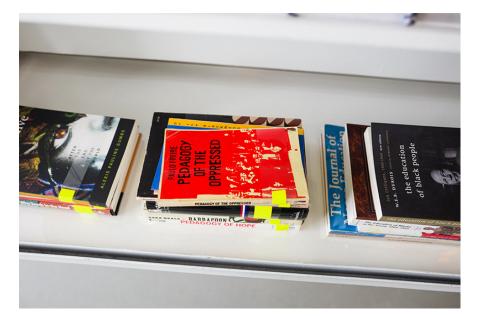
彼女なりのデザインという視点で見ていたのだろう。ことがあった。きっとその時、アシャは人の動作や姿を、何をこんなに夢中になって見つめているのだろうと思う焼には、取るに足りない何かをしている人の姿があって、 ときおり何かをじっとアシャと一緒に街を歩いていると、ときおり何かをじっと

描かれている何かをぼんやりと見つめた。ネックの部分を顎まで引き上げ、ノートを開いて、そこに椅子に座ったアシャは、その日着ていたスウェットシャツの

すごく親切だなーと思うの。何が?って、このこのスウェットシャツを着ているといつも思うんだけど、思ったんだけど、あのね、親切ってことじゃないかしら……。「ねえ、デザインって何だろう?」何だと思う? 私ふと

なんてことないデザインのいちいちが……」

大切よね……」と言った。 裏側の起毛を触りながら、「親切って嬉しいよ。親切ってアシャは、自分の着ているスウェットシャツの袖のリブや







完璧なベーシックを求めて

クリストフ・ルメール率いるデザインチームがパリのアトリエからお届けする「Uniqlo U」。クルーネックスウェットは、秋冬コレクションの中でも象徴的なアイテムです。

一番のポイントは「フレンチテリー」という生地。スウェットに使われるパイル地の中でも薄手でストレッチ性が高く、吸湿性の高さと肌ざわりの良さが特徴です。本来のフレンチテリーの良さはそのままに、ほどよい厚みと重量を加えたオリジナル生地を採用しています。毎日着ることを徹底的に考えた、絶妙なスウェットの質感をお試しください。

オリジナルを現代的に

スポーツ選手が競技の前後に着用したことに由来するスウェットは、丈夫で機能性に優れたものでした。Uniqlo Uはオリジナルのディテールを研究し、程よいフィットのリブの編み込みや縫い目の表情に活かしました。

肩のつくりはドロップショルダーを採用し、着丈を短く、シルエットに丸みを持たせることでカジュアルながらもリッチな雰囲気に仕上げ。オーセンティックと現代的な視点を融合させています。また、ビビッドとニュートラルを織り交ぜたカラーパレットにも注目。選ぶ色によって着こなしの幅はぐんと広がるはずです。







親切に満ちた服だから、 かわいくて、元気に見える。 楽しい気持ちになる。

松浦子尔太忠



WOMEN スウェットクルーネックプルオーバー (長袖) **¥2,990** +消費税

2018.9.11



大好きなパジャマ

とアシャは付き合いはじめて三カ月経って

「日本の着物を着ている夢を見たわ……」

猫のように丸まっていたアシャが言った。ある朝、ベッドの中で、真っ白なシーツにくるまれて、

「着物を着たことあるの?」

着物を着ているのよ。そんなおもしろい夢だった」きちんと帯をしていたわ。洋服を着ている人の中で、私だけ「一度もないけど、夢の中で普通に着ている自分がいたの。

つくっていた。きらららした朝陽が、風でふわふわと動くカーテンに模様を

着物?」「ねえ、昔の日本人って寝る時に何を着ていたの?

遊びながら、アシャは言った。ベッドから手を伸ばし、カーテンのはじっこを指でつまんで

に着る部屋着だけど、今では夏の外出着として着られる あとに着る部屋着だけど、今では夏の外出着として着られる あとに着る部屋着だけど、今では夏の外出着として着られる あとに着る部屋着だけど、今では夏の外出着として着られる



気持ち良さそう!」日本のパジャマは浴衣なのね。下には何も着ないんだ。「浴衣って知ってる!」写真で見たことあるわ。そっか、

アシャはなんだか嬉しそうだった。

「まあ、でも、今、浴衣を着て寝ている人って少ないと思うよ」

パジャマで出かけたいもの!」
日本人が浴衣で外出するのもわかる気がする。 私も肌ざわりと着心地がとびきり良くて、一番らくちんな服だもの。これからぐっすり眠るよっていう、そのためのパジャマって、これからぐっすり眠るよっていう、そのためのパジャマって大好き。パジャマを着るって、眠るための「私、パジャマって大好き。パジャマを着るって、眠るための「私、パジャマで出かけたいもの!」

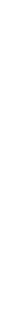
「さすがにパジャマで歩いている人はいないよね。 アハハ」

笑い転げた。僕が笑いながらそう言うと、「確かに!」と言ってアシャも

旅する服とか」おしゃれなセットアップとして。そう、たとえば夢の世界をいても、外も歩けるパジャマってあったらほしいかも。

開いて、ニコニコしながらアイデアらしきメモを書いた。そう言うと、アシャはベッドの横に置いてあったノートを

「眠るための服って、なんてすてきなんだろうと思うわ」



もう一度丸くなった。アシャはそう言って、大きな枕を抱き寄せてベッドの中で



おそろいのパジャマ

どっち?」 私はやっぱりパジャマがいいな。あなたの好みは 性のナイトドレスっていうのもかわいいけれど、

アシャはいたずらな目をして僕に言った。

ナイトドレスって言葉の通り、夜のドレスだから……」どちらかというと、やっぱりパジャマのほうがいいかな。「ベッドの中だけならナイトドレスも悪くないけれど、

「アハハ、あなた正直ね!」

アシャはベッドの中で手足をバタバタさせて大笑いした。

いいでしょ?」おそろいのパジャマで眠るっていうのが夢なの。ね、おそろいのパジャマで眠るっていうのが夢なの。ね、好きな人と

ね?」「二人で眠るときだけ、おそろいのパジャマを着ましょうよ。

返事に困った。 嬉しいけれど、僕はなんだか照れくさい気持ちもあって

嫌?」

「別にいいけど……」



「なんだか返事が曖昧ね。どっち?」

返事じゃないわ」「イエスかノーかはっきり言って。別にいいけどっていうのは

アシャは少し怒ったように言った。

「嫌じゃないからイエスだよ。 ちょっと恥ずかしかっただけ

いるのに、まったくもう!」あなたも私が好き。二人だけのプライベートな話をして「二人の間で照れてどうするの? 私はあなたが好き。

向けた。へそを曲げたアシャは、ベッドの中で僕にくるっと背中を

好き? 僕はチェック柄が好き」 「チェック柄とストライプ柄、無地、アシャはどういうのが

「襟はあったほうがいい! これからの季節にはフランネルがチェック柄!」と言った。

アシャは、そんなふうに、あれもこれもと自分の好きな

そのほうが楽だし、ダボッとしてるほうがかわいいし、

サイズはちょっと大きめがいい!

だって、

あとパイピングもあったほうがいいし……」

と言った。

眠るって、夢にように嬉しいことだと僕は思った。しれない。そして、好きな人とおそろいのパジャマを着てささやかなしあわせを大切にするための服なのかもアシャが言うように、パジャマって、安らかに眠るという、

お話したい」とアシャは言った。「そろそろ起きよう」と僕が言うと、「もう少しベッドで

僕はアシャを引き寄せて、額にキスをした。







極上のリラックスタイムを

冬のリラックスタイムにぴったりなパジャマです。素材は柔らかなフランネル。コットン100パーセントで、ふんわりと起毛させた心地よい肌ざわりが自慢です。

眠っているときの動きを妨げないゆとりと、立体的なパターンでスッキリ見えるシルエットもポイント。また、襟のデザインは開襟とシャツ型どちらの襟の形にするのかをギリギリまで悩んで、首元の保温に適しているシャツ型を選んだエピソードは、ここだけのおはなし。

パジャマの新しい提案

今期はラウンジウェアとしてだけでなく、いつものコーディネートにお使いいただけるよう、細部のデザインまでこだわりました。

たとえばボタンホールの形状。第一ボタンはヨコ、第二ボタン以下をタテにすることでボタンがしっかり留まってズレにくく、あたたかく着用いただけます。ボトムスのウエストにはヒモを通してイージーパンツ仕様に。シャツ襟のパジャマトップスにはデニムやチノ、パジャマボトムスにはニットやスウェットなどを合わせてデイリーにも楽しんでいただけます。





眠るための、 おしゃれって、 すごくうれしい。

松浦 张太良



WOMEN フランネルパジャマ (チェック・長袖) **¥2,990** +消費税

2018.9.18



二人のニット

何かを手がかりにした。そのひとつひとつを手に取り、じっくりと見つめて、その股を引っ張り出して、まるで本を読むかのように、アイデアに行き詰まると、クローゼットの中にある自分のアイデアに行き詰まると、クローゼットの中にある自分の

着る服よ。あなたにはそういう服ってある?」「私、秋になったら着たい服があるの。毎年、秋のはじめに

カシミヤのニットを着るのは楽しみにしているなあ」「うーん。秋のはじめに着る服かあ。涼しくなってきたら、

「私はこのニットドレスを着るのを楽しみにしてるの!」

取り出して僕に見せた。アシャは、クローゼットからお気に入りだというニットドレスを

見たい? 今年はじめてよ」
来た時、クリスマスにプレゼントしてくれたのよ。着たところ来た時、クリスマスにプレゼントしてくれたのよ。着たところ

脱いで、ニットドレスに袖を通した。アシャはそう言って、僕の返事を待たずに、着ていたシャツを

深い安らぎを感じているのがわかった。彼女のうれしそうな表情から、あたたかさだけでなく、やわらかなニットは、アシャの細い身体をふわっと包み込み、



思い出すからかな?」 プレゼントされたニットって、 着るたびにその人のことを 「このニットを着ると不思議と気持ちが安心するの。

アシャは袖にほっぺたをつけて、ニットの肌ざわりを味わい ながら言った。

真っ白な雪景色の中を真っ赤なニットを着て歩いている女性が ニューヨークに来た時、冬だったんだけど雪が積もってたの。 ニットは赤が好きになったの」 いて、その光景がほんとにきれいだった。それ以来、私 「ねえ、ニットって何色が好き? 私は赤が好き。 はじめて

記憶がある」 ニットが白だった。そのニットが僕は大好きで、冬中着ていた 「僕は白が好きだな。子どもの頃、お母さんが編んでくれた

ニットを着るたびに、僕は母のぬくもりのようなものを 感じていた。だから、 アシャが言うように、子どもの頃、母が編んでくれた白い あの白いニットが好きだった。

きっときれいね!」 「あなたが白いニットで、私が赤いニットで、二人で歩いたら、

「早く秋が来ないかな……」とアシャはつぶやいた。

大切な家族

ことを思い出していた。 シャとの会話をきっかけに、僕は自分の家族の

できるだけ考えないようにしていた自分がいた。両親とは 実を言うと、家族のことを思うと、さみしくなるから、 しばらく連絡もとっていなかった。



やりとりしたり、そんなふうに、そばには居ないけれども、 自分の家族を思い出し、電話で話したり、 僕と違ってアシャは、事あるごとに、遠く離れて暮らす 僕はそんなアシャがすてきに思えたし、うらやましかった。 いつも家族と一緒にいる生活が、彼女のすべてを支えていた。 手紙を

とき、「何から自立したいの?」と聞かれてドキッとした。 「僕はしっかりと自立したいんだ」とアシャに言った

あなたがどういう人だかわからないわ。私があなたと いい。どうしてあなたは自分の家族のことをたくさん 思う。逆に、あなたはもっと自分の家族を愛したほうが ずっと愛し合うのが家族よ。自立なんて違うと ひとつよ。ずっと助け合うし、ずっと支え合うし 家族から自立する必要があるの? 家族はみんなで 好きになるということよ」 いう人を好きになるということは、私はあなたの家族も 誰かに知ってもらいたければ、家族のことをもっと話さないと、 話したがらないの? 家族はあなたの一部でしょ。 「たとえば、家族から……」と答えると、「どうして 大好きでしょ? 愛しているでしょ? 自分のことを

アシャの言うことはもっともだった。家族から自立する そんなおかしな考えをしていた自分がいたのも本当だった。 なんだかおかしな考え方だと思った。でも、

あくまでも、この社会と自分のひとつの関係性であって、 「自立は大切なことだと思う。けれども、自立というのは、



おなたに知ってもらいたくて、いろいろと話しているつもり。家族という大切な存在が、家族それぞれの帰る場所であり、家族という大切な存在が、家族それぞれの帰る場所であり、家族を愛しているのではなく、あなたというあなたの家族も愛しているのよ。だから、私はあなたからも、私という家族を愛しているのよ。だから、私はあなたからも、私という家族を愛してもらいたいから、いろいろと話しているつもり。家族に対するものではないわ。人が人として生きていくためには家族に対するものではないわ。人が人として生きていくためには家族に対するものではないわ。

僕の両手を持って、しっかりと目を見て話した。こういう時、いつもアシャは、僕とまっすぐに向き合って、

仕事もできるし、夢を追うこともできるのよ……」 対ってるのよ。だからこそこうやって一人で暮らしていけるし、 住きていくのよ。 私はニューヨークに来て、 ずっと一人 生きていくのよ。 私はニューヨークに来て、 ずっと一人 かち がん のんから でいから、 あなたはあなたの家族にもっと頼ってもいい。 「だから、 あなたはあなたの家族にもっと頼ってもいい。

アシャは窓の外をぼんやりと見た。そしてこう言った。

「あなたは私と家族になりたいと思ったことある?」と。





すべての女性を美しく

女性らしさと着る人の美しさを引き立てることにこだわり抜いた3Dニットワンピースです。その秘密は「ホールガーメント*」という特殊な技術で編み上げた無縫製ニットであること。

I 枚丸ごと編み上げることで360°どこにも継ぎ目がなく*2、フィット感あるリブ編みが美シルエットを演出。中でも注目は胸元のライン。「求心」という製法を用い、自然な体のラインに沿って胸の位置にポイントがくるように設計しました。さらに上質ウール100パーセントの素材が、繊細さと美しさをさらに引き立てます。

*| ホールガーメントは、株式会社島精機製作所の登録商標です。

*2 衿部分のネームや洗濯ラベルには縫い目があります。

あらゆるシーンに寄り添って

より多くのお客様に楽しんでいただけるように、カラーバリエーションやデザインにもこだわりました。フィット&フレアなどアイテムごとにコンセプトを決めて複数のシルエットをご用意。 3Dモックネックワンピースはアクセサリーが映えるドレス。ジュエリーと合わせやすい便利な | 枚です。

3Dリブワンピースは I 枚での存在感もありながら、ジージャンやスニーカーでカジュアルに、ストールを羽織ってエレガントにもシフトできます。フォーマルにもカジュアルにも、いつでもどこでも着られる LifeWear です。







この服を着たくて、 夏が過ぎるのを ずっと待っていた。

松浦子尔太良



WOMEN 3Dメリノリブワンピース (長袖・レギュラー丈・I05.5~ II5.5cm) **¥5,990** +消費税

2018.9.25

2 061 MEN コーデュロイ シャツ (長袖)



家族というしあわせ

裏からアイロンをかけないとね。

コーデュロイだから、

「あなたは私と家族になりたいと思ったことある?」

思い出した。突然アシャからこう聞かれたとき、僕はふとこんな光景を

だから、その問いにどう答えたらよいかわからなかった。相手という二人の関係のことしか考えたことがなかった。人とどんなふうに過ごしていきたいのかという、自分と好きな人と家族になりたいか?」その時まで僕は、好きな

びっくりしてしまった。なりたい、という、あまりにストレートな発想にしあわせがあるのはわかる。しかし、好きな人と家族に好きな人との結婚の先には、当然、家族を築くという

なりたいかどうかを考えるわ。だって、たとえば、私と「私はいつも好きになった人に対して、この人と家族に



家族像が目に浮かばないというか……」思わない人もいるわ。それはそれで仕方がない。どうしても思うから。けれども、とても好きだけど家族になりたいとあなたが愛し合うのは、家族という未来を作るためだと

アシャは言葉を続けた。

しあわせのかたちなのよ」
この人と家族になりたいって思う理由ってなんだろうと「この人と家族になりたいっての。それが私にとっての自分の新しい家族を作りたいといつも夢見ているの。自分の新しい家族を作りたいといつも夢見ているの。しあわせのかたちなのよ」

こう言った。アシャは立ち上がって、座っている僕を後ろから抱きしめて、

あなたが答えたくなったときに教えてくれたらいいわ」「答えなくて大丈夫。でも私の夢を知っておいてね。

見ながら、いつかの母の後ろ姿を重ねた。コーヒーを淹れる準備をした。僕はアシャの後ろ姿をアシャはそう言って、キッチンに立ち、お湯を沸かして

「あなたにプレゼントがあるの」

そう言って微笑んだ。コーヒーを注いだマグカップをテーブルに置いたアシャは、



ポカポカのシャツを着て

ノシャは、畳まれたシャツを紙袋から取り出した。

から、あなたにどうかと思って…」
ひと目見て、もし私が男だったら絶対に着たいと思った支えてくれていることの感謝をさせてね。このシャツを記念日よ。お祝いなんて変だけど、普段からいろいろと「今日は、私とあなたが最初にデートをしてから三ヶ月の

だった。 レギュラーカラーで、これからの季節にぴったりの肌ざわりコー デュロイの上 品なシャツだった。 色は ブラック。

「アイロンかけるからちょっと待ってて」

アシャは新品のシャツにアイロンをかけようとした。

よくわかるわ」
「私のお母さんは、父に着せたいんだって。私その気持ちはどうしてだろうと思っていたけど、わが家ではそれが当たり前どうしてだろうと思っていたけど、わが家ではそれが当たり前日分でアイロンをかけてから父に着せてたのよ。新品なのに「私のお母さんは、父にシャツを買ってくると、まずは

のせて、アシャはシャツにアイロンをかけはじめた。広げたシャツに霧吹きで水をたっぷりとかけ、アイロン台に



「コーデュロイだから、裏からアイロンをかけないとね」

伸ばしていった。シャツの裏地にアイロンをやさしくかけて、アシャは生地をコーデュロイの風合いをなくさないように、あて布を当てて、

ぴしっとなるのよね。私はアイロンがけが大好きよ」「いいシャツってアイロンがかけやすくて、軽くかけるだけで

毛並みをそろえた。
最後にシャツの表面をブラッシングして、やわらかいコーデュロイの
最後にシャツの隅々まで、楽しそうにアイロンをかけて、

着てくれるって嬉しいわ。はい、プレゼント」お母さんね。 アイロンがけし たシャツを 好きな 人が「ね、ほら、新品よりも、すてきになったでしょ。さすが私の

アシャはシャツを僕に手渡した。

パチパチと拍手をした。ボタンをはめてアシャの前にまっすぐに立つと、アシャはアイロンをかけたシャツよりも数倍肌ざわりが心地よかった。アイロンの熱でぽかぽかのシャツを、僕は羽織った。自分でアイロンの熱でぽかぽか

「ほら、やっぱりあなたに似合うわ。私の勘は大当たり!」

「ありがとう、アシャ……」

「こちらこそよ……いつもありがとう」

「これ着て散歩に行きたい!外に出かけよう!」

そう言うと、アシャは子犬のように飛び上がって喜んだ。







ベーシックにこだわる

高い保温効果が魅力のコーデュロイシャツは、秋口から冬にかけての強い味方です。今季はとことんベーシックに仕上げました。

凹凸の細かすぎないコーデュロイ素材に変更してカジュアル 感をアップ。襟はボタンダウン仕様からレギュラーカラーにし て羽織りとしても着ていただけるように。フロントは本前立て のスタンダードなデザイン。身頃はすっきりと、生地のドレー プがきれいに見えるシルエット。レギュラーフィット展開なの で幅広いスタイルの方に着用いただけます。

男のシャツとして

ボタンは壊れにくい本貝調のプラスチック素材、両脇の裾部 分にはツイル織りの補強布(ガゼット)をつけた本格仕様。 さらに直接肌の当たりやすいカフス、ヨーク裏には別布を用 いて着心地を改善し、ヘビーデューティなシャツに仕上げま した。

秋口は色を楽しんでサラリと I 枚で、また今年は厚手ニットとレイヤードしてツイードジャケットを羽織り、デニムに足元はカントリーシューズなどを合わせたブリティッシュスタイルに挑戦してみるのもおすすめです。









ジャケット感覚で、 ふわっと羽織って、 街を歩き回りたい。

松浦号尔太忠

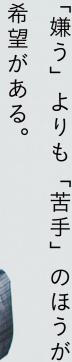


MEN コーデュロイシャツ (長袖) **¥2,990** +消費税

2018.10.2



WOMEN ウルトラ ライトダウン コンパクトベスト





「好き」を大切に

Ⅱ あるけれど、誰かを嫌いになることはない」と。Ⅱ 、ある人がこう言った。「誰かを好きになることは

その人はどんな人であっても嫌いにならないと言う。

あった心の中の「嫌う」という概念が消えていった、と。頑張っているわけでもない。なぜなら、ある時から、それまでしかもだ。嫌いにならないように意識をしているわけでもなく、

どういう時だったのですか?」(僕はこう聞いた。「『嫌う』が消えた、そのある時とは

僕は思うんだ」 僕は思うんだ」

なるほど。僕ははっとした。

無いのもわかる。「これは嫌い」と意思表示することの意味も、あるようで感じたり、得をすることってひとつもないのはわかる。確かに、何かを嫌いになって、うれしかったり、しあわせを



ことの起点になるからね」 『好き』を意思表示したほうがいい。『好き』はあらゆる 思うんだ。だったら、その分、『好き』を見つけて、 『嫌い』という意識を持つくらいばかばかしいことはないと もらいたいという自己顕示欲でしかなく、そう思うと、 「要するに、『嫌い』というのは、他人に対して自分を知って

その人はにこにこしながらこう言った。

考えられがちだけど、本質的な価値は大きく違うんだ、 もっと「好き」を大切にしたらいい。「好き」を増やせば、 とも言った。 「嫌う」は自然と消えていく。 「好き」と「嫌う」は並べて

どう考えたらいいのでしょう?」 「では、どうしても『好き』ではないことについては、

感じるものは、できるだけ取り外すように僕はしているんだ」 とどめておくといい。誰にとっても『苦手』はある。まあ、 ないと思うんだ。自分の意識や使う言葉で、希望が無いと 言葉遊びのようだけど、『嫌う』という言葉には希望が 「『好き』ではないことは、『苦手』ということくらいに

僕は、 してならなかった。 人生における先輩であるその人の考え方に出会った 心だけでなく身体もすっと軽くなったような気が

しまうよ」 「希望を感じない言葉や考え方は、必ず誰かを悲しませて

その人はそう言って、僕の肩に手を置いた。



今日の私の「好き」

はいつかのこんな出来事を思い出していた。 自分の何かが大きく変わった、あの日のことを。

なぜなら今日、アシャにこう言われたからだ。

「私が思う、 びっくりしたの」 その時あなたは『嫌いなことは無い』って答えたから私は 『あなたの嫌いなことって何?』と聞いたことを覚えてる? ばかりよ。すべてがイエスかノーなの。ある日、私が 誰もが、自分はこれが『嫌い』あれが『嫌い』と言って 何に対しても『嫌い』と言わないところ。ニューヨークでは あなたの好きなところのひとつに、

いう意味ではないよ」 「僕にとってのノーは、『違う』という意味で『嫌う』と

出会いとその話を聞かせた。アシャは興味深く聞いて、 なぜ僕が「嫌う」と言わないのか。僕はアシャに、ある人との 何度も深くうなずいていた。

言うように『嫌う』よりも『苦手』のほうが希望がある。 消えていくってすてきな考え方ね。みんながそう気づけば 「『好き』を増やして、『好き』を大切にすれば『嫌う』が そう思うと楽だわ」 いいのに。特に人に対してはそうありたいわ。あなたが

「私ね、『冬って嫌い』って思っていた時があるの。



WOMEN ウルトラ ライトダウン コンパクトベスト

『冬が好き』になったの。今では冬が早く来ないかなって。 そうしたら、冬のおしゃれがめちゃ楽しくなって、いつの間にか 考えてみた。どうしたら冬が好きになるのかなって。 だから、服の着こなしを工夫して、なんとか寒くないように 嫌い』って思っていたら、冬中、自分がつらいとわかったの。 ニューヨークの冬って本当に寒いから。でも『冬って こんなふうに嫌いが好きになることってあるのよ」

アシャは笑って話してくれた。

ぜひ聞かせて」 「じゃあ、聞くけど、あなたが『苦手』なことって何?

アシャは僕に聞いた。

引っ掻いた音とか、割れそうで割れない風船とか、狭い 虫とか、水圧の弱いシャワーとか……」 夜の足音とか、固く閉まった瓶の蓋とか、あと、小さい テーブルで大きな声で話す人とか、えばりんぼうな人とか、 「苦手はいっぱいありすぎるよ。例えば、ガラスを爪で

アシャは口をおさえて楽しそうに笑った。

と僕は言った。 「言っておくけど、『苦手』の何百倍も『好き』はあるんだ」

寒い日は、 聞かせてね。今日の私の『好き』を聞いて! こんなふうに 「うん、知ってる。いつかあなたの『好き』をたくさん 彼氏にもらったダウンベストを着て、一日中

ベッドに寝転んで本を読むこと。どう?」

そう言ったアシャは、僕がプレゼントしたダウンベストを 着てベッドに飛び込んだ。







2WAYの楽しみ

今季のウルトラライトダウンコンパクトベストは、クルーネックと内側のボタンを留めてVネックにアレンジできる2WAY仕様。お客様からの声を反映し開発した自慢のデザインです。

襟ぐりから前立てにかけての縁取りは、すっきり見えるパイピングテープに。アクセントとしてだけでなく、襟を折り返したときにもきれいに収まる工夫です。ジャケットやチェスターコートなどのVゾーンから見えないVネック。コーディネートの幅がグンと広がりました。

着やすく、使いやすく

インナーでもアウターでも着られるようにサイズを見直し。さらに後ろウエスト部分のステッチに合わせて切り替えを入れることで、膨らみが抑えられ、背中のラインに沿った自然なシルエットが生まれました。

左脇の内側のループには収納袋が取り付け可能。袋の紛失を防いでいつでもコンパクトに折りたたんでいただけます。旅行や出張はもちろん、ルームウエアとしてもおすすめしたい冬のLifeWearです。







軽くてやわらかで、 とっても動きやすい、 冬が大好きになる服。

松浦子尔太良



WOMEN ウルトラライトダウンコンパクトベスト **¥3,990** +消費税

2018.10.9



アシャの手のつなぎ方

「ねえ、見て、ほらあそこ。あの二人、手をつないで人々の姿を見るのも好きだった。

つだってアシャは、手をつないで歩くのが好き

歩いてるわ。すてきね」

こんなふうにアシャはよく言った。アパートの窓からブロードウェイの景色を見ながら、

アシャは喜んではしゃいだ。だったり、とにかく手をつないで歩いている人を見つけると、それは小さな子ども同士であったり、 親と子やカップル

手をつなぐことができなかった。最初の頃、僕はそれがとても気恥ずかしくて、自分から当然、僕とアシャも、道を一緒に歩く時は、手をつないだ。

聞いた。つないでくれないのね。どうして?」と、ある日、アシャは「ねえ、いつも私から手をつながないと、あなたは私と手を

僕は答えた。
「嫌ではないんだけど、なんだか恥ずかしいんだよ……」と

手を出してもらいたいわ」手をつないで歩きたいの。女の私としては、あなたから歩いている人を見るのがすごく好き。だから、私たちも「まあ、その気持ちはわかるけど、私は手をつないで



「わかった。確かにそうだね。ほら、手を出して」

「ありがとう。嬉しいわ……」

いつも子どものように手を振って歩いた。アシャは僕の手に自分の手をのせ、しっかりと握って、

やわらかかった。でえ思うようになった。アシャの細い手は小さくてなえ思うようになった。アシャの細い手は小さくてなった僕は、アシャと手をつながないことが不自然にそんなふうに手をつないで歩くことが、いつしか当たり前に

いてすてきね」
「ねえ、見て、前を歩いている老夫婦。手をつないで歩いて

一歩一歩、ゆっくりと歩いていた。歩いていると、アシャが小さな声で言った。 老夫婦はある日、ブライアントパーク脇のフィフスアヴェニューを

見て、すてきだなと思ってもらえたら嬉しいなー私」なりたいね。私たちが手をつないで歩く後ろ姿を、誰かが「こんなふうに手をつないだ後ろ姿がすてきなカップルに

ニットコートの袖を少し上げた。アシャは、僕とつないだ手が目立つように、着ていた

きれいなの。私は最近それに気づいたの」上げてるの。手首が見えていると、つないだ手と手が「見て、あのおばあちゃんもカーディガンの袖を少し

つなぎ方でもあった。アシャの小さな発見だった。そしてそれは、僕らの手のお互いの手首が見えていると、つないだ手と手がきれい。

手首はたしかにきれいだった。あったかそうなニットコートの袖から見える、アシャの手と



母の『星の王子さま』

姿があった。 場外では、身体が不自由になった父の手をひく母の家の中では、身体が不自由になった父の手をひく母のいで歩くことはなかったけれど、はいかのだ。

過ごした。 先日、帰国した際、ひさしぶりに老いた母と一日を

手にして、僕の横に座った。ぽかぽかとした秋の昼下がり。母は古ぼけた一冊の本を

手の中には、サン=テグジュペリの『星の王子さま』があった。「この本、何度読んだことでしょうね」。 しわくちゃな母の

くれる本の読み聞かせが、なによりの楽しみだった。幼い頃、テレビが無かったわが家では、母が毎晩して

立っているかのようだった。その声を聞いていると、すぐそこに、あたかも登場人物がくの声を聞いていると、すぐそこに、あたかも登場人物が

おもしろく、時に悲しくなって、物語を楽しんだ。僕は、母の声を聞きながら、時にはらはらし、時に

「久しぶりに読みましょうか」と母は言った。

「キツネのところがいいな」と笑っていうと、「そうそう、



母も微笑んだ。あんたはそこが大好きで、私はそこばかりを読まされたわ」と

大好きだった。はじまる、王子さまとキツネが出会う場面が、僕は「こんにちは」「ここだよ、リンゴの木の下だよ」と

老眼鏡をかけた母は、静かに物語を読み始めた。

ひとつも変わっていないと思った。母の声が、いつか読み聞かせをしてくれていた頃と、淡々と物語を読み進めていく母の声を聞きながら僕は、

染み入るようだった。その声は静かでやさしくてあたたかく、胸の深いところに

おわり」と、あの頃と同じ終わり方で、母は本を閉じた。一通り読み終えると、「はい、今日はここまで。また明日。

さすっていた。母は『星の王子さま』を、大切そうにいつまでも手で

そんな話を僕は歩きながらアシャにはなした。

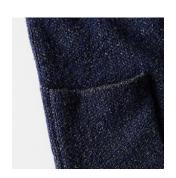
いった。 私の母もよく絵本を読んでくれたわ……」とアシャは「はなしてくれてありがとう。すてきなお母さんね。

「お母さんに会いたいな……」



入れて歩いた。アシャは僕とつないだ手を、ニットコートのポケットに





さらりと上質なニットコート

軽さとあたたかさが魅力のニットコートは、高見えする上品な雰囲気が自慢です。その理由の1つは生地の表情。ジャカード編みでツイードのような質感を表現しました。やわらかくてシワになりにくい、気軽に羽織れる扱いやすさは、本物のツイードコートにはないニットならではのよさがあります。

また、襟周り、前立ての端、ポケット口には編み糸を2本取りする"増し糸"というテクニックを使用。強度を上げながら、ニット素材のよさを引き立てるデザインに仕上げました。

万能アウターとして

ノーカラーのロングジャケットのデザインながら、アームホールや袖幅の分量、 丈感を削ったすっきりとしたシルエットは、 幅広い着こなしを可能にします。

タートルネックと合わせてクラシックに、ボタンを閉じずにラフでカジュアルに、ウルトラライトダウンをインナーに着て冬のレイヤードスタイルもお楽しみいただけます。また、ストールやスヌードで首元に変化をつけたり、スカート、パンツの組み合わせでも異なる雰囲気に。ワントーンコーディネートでニットの素材感を楽しむのもおすすめです。







新しくてなつかしい、 そんな心地よさがうれしい、 うるわしのコート。

松浦子尔太良



WOMEN ツイードニットコート (長袖) **¥3,990** +消費税

2018.10.16





丘の上の美術館

自分の彼氏の服を着るのって好き。

聞いていた僕は一度行ってみたかったのだ。以前アシャから「ニューヨークでいちばん好きな美術館」と

だった。 スキニーパンツをコーディネートしていた。二人ともシックニット コートの下に、 タートルネックのニットと、シャツの上 にカー ディガンを 羽 織った。 アシャはその日はお気に入りのフランネルのパンツをはいて、

スタイルだった。した身だしなみをしていくというのが僕とアシャの普段はカジュアルだが、美術館に行くときは、きちんと

中世美術を展示したとても美しい美術館だ。フランスから移築した中世様式の建物で、ヨーロッパのクロイスターズ美術館は、十三世紀の修道院の回廊を、

好き」植物の花が植えられていて、わたしはそこがとっても植物の花が植えられていて、わたしはそこがとっても「回廊の中に庭があるの。中世の文書に記されている

ステンドグラスのある場所へと向かった。歩き、どうしても見せたいという、いちばん好きなアシャは美術館の回廊を、僕の手を引いてゆっくりと



見せたかったのは」「こっちこっち、ほら、ねえ見て。これよ、あなたに

いった。アシャは大きなステンドグラスの前に僕を引っぱって

縦に大きなステンドグラスだった。そこにあったのは、十四世紀の宗教画がデザインされた

アシャを包み込んでいた。出会ったことはなかった。赤や青となった光が、僕と言葉が出なかった。正直、これほど美しいステンドグラスに僕はそのステンドグラスの鮮やかさに圧倒され、しばし

ガラスの色がほんとにきれい」「ね、きれいでしょ。 太 陽の光 がきら きらと 輝いて、

アシャはうっとりした目でステンドグラスを見つめた。

きたのよ……。もうひとつ見せたいものがあるわ」きたのよね。そして時代が過ぎ去っても大切に残して今も昔も、この三つを人間は求めて、この手で生み出して「これを見るとこう思うの。安らぎ、静けさ、美しさ。

聖母子像だった。 感じ、この場にずっといたいと 思わせるあたたかなほどの、とても素朴なもので、不思議なくらいに優しさを地方にあった聖母子像だった。それは高さ―メートルアシャが僕に見せたのは、十二世紀のフランス・ブルゴーニュ



着こなしのコツ

聖母子像に何かを祈っていた。

過ごした。

数々を堪能し、その静かな建物の中でゆったりと時間をクロイスターズ美術館の、すばらしく美しい収蔵品のありがとうございます、とね」。 アシャと 僕は、今日までこのように 残っていてくれたことに、「何を祈っていたの?」 とアシャに聞くと、「感謝したのよ。

「今日のパンツいいね」

「久しぶりにほめてくれたね」

見ていて、ああ、秋らしいパンツだなあと思ったわ」やわらかくて、やさしくて、あったかいその感じがね。見ていたんだけど、そのパンツがとても場所に合っていたの。特にすてき。あなたがさっき回廊を歩いているところを「いつもほめてるわ。でも、今日のフランネルパンツは

フランネルのパンツ欲しいわ」といった。しめて、「ニューヨークにもうすぐ冬が来るね……私もそういったアシャは自分のニットコートのボタンを上まで

だよね、アシャは」「そういって気がつくと、僕のパンツをはいたりするん



みようかな、これ着てみようかなって考えるの好き」私、自分の彼氏の服を着るのって好き。いつもあれ着て、そうよ、たまにあなたのパンツを借りたっていいじゃない?

アシャはやさしく微笑んで、僕の手を握り直した。

「うん、どの服を着てもいいよ」と僕は答えた。

借りて着ているっていうことに、なんだか胸が高鳴るのだ。ボーイッシュスタイルかもしれないが、それが彼氏の服をちょっと大きめの服をダボッと着ているのは、いわゆるとってもかわいらしいし、すてきに思っていた。メンズの昔から僕は、女性がメンズの服を上手に着こなした姿が

アシャと一緒に出かけるのが好きだった。ニットもコートも、デニムやパンツも、メンズの服をアシャは、僕のネルシャツもボタンダウンも着るし、アシャは、僕のネルシャツもボタンダウンも着るし、

「メンズの服を着こなすコツってあるの?」

あるとき、僕はアシャにこう聞いた。

することよ」いることに照れたらだめよ。嬉しいって気持ちで堂々といることに照れたらだめよ。嬉しいって気持ちで堂々と恥ずかしがらないってことじゃない?(彼氏の服を着て「コツ?)そんなのないわ。あるとしたら、そうね、

張った。 アシャはそういって、両手を腰にあてて、エヘンと胸を









あらゆるシーンに

ルームウェアからワンマイル、そして普段着まで。日常のあらゆるシーンで着用できるフランネルパンツです。**素材は起毛感が心地よいコットン100パーセントのフランネル生地。**双糸と単糸を組み合わせ、糸の太さや打ち込みの本数を工夫することで、適度な柔らかさと、しっかり感のある絶妙な質感に仕上げました。

フィットはトレンドを意識したゆるやかなテーパード仕様。 ふくらはぎ部分のゆとりを確保して、部屋着としても快適なリラックスシルエットが自慢です。

シーンの垣根をこえる工夫

ヒモ穴が通るウエスト部分を別パーツにすることで、穴周辺の補強とヒモの滑りやすさを両立。柄合わせをしているので違和感はありません。サイドとヒップはダブルステッチにして補強効果とカジュアルテイストを演出。

そしてカジュアルとアウトドアをイメージしたチェックや、グレーとネイビーを基調とした落ち着いた色柄のバリエーションもご用意。部屋着として快適に楽しく、普段着として着こなしの幅を広げてくれるLifeWearです。









楽なのに、 きちんとしていて、 しかも、おしゃれ。

松浦子尔太良的



MEN フランネルイージーパンツ (グレンチェック) **¥1,990** +消費税

2018.10.23



母の教え

気持ちがポジティブになることを、 僕は感じてシャと一緒にいると、 心が休まり、 何があっても

老婦人がこういった。客だけでなく、スタッフからも愛されるアシャに、常連のある日、アルバイト先の「コーヒーショップ」においても、

とってもすてきなメッセージになっているのよ」あなたはいつも笑っている。いつも楽しそうなの。それは「みんなあなたの笑顔に救われているのよ。なぜなら、

微笑んだ。
でう言われたアシャは、両手の平を頬に当てて恥ずかしそうに

「あなたの笑顔を見ていて、ときおりこう思うの。この子は「あなたの笑顔を見ていて、とがあったのだろう。これまでとんなに苦しいことがあったのだろうと。 そういうどんなに苦しいことがあったのだろう。これまでしないの笑顔を見ていて、ときおりこう思うの。この子は「あなたの笑顔を見ていて、ときおりこう思うの。この子は

老婦人はそう言ってアシャの手を握った。

ありたいといつも思っているんです」喜びたい。私の母がそういう人だったので、私もそうわからないけれど、ほんの少しのうれしいことをたっぷりと「ありがとうございます。自分で自分のことはあまり



喜びって、しあわせよりもはるかに大きいと思っているの」大切なことがあるわ。それは喜ぶこと。私はね、心からのしあわせになることを求めるけれど、それよりもっと「そのとおりよ。多くの人がしあわせになりたい、もっと

アシャは老婦人の横に座って語り始めた。

私たち子どもに向けたメッセージでした」そう、あなたがおっしゃるように、母にとっての笑顔は、だから、つらい時ほど、母は笑顔を絶やさない人でした。ない、悲しんでも仕方がない、というのが母の教えでした。つらいことを避けることができないなら、悩んでも仕方がつらいことを避けることができないなら、悩んでも仕方が

いたのよ……」ような娘がいてうらやましいわ。私にも昔、娘が一人ような娘がいてうらやましいわ。私にも昔、娘が一人「すてきなお母様ね。大切にしてあげてください。あなたの

老婦人はそういって目を閉じた。

私に会いにきてください……」自分の母だと思いますから。いつでもここに来て、自分の母だと思いますから。いつでもここに来て、「よかったら私を娘と思ってください。私もあなたのことを

老婦人の両手を持ってアシャはいった。

少し一緒に歩きませんか。おうちまで送っていきます」「私、今日のアルバイトはもう終わりなんです。よかったら

あなたが私の娘になってくれるなんて夢のよう」「あらまあ、ほんとうにいいの?嬉しいわ。気持ちだけでも、

あてた。 エプロンを脱いだアシャは、老婦人の腰にやさしく手を



私のお母さん

| | いった。 | 婦人は最後のひとくちのコーヒーを飲み干して

大事だと。そんなことを言っていた方がいたわ」、人生にはいろいろとたくさんの事が起きる。大変なこと、そうやって起きるいろいろいろなたくさんのことから、そういうすべてのことを、いかに喜びとして受け入れるかがそういうすべてのことを、いかに喜びとして受け入れるかがそういうすべてのことを、いかに喜びとして受け入れるかがですがようとか、避けようとか、忘れようとすると、人生にはいろいろとなどいろいるとないのようと、

ほんとうに……。どなたがおっしゃっていたのですか?」「わあ、そんな ふうに 考え られるってすてきですね、

「それはね、もう二十年以上前に、私が着ているこの「それはね、もう二十年以上前に、私が着ているこのです。毎日泣いて暮らしていました。外に出かける失ったのです。毎日泣いて暮らしていました。外に出かけるたんなときに、それほど親しい知人ではなかったんだけど、そんなときに、それほど親しい知人ではなかったんだけど、そんなときに、それほど親しい知人ではなかったんだけど、そんな私のことをどこかで聞きつけて、その人は私の家にやってきたのよ」

プレゼントしてくれたのよ」楽しみましょう』。なんていって、このセーターを『ざあ、あったかいセーターを着て、冬のニューヨークを



MEN プレミアムラム Vネックセーター (長袖)

そう思えるようになれたの。笑顔を取り戻せたのよ」と思ったけれど、このセーターとその人に助けられたの。受け止めること。つらくても、悲しくても、苦しくても受け止めること。つらくても、悲しくても、苦しくてもでけ止めましょう』と。最初、私はそんなこと無理よ、と思ったけれど、このセーターとその人に助けられたの。を開入はセーターを着た自分をアシャに見せて、「ほら、老婦人はセーターを着た自分をアシャに見せて、「ほら、

浮かべた。彼女の背中にあてたまま、ゆっくりと歩き目に涙をを婦人の言葉を静かに聞いていたアシャは、自分の手を

老婦人はそういって、アシャの腕に自分の腕をからませた。毎年 冬 が来る たびに そう 思って、 着続 けているの」。「だから、このセーターはわたしの宝物。この冬も一緒。

アシャは思った。きっと手入れを怠らずに大切にしてきたのだろう、とせ上げられ、長く着続けたことが嘘のようにきれいだった。老婦人の着ているピンク色のセーターは、上質なラムウールで

自分の家の前に着いたとき、老婦人はアシャにこういった。

も大丈夫。心がぽかぽか。また今度、会いましょうね」「今日の出来事だけで、私はこの冬がどんな寒くなって

アシャは家の中に入っていく老婦人の背中を見つめた。

「またね、お母さん……」

にっこりと笑って、小さく手を振った。老婦人は後ろを振り返って笑顔を浮かべた。アシャも







進化したラムウール

より柔らかく、より上質に進化した100パーセント天然ラムウールのプレミアムラムセーターです。プレミアムな理由は平均22マイクロンから19.5マイクロンに変更した繊維の太さ。より細くした原毛の風合いを最大に発揮できるように、糸の紡績方法や製品の仕上げなど、繰り返し検証、調整を行いました。

袖を通せばわかる極上の肌ざわりは、特別な時はもちろん、 デイリーに活用していただきたい自慢のセーターです。

ベーシックにこだわる

ベーシックだからこそ各要素のバランスが重要だとユニクロは考えます。編み地は7ゲージ。ラムウールの柔らかさを最大限に引き出す工夫です。

シルエットは裾にかけてストレートに。上質な素材感をたっぷり味わっていただけるリラックスフィットです。襟、裾、袖口には立体感あるリブ編みを採用。締め付けのないほどよいフィットにすることで、よりすっきりと仕上げました。肩の付け根は編み目数を増やし、肩のラインに合った立体的なカッティングを実現。時代に合わせた最適を探して進化し続けるLifeWearです。









この冬、 一緒に過ごしたい、 そんなパートナー。

松浦 张太良



MEN プレミアムラム V ネックセーター (長袖) **¥2,990** +消費税

2018.10.30

冬のパリは、ニューヨークよりも寒いらしい。



おそろいのダウン

)こ数日のアシャはいつもと違っていた。

眺めていた。置いて、そこに座ったアシャは、いつまでも窓の外をじっと置いて、そこに座ったアシャは、いつまでも窓の外をじっとぼんやりしている時間が多かった。窓の近くに椅子をカフェのバイトから帰ると、なんだか一人で思い悩むように、

「どうしたの? 何か悩みでもあるの?」

心配しないで」

「もし何かあったらいつでも話してごらん」

「ありがとう。その時は相談するね……」

目を向けてぼんやりした。アシャはそういうと、小さく深呼吸して、また窓の外に

目前に控えていて、少しナーバスにもなっていた。充実していた。最近は、高額で貴重な古書の取引を進んでいて、自分の顧客も広がりつつあり、毎日が仕事で僕は、ジャックと進めていた古書を扱う仕事が順調に

だけで、すぐに自分だけの世界に戻ってしまう状況だった。「そうなんだ。 よかったね、 がんばってね……」 というし ていた 。 しか し、ア シャは 僕の 話を 聞いて も、僕はアシャにできるだけ自分の仕事について話すように

MEN ウルトラ ライトダウン ジャケット



なった。 僕とアシャは、今年最初のダウンジャケットを着る日に散歩に出かけた。その日は冬を感じさせる寒さがあり、感じた僕は、ある日、アシャを誘って、セントラルパークのなんだか二人の関係が近いようで遠い雰囲気であることを

「今年最初のダウンだ」

「うん、そうね。あったかくして出かけよう」

「マフラーはいるかな?」

していきましょう」「そうね、セントラルパークはきっと寒いからマフラーを

ブラウンとグレーを選んだ。気分で選べるからいいね」とアシャが言って、僕らは買い物をしたとき、「色違いで揃えておけば、その日の(アシャは大きめを着るのが好きだったから)。いつかアシャと僕のダウンは、同じサイズの色違いだった

とアシャはいった。「私はグレーであなたはブラウンね。時々、交換しましょ」

アシャは手をつないで歩いた。 木枯らしの舞うセントラルパークウエスト通りを、僕と

五十五セントラルパーク・ウエスト・アパートメントは、アシャの映画「ゴーストバスターズ」の舞台になった、アールデコ様式の

住みたいな」とアシャはつぶやいた。好きな建築物で、この前を通るたびに「いつかここに

わからないことがあるの……。話してもいいかしら」「ねえ、あなたに相談があるの……。私どうしたらいいか

アシャは僕の手をぎゅっと握ってからいった。



冬のパリ

| 木の下に置かれたベンチに腰掛けた。 | とアシャは、セントラルパークの大きな樫の

亡くした……」出会ったセーターを着たおばあちゃん。娘さんを病気で「この前のおばあちゃん覚えている?」ほら、カフェで

それから毎日のようにカフェに来てたって言ってたよね」「うん、 覚えている。 アシャのこと 大好 きになって、

帰るんだって」ニューヨークのアパートを売ってしまって、 来月パリに「あのおばあちゃん、英語が上手だけど、実はフランス人で、

ように慕っていたから」「そうなんだ。さみしくなるね。アシャは自分のおかあさんの

感激してくれて、その服をいろんな人に見せたらしいの」作った服をプレゼントしたの。そうしたら、とっても話したら、とても喜んでくれたから、いくつか私の「あのね。私が服作りの勉強をしていることをおばあちゃんに

着やすい服だもんね。よかったね、喜んでくれて」「アシャの服は、シンプルで心地よいから、おばあちゃんとかが

緒にパリで住まない?って誘われたの。おばあちゃんのうん、でね、服作りをするならパリに行くべき。私と



そこで働きながら学べばいいって……」いとこが、パリで有名なブランドの会社を経営してるから、

悩んでいた理由が、このことだったとわかった。僕はびっくりしたのと同時に、ここ数日、アシャが思い

「おばあちゃんはいつパリに引っ越すの?」

いいわ、といってくれているの……どう思う?」「来月よ。すべて面倒みるから、あなたは身一つで来れば

僕は黙ってしまった。 手ャンスはない。 止め たいけれど、 止められない。 しれない、けれども、アシャにとって、こんなに幸運な しれない、けれども、アシャにとって、こんなに幸運な のかも

「おばあちゃんにはいつ返事するの?」

話し合いなさいといってくれたの」あなたのことも話したわ。おばあちゃんはあなたとよく「明日。明日返事するって約束しちゃったの。 もちろん、

おいしいパン屋さんができたの知ってる?」「ね、歩きながら話さない?」そういえば、公園の脇に、

いった。アシャは重苦しい雰囲気を消そうとしたのか、元気な声で

寒いの苦手でしょ」「冬のパリは、ニューヨークよりも寒いらしいよ。アシャ、

「パリはきっと寒いよね……。でも……」

踏みしめて歩いた。アシャはダウンジャケットのポケットに手を入れて、落ち葉を

僕は「手をつなごう」といって、アシャの手を握った。







とまらない進化

抜群のあたたかさと軽さ、さらにスタイリッシュに進化したウルトラライトダウンジャケットです。空気を内包し、高い保温力を持つふわふわのダウンを90パーセント、ハリと膨らみを生み出すフェザーを10パーセントで配合。羽毛のかさ高性を示す単位「フィルパワー」の数値は、一般的に550以上が高品質とされていますが、ウルトラライトダウンは640以上。驚きの軽さと保温効果が自慢です。

表地はマットで極細のナイロンマットタフタ生地、キルトの幅 を少し狭くすることで洗練されたルックスに仕上げました。

こだわりを凝縮

ウルトラライトダウンは「ミニマル」にこだわります。まずは 色の設計。表地、裏地、ファスナーなど各パーツの色見本 を何度もつくり、色味の統一を徹底。

そしてシルエット。軽さと2層仕立ての着心地を成立させながら、制限ある中で洗練されたフォルムを作り出すために幾度もパターンを制作しました。さらに、薄くて柔らかい生地の縫製を美しく仕上げるため、縫い針や縫い糸、運針数、ミシンの調整に至るまで数々の試作を繰り返し、ベストなバランスを追及しました。







ぬくもりがほしいとき、 僕はこのダウンを着る。 そして街を歩くんだ。

松浦子尔太忠



MEN ウルトラライトダウンジャケット **¥5,990** +消費税

2018.11.6





アシャの願い

アシャをぎゅっと抱きしめた。

✔ 名前はレネーさんといった。 V リで服作りを学ぶことをすすめた老婦人の

「年老いた自分で縛ってもだめよ」 こ十代のあなたに必要なのは出会い。この十年間にどれだけこ十代のあなたに必要なのは出会い。この十年間にどれだけこ 中でのには 自由であることね。何かに縛られたらことがのとつかるの。「年老いた自分があなたに言えることがひとつあるの。

レネーさんはアシャにこう語った。

もらいたいのよ」 もらいたいのよ」 もらいたいのよ」 もらいたいののであれば、できるだけの思って、もしあなたに夢があるのであれば、できるだけの思って、もしあなたに夢があるのであれば、できるだけのまって、もしあなたに夢があるのであれば、できるだけのは、してあげたかった「私は、亡くなってしまった自分の娘に、してあげたかった「私は、亡くなってしまった自分の娘に、してあげたかった

街でもあった。思った。パリはアシャにとっていつか行ってみたい憧れのアシャは、そんなレネーさんの誘いを喜んで受け入れたいと

「私、フランス語が話せないけど大丈夫かしら……」

「なに言ってんの。フランス語が話せなければ話せるように



つきまとうわ。でも不安を考えたらきりがないのよ」それだけよ。その決断よ。 新しい出会いにはいつも不安がそれよりも、あなたがパリに行きたいか。行きたくないか。学べばいいの。 できないことを 理由にしてはだめ。

アシャには嬉しかった。まるでほんとうのお母さんのようなレネーさんの言葉が

けれども、パリに行くことになったら、僕との関係を素直にこう思っていた。アシャは、レネーさんからパリ行きを誘われた時から、「パリに行きたい。パリで服作りを学びたい」実をいうと

どうしたらよいのか。それだけがアシャを悩ませていた。

踏みしめながら歩いた。美しいニューヨークの秋を彩っていた。僕とアシャは落ち葉をセントラルパークでは、黄色い落ち葉が小道を埋め尽くし、

そう思えるわ」歩くことって、あなたがくれたスヌーピーの本に書いて歩くことって、あなたがくれたスヌーピーの本に書いて「しあわせとは、好きな人と一緒に落ち葉を踏みしめて

気持ちよくて、ずっと歩いていたい気分だね」「うん、そうだね。このサクサクした落ち葉の感触が

一度 も アシャは僕に何かをねだったことはなかった突然アシャがこういったので僕は驚いた。なぜなら、これまで「ねえ、私にコートを選んでくれない?」

からだ。

「あなたにあったかいコートを選んでもらいたいの」

アシャはもう一度僕にいった。



ふたりの約束

イ 落ち葉を舞い上がらせた。 火 の冷たい風がひゅうと吹いて、セントラルパークの

「パリの冬は寒そうだから……」

アシャがぽつりとつぶやいた。

いちばんいい。それがアシャの夢だから」と心の中で思った。僕は「そうだよね。アシャはパリに行くべきだし、それが

選ぼう……」と僕は答えた。少しばかり黙って歩いてから、「うん、いいよ。コートを

マフラーをして、雪の日もそれを着て歩くの。パリで…」水色とか、グレーもいいかも。中にあったかいニットを着て、いるのがいい。深いポケットがあって、色はそうね……「あったかいのがいいわ。軽いウールで、フードがついて

元気で、僕に伝えようとしていた。アシャは涙ぐんでいた。 言葉のひとつひとつを精一杯の

書くわ。あとフランスのジャムとかはちみつも……」古本屋さんがたくさんありそうだから。手紙はたくさん好きそうな写真集とか見つけたら送る。パリにはすてきな好きそうな写真集とか見つけたら送る。パリにはすてきなどるね。ニューヨークのクッキーよりも、おいしいのが「パリであなたの大好物のおいしいクッキーを見つけて「パリであなたの大好物のおいしいクッキーを見つけて



₩OMEN ライトウール ブレンド ーデットコート

わんわんと泣きじゃくった。僕はアシャをぎゅっと抱き パリに行く……」「ごめんね……」といった。そして、 抱きしめた。僕の胸に顔をうずめたアシャは「わたし アシャは泣きながら僕にいった。僕はそんなアシャを両手で しめることしかできなかった。

僕とアシャは、コーヒーとクッキーという、いたって シンプルな朝食で、次の日の朝を迎えた。

いいと思うの。あなたはどう思う?」 わからないだろうけど、別れたくないなら、別れなくて けど、あなたと別れたくないの。何言っているのか 私はあなたを愛してる。別れたくない。私はパリへ行く 「ねえ、私たちの関係をどうするか、私考えたの……。

縛るのはよそう。変に気を使うのもよそう。だから、 別れなくていい。僕もそう思う。けれども、お互いを アシャの言っていることはわかるよ。別れたくないなら このふたつを守ろう」 約束をしよう。嘘を言わないこと。いつも気持ちを伝えよう。 まだわからない。僕もアシャを愛している。別れたくない。 「僕はアシャがそばにいなくなって、自分がどう思うのか

「うん、そうね。ありがとう……」

アシャはコーヒーに浸したクッキーを一口食べて、テーブルの 上に置いていた僕の手を握った。

「私がんばるわ。パリで」







あたたかくて軽いウール

しっかりとしたウールの見た目ながら、軽やかな着心地が魅力のライトウールブレンドコートです。

軽さを追求する生地開発の際に悩まされたのはピリング(毛 玉)でした。何度も試行錯誤を重ね、ピリングのない、滑ら かで上質な表情のオリジナル生地が完成しました。

秋冬の主役に

定番デザインながらも、ドロップショルダー、コクーンシルエットでトレンド感をプラス。丈夫で高品質なボタン、裏地もついた本格仕様のコートです。タートルニットやスキニーパンツ、ロングスカートなどでカジュアルに、薄手のニットやシャツにストレートパンツでクリーンに、幅広いスタイルに対応してくれます。

秋の肌寒い時期はさらりと羽織って、本格的な冬はインナー ダウンと組み合わせて。これからの季節の主役としておすすめ したい I 着です。







愛されている。 そう思えるあたたかさと、 肌ざわりが嬉しい。

松浦子尔太良



WOMEN ライトウールブレンドフーデットコート **¥9,990** +消費税

2018.11.13



魔法のようなあたたかさ

リ行きの決意をレネーさんに伝えたアシャに、 もう迷いはなかった。

服作りを学んで、恩返しします」 「レネーさん、ありがとうございます。パリでしっかりと

パリでの暮らしを誘ってくれたレネーさんに、アシャは 心から感謝をした。

なのよ。それだけでいいの」 楽しくパリで過ごしてくれるのがいちばんのしあわせ 家族だと思っているの。だから。あなたがのびのびと 「お願いだから恩返しなんて考えないで。私はあなたを

レネーさんはこういって、アシャの肩に手を置いた。パリ 行きは一週間後に迫っていた。

荷造りをはじめていた。 自分のアパートに戻ったアシャは、パリに引っ越すための

「このフリースなつかしい……」

アシャはクローゼットの奥に畳まれて置かれていたクリーム色の



出した。 来て、はじめての冬を迎えた、ずっと昔のことを思いフリースジャケットを両手で広げた。ニューヨークに

冬に着るあったかい服を持っていなかった。冬の寒さを一度も経験したことがなかった。当然ながらエチオピア育ちのアシャは、ニューヨークに来るまで、

だったのよ」とアシャは僕にいった。ほんとうにびっくりしたの……。雪を見たのもはじめて「ニューヨークの冬がこんなに寒いとは思わなかった。

したの。その時買ったフリースのジャケットがこれよ」その軽さとあったかさに、これは魔法のいい生地なの!と出会って、なんてあったかくて気持ちのいい生地なの!と出会って、そのとき、はじめてフリースという生地にいったの。そのとき、はじめてフリースという生地にいったの。そのとき、はじめてフリースという生地に「だから友だちと一緒に、あったかい服をソーホーに買いに「だから友だちと一緒に、あったかい服をソーホーに買いに

いった。

脱いで、ていねいに畳んでパリ行きの荷物の箱に詰めた。いかなきゃ!」といって、着ていたフリースジャケットをそして、「このフリースは忘れないようにパリに持って



五年後の待ち合わせ

猫のように潜り込んできた。

アシャは言って、床に座っていた僕の腕の中に
ん。これで持っていく服の忘れ物はないわ」と

「ここもあったかくてわたしは大好き」とアシャはいった。

日々は想像すらできなかった。ニューヨークで一緒に過ごしてきた僕らにとっては、そんな一週間後、 しばらく 会えなくなるなんて、 ずっと

思っていたら小さな声でこうつぶやいた。アシャは目をつむって、しばらくうとうとしていたと

「私、あなたと約束したいことがあるの……」

「なんだい?」どんな約束をするの?」

考えている?」付き合っていくのか、私、考えていたの。あなたはどう会えなくなるよね。いつまで会えないのか、どんなふうに「一週間後、私はパリに行く。それからずっと私たちは

していたんだ」 気持ちになるから、実をいうとあまり考えないように「なんだか、もう会えないのかと思うと、寂しいし悲しい

「でも、もう会えないんだよ。それでいいの?」



WOMEN ファーリーフリー フルジップジャケ (長袖)

もうパリに行くんだから」 「よくはないけど、 どうしたらいいかわからないよ。 アシャは

「いつ帰ってくるの?って聞かないの?」

思って聞けないんだ」 「聞きたいけど、そうやって聞くことでアシャを困らせるかと

ショップ」の前で、待ち合わせをするってどうかしら? デートをしたあの日に、私たちが出会った「コーヒー チャンスを活かしたいの。でも、私はニューヨークが好き。 ようでつらいわ」 気持ちの整理がつかないし、 だらだらと気持ちを引きずる 来なくてもいい。別れなくても、会えなくなるのは事実。 いい。もしかして、愛する気持ちがなくなっていたら 五年後まだお互いを愛していたら、待ち合わせに来れば パリで勉強する。だから、五年後、私たちが最初に 必ずここに帰ってくるつもり。五年……くらい。私、五年、 「私、せっかくパリで服作りを学べるんだから、この 五年後に待ち合わせしましょう。 そうしないと、やっぱり

僕に話した。 アシャは、自分が話すそのアイデアがよいのかわるいのか して乗り越えようとするには、そのくらいのけじめと わからないけれど、もう会えなくなる寂しさを、なんとか いうか、未来の約束のようなものを決めておきたいと

待ち合わせの場所を訪れる。 五年間会わずに、もしそれでも相手を必要であれば、

> 僕にとっても、五年後の希望になりうると思った。五年間、 僕は思った。けれども、アシャは、五年後という希望の それならいっそのこと、別れたほうがいいのではないかと 努力し、成長する。 お互い新しい自分になって再会する。そのために学び ためにパリでがんばりたいといった。よく考えると、それは

ロマンチックですてきだね」 「わかった。そうしよう。五年後の待ち合わせって

こぼれそうになった。 そういった途端、寂しい気持ちが溢れ出て、目から涙が

私はパリで精一杯勝負したいの……」 「ごめんね。変な約束だと思う。だけど、とにかく五年間、





極上のふわふわ

「最高の肌ざわり」を目指して実現したファーリーフリースジャケットです。誕生のきっかけはかつてのユニクロフリースブーム。スポンジ状のフリース生地の質感、色味などどうしてもメンズライクだったデザインを、「女性のためのフリース」というテーマを掲げ、毛足の長いフリースを新たに開発しました。

発売当初は現在よりも短かった毛足も、今ではより長く、柔らかに進化しています。素肌の上から羽織っても、ニットのようにチクチクしない極上の肌ざわり。自慢のフリースです。

満載のこだわり

肩や胸回りにはゆとりを、脇下から裾にかけてはすっきりとしたシルエット。アームホールは前振りに調整することで可動域をアップ。色設計に関しても、これまではアウトドアルーツの強めなカラーが主流でしたが、トレンドのベージュ系カラーやピンク、ブルーなどのニュアンスカラー、表面感が新鮮な杢カラーをご用意。

冬はミドルレイヤーとして、毛足の質感と色味をアウターから のぞかせてスタイリングを楽しんだり、くるりと丸めてカバン に入れておけば防寒対策も万全です。







寒さだけでなく、 さみしさも忘れる、 魔法のようにあったかい、 私のフリース。

松浦号尔太忠



WOMEN ファーリーフリースフルジップジャケット (長袖) **¥1,990** +消費税

2018.11.20



ロウェナの恋

へdranがらっこうの日は「イーストヴィレッジ散歩クラブ」の 会合があった。

ロウェナいわくクラブには厳格なルールが必要であるらしい。 あり、どちらも無地のものにロウェナがロゴとイラストを、 アシャとロウェナと僕の三人でふざけて作った遊びだ。 あちらこちらとおしゃべりしながら歩きまわるという、 気まぐれで招集をかけて、イーストヴィレッジを 会合にはそれを着てくるのがクラブのルールだった。 一着一着描いた手作りで(といっても合計六枚)、 とはいえ、クラブにはスエットとTシャツのユニホームが

散歩せずにカフェでおしゃべりだけをして終わった。 もみ合いになった。結局その日の会合は中止となり、 あった。ロウェナはその場で、アシャの着ていたTシャツ イラストを書こうとして、それに抵抗したアシャと (アシャのお気に入りだった)に、 ボールペンでロゴと 一度だけアシャがユニホームを着てくるのを忘れた時が

スエットを着て集まった。 変わろうとしていた。三人はコートの下に、揃いの 集合時間は昼の十二時。ニューヨークは秋から冬へと

年配の人によく聞かれることが多かった。 どうしたら入会できるの? 私も散歩したいわ」と、 ユニホームのスエット一枚で歩いていると、「そのクラブは



新しいメンバーの募集はしておりません」と、その都度、 ロウェナがていねいに答えるのが、僕とアシャにとっては 面白くて仕方がなかった。 「はい。クラブは今のところ私たち三人のみで、現在、

魂胆だ。 途中でサンドイッチを買って、 公園で食べようという 目指した。他愛ないおしゃべりをしながら気ままに歩き、 その日の僕らは、クーパートライアングルのピーター・ 7 th ストリートをぶらぶら歩いて、トンプキンス・スクエア公園を クーパーの銅像に敬礼をしてから散歩をスタートし、

「ねえ、私の話を聞いてくれる?」

ロウェナが歩きながらいった。

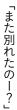
「いいわ。話してごらんなさい」

腕をからませて答えた。 ロウェナのことが大好きなアシャは、彼女の腕に自分の

その前に彼の誕生日があるからその時にプレゼント したいのよね」 「私、好きな人ができて、クリスマス前に彼に告白したいの?

「えー!仲良かったあの彼氏はどうしたの?」

「この前、 別れた……」



散歩クラブ」では定番だった。 恋多き女性のロウェナの恋愛話は、「イーストヴィレッジ



マフラーとストール

由奔放なロウェナの好きなタイプは、意外にも

いわゆるアーティストタイプではなく、

真面目な

サラリーマンタイプらしい。

出身の人だという。 今回好きになった男性は、今年の夏から、バイト先の 「コーヒーショップ」 に来るようになったコペンハーゲン

早くプレゼントしたいな。できれば来週に」 教えてくれたのよ。日にちはわからないけど、誰よりも 「この前、もうすぐ自分の誕生日だということを私に

「ロウェナ、あなた、目がハートになってるわ!」

アシャがロウェナをからかった。

「で、何をプレゼントするの?」と僕は聞いた。

あげたらいいのかしら?」 「それを男性のあなたに教えてもらいたいのよ。 何を

なんかどうかしら?」とアシャがいった。 「ニューヨークの冬は特に寒いから、カシミヤのマフラー

するとあったかいし、僕は室内でも身体にかけて使って いいと思う。真冬に外を歩く時、 「カシミヤのマフラーもいいけれど、ストールのほうが 首にぐるぐる巻きに



するっていいと思う!」いるよ。そうだ、マフラーとストールをセットでプレゼント

それを巻いて、店に来てくれたりして……」男の人のストールってすてきよね。もし私に気があれば、買えないわよ。でも、ストールはいいかもしれない。たしかに僕がそういうと、「ちょっと待って。私そんなにたくさん

なっていた。そんなシーンを想像したロウェナの目はさらにハートに

するの」、ストールを彼にプレゼントするってどう?、おそろいに、ロウェナが自分のためにマフラーを買って、同じ色の

手紙を添えてプレゼントするとか……」このストールを巻いてもらって一緒にお散歩しませんか?って「私のマフラーと同じ色のストールです。もしよかったら、

ジャンプして喜んだ。たまに交換したりね!を高んでくれるといいなあ」とアシャがそういうと、ロウェナは「うん、それがいい!

でるのよね」 がおって 大 好 き …… し あわせ な 気 分 にや わら かさって 大 好 き …… し あわせ な 気 分 にささやかな贅沢が嬉しいというか……私カシミヤのなたたかさが街に馴染むというか、そんな「ニューヨークの冬って、なんだかカシミヤが似合うよね。

ニューヨークの空をいつまでも見上げていた。数日後にパリに発つアシャは、小さな声でそうつぶやいて、





極上のカシミヤ

カシミヤを100パーセント使用したカシミヤグッズ。極上のやわらかさ、上品な光沢から「繊維の宝石」とも呼ばれているカシミヤは、保湿、保温にも優れ、さらに軽いことが魅力です。中でもビッグストールは、水溶性繊維を練り込ませて生地を編み、水洗い処理を行う際に溶けてなくなるように設計。

この方法を行うことで | 本 | 本の糸の間に空気の層ができるので、使えば使うほど、カシミヤ特有のふんわり感がたっぷり生まれるように工夫しました。

日々のおともに

アイテムごとに最適な糸の細さ、長さを厳選することで、どの アイテムも同じ品質を保っています。マフラーは、コートの下 にすっきり収まる絶妙なボリューム感と、首元をしっかり包ん であたためてくれるサイズ感が魅力。大判サイズのビッグス トールは、首元はもちろん、羽織りやひざかけなどのアレン ジが自由自在。

カシミヤならではの鮮やかな発色を活かした多色展開も自慢です。冬の毎日によりそうLifeWearです。







大好きな人に 肩を抱かれているような あったかさがあります。

松浦子尔太忠



カミシヤビックストール **¥4,990** +消費税

> カシミヤマフラー **¥4,990** +消費税

> > 2018.11.27



やせがまんの半ズボン

そんな話をした。とれな服が好きだったのか。僕とアシャはよくと、というできないので、どんな服を着ていたのか。そして、

過ごした。一日たりとも長ズボンをはかなかった。どんなに寒かろうと、雨が降ろうとも半ズボンをはいて小学校に入学した日から四年間、僕は春夏秋冬、その日が

ものだ。すべてが見えているくらいに丈はぎりぎりまで短い僕がはいていた半ズボンは、コットン製のもので、足の

いうことを、そうしたファッションで表現したかったのだ。同級生に対して、自分はとても元気で、とても強いと学校という集団の中で、少しでも目立ちたかったのと、なぜ半ズボンを毎日はくことにこだわっていたかというと、

やせがまんでしかなかった。しもやけのようなものができていて、その言葉は言い返した。けれども、太ももや膝を見れば、冬には、「寒くないの?」と聞かれれば、「ひとつも寒くない」と

興味津々だった。冬になると誰が脱落するのかクラスメイトにとっては冬になると誰が脱落するのかクラスメイトにとっては、そんな、やせがまんな半ズボン派はクラスに三人くらいいて、

ある冬の寒い日のスタイルを思い出してみると、短めの



よく笑われた。 はおり、毛糸の帽子を被った。下半身が寒い分、上半身ははおり、毛糸の帽子を被った。下半身が寒い分、上半身ははおり、毛糸の帽子を被った。下半身が寒い分、上半身はりが、毛糸の帽子を被った。下半りが寒い分、上半身はいったスードのついたジャンパーを

「何をきっかけに長ズボンをはくようになったの?」

幼い頃の話に笑い転げたアシャはそう聞いた。

よくなったんだ」 よくなったんだ」 よくなったんだ」 よくなったんだ がら、半ズボンよりかっこいいジーンズという 映すは、クラスの中で目立ちたい、かっこよく思われたいと 理由は、クラスの中で目立ちたい、かっこよく思われたいと 僕 はその 時初 めて ジーンズという 長 ズボンをはいていた 人気 かったんだ。

やめて、ジーンズをはくという協定を結んだんだ」ない。だから、日にちを決めて、みんなで一斉に半ズボンを「でも、負けず嫌いだから、他の半ズボン派に負けたくは

「ばかみたい。でもかわいいね」とアシャは笑った。

けど、僕らは誇らしげだった」行った日のことを。先生も含めてみんなびっくりしてた半ズボンをはき通してきた3人がジーンズをはいて学校に「今でも思い出すよ。 たしか2 月 - 日かな。それまで

した。 見た時、思わず「かっこいいじゃん」と我ながら惚れ惚れ見た時、思わず「かっこいいじゃん」と我ながら惚れ惚れいつも 着ていた 内側 がモコモコのフードのついたいつを

いうことさ」「ゆで卵に爪楊枝スタイルから、おしゃれ少年になったと

アシャは「私にも似たようなことがあるわ」といった。



服が知っているわたしのこと

✔ ケースから、一着のパーカーを取り出した。 シャは、パリ行きのために荷造りしたスーツ

「これ見て、わたしが十五歳の時に買ってもらった「これ見て、わたしが十五歳の時に買ってもらったいっこよさに魅了されて、欲しくて欲しくてたまらなかった。まさに憧れの服だったの。このパーカーは、ニューヨークにまさに憧れの服だったの。このパーカーは、ニューヨークにまさに憧れの服だったの。このパーカーは、ニューヨークにまさに憧れの服だったの。このパーカーは、ニューヨークにまさに憧れの服だったの。はじめてパーカーを着たとき嬉しかったわ。だから、あなたがジーンズをはじめてとき嬉しかったわ。だから、あなたがジーンズをはじめてとき嬉しかったわ。だから、あなたがジーンズをはじめてとき嬉しかったわ。だから、あなたがジーンズをはじめていたときの誇らしげな気持ちってよくわかる」

アシャが宝物にして着ているのがよくわかった。身体の一部のようになっているような愛らしさがあり、いくつか引っ掛けたような傷があって、けれども、服がアシャのパーカーは、袖がすれて穴があき、胸のあたりも

これも知っているという不思議な存在という……」面白いわね。服はあくまでも服だけど、自分のあれも知ってくれているのはこのパーカーだけ。そう思うと存在よ。これまでのわたしのニューヨーク生活をすべて「もう、今やこのパーカーは、ライナスの毛布のような「もう、今やこのパーカーは、ライナスの毛布のような

アシャはパーカーの穴や傷、小さな汚れなどを見ては、



出来事を思い出しては微笑んでいた。 「これはあの時、これはあの時」とつぶやいて、いろいろな

物語として書き留めてまとめるのよ。ね、きっと その人の何か特別な記憶を語ってもらって、それを 面白そう!」 大切にしている服を見せてもらって、その服が知っている 小説って良くない? いろいろな人にインタビューするの。 「ねえ、『服が知っているわたしのこと』というタイトルの

わたしのことってなんだろう。 あなたにはちょっと アシャはパーカーを手に持って、「このパーカーが知っている、 言えないけれど……、たしかにすごい物語があるわ、

何かを手元に置いておきたいんだ……」 さみしいんだ。耐えられないかもしれない。だから、アシャの 置いておきたいんだ。やっぱり僕はアシャがいないと くれないかな?(アシャがパリに行っている間、そばに 「アシャ、そのパーカー、僕にくれないかな?」いや、預けて

アシャにしてしまった。 急に現実味をおびて感じた僕は、思わずこんなお願いを アシャが二日後に目の前からいなくなるということが、

「これはわたしの宝物。これがないと生きていけない かもしれない。でも……」

アシャはこういって、パーカーを胸の中で抱きしめた。

パリに持っていくべきだ」 「うん、大丈夫だよ。無理いってごめん。そのパーカーは

僕がそういうと、アシャはじっとパーカーを見つめた。



「このパーカーはわたしのすべてを知っているの……」





冬のスウェット

表地はスウェット、裏地にボアフリースを縫い合わせたボアスウェットフルジップパーカ。あたたかさはもちろん、よりスタイリッシュに魅せる工夫が満載です。脇の縫い目を利用したスラッシュポケット仕様ですっきりとしたシルエットを演出。肩まわりのバランスを見直し、よりナチュラルに体に馴染む形状に変更してフィット感をアップさせています。

また、フード周辺と身頃のみに毛足の長いボアフリースを使用した構造にすることで腕周りは動きやすく、重ね着しても窮屈にならない構造にしています。

広がる冬の着こなし

ブラック、ネイビーなどのスタンダードからブラウンやグリーン などシックでアウトドアテイストな色展開が自慢です。今季から新しく杢グレーも仲間入り。

フードのあご部分に高さを持たせることで首元があたたかく、アウターとしてもお使いいただけるデザインが特徴。インナーにシャツや薄手ニットを合わせてさらりと羽織ったり、本格的な冬にはミドルレイヤーとして、ダウンやコートの首元からフードをのぞかせて色味で遊んだり。冬の着こなしをアップデートしてくれるLifeWearです。







何があろうと、 あったかく見守ってくれる、 わたしの服。

松浦子尔太良



MEN ボアスウェットフルジップパーカ (長袖) **¥2,990** +消費税

2018.12.4



一人の朝

丸くなって眠る僕を起こしてくれた。 朝独特なニューヨークの喧騒が、ベッドの中での の日もいつものように、眩しい朝の日差しと、

パジャマにカーディガンをはおり、ソックスをはき、

体がぶるっと震えた。「もう冬だ」とつぶやいた。ベッドから起きると、冷え込んだ部屋の空気のせいで

しっかり回さないと!」と、よくアシャに叱られたのを入らず、ハンドルを回すのに苦労していると、「もっとがりがりと回して豆を挽いた。 起きたばかりで力がグァテマラコーヒーのいい香りが漂った。木製のスプーンで昨 日の 夜 買った コーヒー 豆の 包みを 開 けると、キッチンに行ってお湯を沸かした。

コツのひとつだった。アシャが教えてくれたコーヒーをおいしく飲むための沸いたお湯を注いで、マグカップをあたためた。今朝は一人だから、マグカップをひとつ棚から取り出し、いつもはアシャの分のマグカップも用意するのだが

 思い出した。



「おいしい」とほぼ同時に言う。答える。そして、コーヒーをひとくち飲んで、僕らはアシャはいつも「おはよう」と言った。僕も「おはよう」と窓辺のテーブルに置く。 椅子に座るのと同時に、コーヒーポットから、マグカップにコーヒーを注ぎ、コーヒーポットから、マグカップにコーヒーを注ぎ、

今朝は一人で「おはよう」とつぶやいた。

せず、それぞれ一人で、自分のアパートで朝を迎えた。なくなる最後の夜。僕らはあえて一緒に過ごすことを今日の午後、アシャはパリに旅立つ。しばらく会うことが

なりましょう」あなたがいるとつらくなるわ。だから、今日は一人に自分がこわい。気持ちは変わらないけれど、目の前に「準備もあるし、一緒だとあなたに甘えてしまいそうで

アシャはそういって、僕の頬にキスをした。

行きましょう」から、 その 時間 にあなたも 来て。一緒に空港まで「明日は午後二時にレネーさんが車で迎えに来てくれる

「うん。わかった。そうしよう」

僕はアシャにハグをして、昨夜自分のアパートに戻った。

ニューヨークの日々のことをぼんやりと思い出した。コーヒーを飲みながら、僕は、これまでアシャと過ごした

子どもの頃から着ていたパーカーがかかっていた。テーブルの向かいに置かれた椅子の背には、アシャが

持っていてね」「いいわ。このパーカーをあなたに預けていく。大切に

僕のバッグの中にパーカーを押し込んだ。昨夜アシャは、笑いながらそういって、別れ際に、



アシャのニット

) お願いされていたことがあった。 シャから、出発までに間に合うようにと、

だった。 パリ のお 守 り と して 持 た せて ほ しい という こと手に入れた、ペンダントトップにチェーンをつけて、それはいつか僕がブルックリンのアンティークマーケットで

きらきらときらめくアシャのお気に入りだった。光にかざすとブルーやグリーンのビーチグラスが、シルバーの枠でまとめた四十年代のアンティークだった。ペンダントトップは、ビーチグラスの小さな破片を

シルバーチェーンを選んでもらった。ビーチグラスのペンダントトップにぴったりと合うダイヤモンドスト リートで 働く 友 人に 頼んで、僕は四十七丁目の貴金属業者が集まる、通称

ペンダントトップも小さいから」「アシャが身につけるならチェーンは細いほうがいい。

合わせて見立ててくれた。そういった友人は、チェーンの細さや長さをアシャに

思うの」「このタートルニットに合わせたらきっとすてきだと



この服に合うように、チェーンを選んで欲しいと アシャはお気に入りの白いタートルニットを僕に渡して、

気に入ると思った。 シルバーチェーンもエレガントでこれならアシャも ビーチグラスのバランスはぴったりだった。繊細な タートルニットをテーブルに広げて、ネックレスを首に かけてみた。アシャの言う通り、白いニットと色鮮やかな

アシャに渡すだけになっていた。もちろん、預かっていた 用意してくれたギフトボックスにおさめて、あとは 出来上がったネックレスは、せっかくだからと友人が タートルニットも一緒に。

いっていた。 ラジオをつけると、今日の天気は晴れ。気温は 十度を下回るが、一日中、青空が広がると天気予報が

僕は、 包みから出して小さな皿にきちんと置いた。 昨日コーヒーと一緒に買ったシナモンロールを

アシャだった。 食べるとおいしいのよ」と僕に教えてくれたのは 僕を見て、「どんなものでも、ちゃんとお皿に置いて 付き合いはじめの頃、破いた包みをお皿代わりにしてしまう

僕は二杯目のコーヒーを飲んで、シナモンロールを ひとくち食べた。いつもなら「どう?おいしい?」と

聞いてくれるアシャがいたのが当たり前だった。

食べた。 思い浮かべて、 白いタートルニットにネックレスをしたアシャの姿を 僕はシナモンロールをもうひとくち

時間が止まってほしかった。







こだわりのフォルム

ウールの中でも特に上質な19.5マイクロンの極細メリノウールを100パーセント使用した、エクストラファインメリノリブタートルネックセーターです。こだわりは基本設計から見直した立体的なシルエット。

定番だからこそ毎年改良を重ねてたどり着いた自慢のフォルムです。たとえば、着用したときに首が前に倒れることで肩と襟がきれいなラインを描く、ボディラインを拾いすぎずにタテに長い印象をつくるなど、自然体で美しい着用感を実現しました。

日々に寄り添う機能

素肌の上からの着用が多いことを想定し、ご家庭の洗濯機で洗えるマシンウォッシャブル仕様に仕上げました。通常のウールニットよりも毛玉ができにくいように特殊な加工をプラスしたことで、上質な質感をキープします。また、鮮度のあるトレンドカラーに加え、14色の迫力あるカラーバリエーションをご用意。インナーとしても1枚で着用いただいても存在感を発揮する明るめの発色が魅力です。

お仕事に、タウンユースに、そしてアウトドアアクティビティから旅先まであらゆるシーンに寄り添うLifeWearです。







シンプルって、 いちばんいいこと。 エレガンスって、 いちばん好きなこと。

松浦子尔太忠



WOMEN エクストラファインメリノ リブタートルネックセーター (長袖) **¥1,990** +消費税

2018.12.11



同じ時間に

チューナーは固定されていた。 好きだといっていたジャズ番組に、 、僕は一人でラジオを聴いていた。アシャが ラジオの

ラジオからは「The Good Life」が流れた。 彼女もきっとラジオを聴いているだろうと思った。 アシャが好きな歌だった。パリに発つ準備をしながら、 アシャはトニー・ベネットの「ー Around」というアルバムがお気に入りだった。 W a n n a B e

思い、電話機をぼんやり見つめていると、ほんとうに 「リーン」と電話のベルが鳴ったから驚いた。 ふと、もしかしたらアシャから電話がかかってくるかと

考えてたわ。『The Good Life』を聴いて ラジオで聴いていたからさ」と僕が答えると、「同じこと わかったの?」とアシャはいった。「トニー・ベネットを 電話したのよ」。 準備も終わって、一息ついたから、声が聞きたくなって いたら、きっとあなたもこの歌を聴いていると思ったの。 受話器をとり、「アシャ」というと「あら、どうして私だと

聞いていると、あらためてアシャの声はすてきだなと 少しハスキーで、静かで落ち着いたアシャの声を電話口から



くれなかったもの。私うれしいわ」するようになって、あなたは変わったわ。前は何もいってこんなふうに思ったことや感じたことを素直に言葉に「アシャの声はすてきだね」というと、「ありがとう。

歌が聞こえてきた。アシャの声の後ろから、ラジオから流れるトニー・ベネットの

「うん、そうよ。これからも」とアシャはいった。「僕ら別の場所で同じラジオを聴いてるんだね」というと

いつものように」「ねえ、今ブランケットにくるまっているんじゃない?

いた。 ラジオを聴くときはいつもそうしてソファでくつろいでからだに巻いたり、かけたりして過ごすのが好きで、僕とアシャは夜になると、部屋の中でブランケットを

いつものようにブランケットを巻いてる」といった。「うん、そうだよ。アシャは?」と聞くと「私も今、

巻いている私たちって可笑しいね」同じ時間に、同じラジオを聴いて、同じブランケットを「そういえば、このブランケットもあなたとお揃いよね。

あなたの声が好きよ」とつぶやいた。アシャはクスクス笑いながらいった。そして、「私も

アシャは答えた。「五年は長いね……」と僕はいうと、「うん、長いね」と

いた。アシャと僕は受話器を耳に当てて、しばらく黙って

トニー・ベネットの声だけが聴こえていた。



Stranger in Paradise

長電話をして話した。 ラジオから流れるトニー・ベネットをBGMにしながら、 とや、 面白かったこと、 楽しかったことを、 とはこれまで二人でニューヨークで過ごしてきた

思う。ありがとう」

思う。ありがとう」

思う。ありがとう」

思う。ありがとう」

思う。ありがとう」

からね。 この世界だって、何かいつも学びを与えてくれているすばらしいと思う。両親、友だちだけでなく、この社会、「それは僕だって人から学んだことだよ。学びってほんとに

学びというのは人生そのものだよね」考える、考え続けるということ。だから、そう考えると、答えを教わることではなく、与えられたことを自分でただ、それを学びと思えるかどうかだけ。学びというのは、

五年?もう会えなくなる。だけど、あなたという人を「うん、ほんとにそうね。私ね、あなたと明日からもしかしたら



がんばれると思うの」 知ることができて、あなたはこれからもこの世界のどこかに知ることができて、あなたはきっと五年の間にきっと大きく成長すると思う。 ま来に向かって、自分のするべきことを精一杯やる。 ま来に向かって、自分のするべきことを精一杯やる。 おんぱれると思うの」

よくいっていた言葉にあると思う」よくいっていた言葉にあると思う」とれない。『今』が、何年か後の自分を食べるのか。『今』どんなふうに人と接するのか。『今』が、何年か後の自分を食べるのか。『今』どんなふうに人と接するのか。『今』を大切に見なるのか。『今』とんなふうに人と接するのか。『今』を大切にのをするべきなのか。その答えは『ていねいに』とあなたがの言文』を入いっていた言葉にあると思う」といっていた言葉にあると思う」といっていた言葉にあると思う」といっていた言葉にあると思う」といっていた言葉にあると思う」というによりいるというによりにいい言葉。それは『中華』といっていた言葉にあると思う』というによりにいい言葉にあると思う』というによりにいい言葉にあると思う』というによりにいい言葉にあると思う』というによりによいましているというによりにいうによりによりによります。

これを知れたことで僕は救われたよ」
これを知れたことで僕は救われたよ」
、大間の条件だということ。孤独はあたりまえなんだ。アシャから教わったのは、孤独を愛するってこと。孤独からアシャから教わったのは、孤独を愛するってこと。孤独からがとう。アシャ。僕らは五年後、きっと大きく「ありがとう。アシャ。僕らは五年後、きっと大きく

ラジオから流れてる。これからの私たちのテーマ曲よ」「ねえ、ほら、『Stranger in Paradise』が

「そうか、僕ら二人は『Stranger in Paradise』

アシャ。」 いう言葉をお守りにして明日を迎えよう。愛してるよらえる。『Stranger in Paradise』とそれぞれの新しい世界に旅立ち、きっとまたどこかでだね。そんな二人がニューヨークで出会って、二人ともだね。

「うん。私も愛してるわ」

ソハロて業にアンヤよ争かに受活器が置い







極上のぬくもりと柔らかさ

本格的な冬に向けておすすめしたいリバーシブル仕様のフリースブランケットです。表地はフェアアイル柄やチェック柄をプリントし、季節感を演出したマイクロフリースを使用。繊維が細かくやわらかな肌ざわりが特徴です。裏地はなめらかでとろけるようなタッチのシルキーフリース。

繊細なシルキーフリースは染色によって糸の硬さが変わってしまいます。極上の質感や風合いをキープしながらも鮮やかな色を表現するために、染めの時間や加工方法を何度も検証し、見た目にもあたたかいアイテムに仕上げました。

いつも近くに

ひざ掛けや腰巻きとしてのほか、スナップ式のボタンを留めればポンチョのように羽織りとしてもお使いいただけるマルチウェイが自慢です。

フリースルームシューズ、フリースルームセットと柄合わせのコーディネートも楽しめるのもポイント。ご自宅ではソファに置いてうたた寝のお供に、お車の後部シートやトランクに、そしてアウトドアではキャンプやスポーツ観戦時にもおすすめです。大人からお子様まで気持ちよく包み込む、冬のLifeWearです。





部屋の中だけでなく、 どこにでも持っていきたい。 マイ・ブランケット。

松浦尔太忠



フリースブランケット (フェアアイル) ¥1,990 +消費税

フリースブランケット (チェック)

¥1,990 +消費稅

2018.12.18